

**e-Parcel<sup>®</sup>**

**電子宅配便**

**e-Parcel クライアントソフト  
インストール・設定 & ユーザーマニュアル**

 **e-Parcel VCN CommCenter 6.0**  
(総合案内編)

**January, 2016**

イーパーセル株式会社



 **お問合せ先** **ホームページ**

e-Parcel ホームページは、サービス内容・ニュース・サポート・バージョンアップ情報等の最新情報をご案内させていただいております。また、電子証明書・クライアントソフトのダウンロードの他、ユーザー登録情報の変更等の際、ご活用いただけるご契約のお客様専用の『e-Parcel VCN ログインページ』も、こちらの Web サイトからアクセスいただけます。お使いのブラウザの「お気に入り」または「ブックマーク」へ登録し、ご利用ください。

URL : <http://www.e-parcel.co.jp/>

 **e-Parcel カスタマーサポートお問合せ先**

ご契約のお客様につきましては、e-Parcel サービスの追加・変更・その他カスタマーサポートへのご質問等のお問合せは、E-mail（日本語・英語対応可）にて承っております。または、上記 Web サイト『お問合せ』ページより、必要事項・ご質問等をご入力の上、サポート宛に送信してください。

※お問合せの際、あらかじめご契約者名およびユーザーID をお知らせください。

なお、E-mail および Web サイトでのお問合せにつきましては、24時間受付しておりますが、営業時間外の場合のご返答は、原則として翌営業日とさせていただきます。また、サポート受付状況により、ご返答が遅れる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

**カスタマーサポート**

お問合せ先 E-mail : [support@e-parcel.co.jp](mailto:support@e-parcel.co.jp)

ご利用可能時間 : 平日 9 : 00 ~ 17 : 00 (除く土日祝)

## はじめに

---

今日、企業はコスト削減やコミュニケーション手段の改善、そしてビジネスそのものを展開するために幅広くインターネットを利用しています。ただし、インターネットの利用が増えれば増えるほど、企業が抱える電子情報漏洩の危険性が増大しているのも事実です。

アメリカに住んでいる A 氏が日本に住んでいる B 氏へ重要機密書類を電子メールで送ったとします。この電子メールはいくつものサーバを経て、日本にいるメールの受け手である B 氏の元へ届けられますが、実はその際経由した各サーバの設定次第によっては痕跡（コピー）を残してしまうのです。これは、もしそのサーバ管理者が悪意のある人である場合、そのデータを盗み見、故意に流出させる危険があることを意味します。

e-Parcel は、このようなネットワーク環境下において、いかにビジネスパートナーとのセキュアコミュニケーションを容易にするかに焦点を合わせることによって、情報漏洩・改竄・否認・なりすましを防止し、セキュアなデジタルネットワークコミュニケーションを可能にいたしました。

e-Parcel では、ソフトウェアによる仮想専用回線を構築し、経由するサーバは、米国 Fortune500 や Global1000 の上場企業群の採用基準を満たす管理体制下にある、e-Parcel サーバひとつのみとなります。経路においては、商用最高強度 256 ビットの次世代暗号化技術を導入し、最終的に e-Parcel が認証した受信者だけがデータを閲覧できる仕組みとなっております。その他、電子著作権保護によるデータ閲覧条件の設定やデータ配送のキャンセル、トラッキング情報の確認も可能です。

e-Parcel 製品をお使いいただければ、漏洩の危険を完全にシャットアウトすることができ、極めて安全なデータ配送ができるようになります。

このマニュアルでご紹介する e-Parcel ソフトウェアは、送信者・受信者双方のコンピュータへインストールいただくことによって e-Parcel サービスをご利用いただける専用クライアントソフトです。操作性は簡単でどなたでもすぐにお使いいただけます。是非、弊社がご提供するセキュアな世界をご体験ください。


 **概要**


本ユーザーマニュアルは、e-Parcel のご紹介、操作方法のご説明をしております。また、インストールの方法、注意点や快適にご利用いただくうえでのワンポイントアドバイスなども掲載しております。


e-Parcel の操作性は、以前のバージョンと変わらず容易にご利用いただけます。メッセージの入力、ファイル/フォルダの添付、そして、アドレス帳から受信者を選択した後 [送信] ボタンをクリックするだけで、安全にメッセージや添付ファイル/フォルダを相手に送信することができます。また、E-mail と同様に簡単に操作いただける一方で、通常の E-mail にはない多くの特徴や機能をご提供しております。以下、それらの特徴や機能の一部をご紹介します。

 『**セキュリティ 4 大原則**』を全て満足したオールインワンソリューションを実現

- ・**盗聴防止** 商用最高強度 AES256 ビット(AES:Advanced Encryption Standard)の次世代暗号化技術により、メッセージや添付データを安全に配送します。
- ・**強固ななりすまし防止** X.509 準拠の電子証明書によるユーザー相互認証を自動で行ない、なりすましを強固に防ぎます。
- ・**データ改竄防止** 回線遮断時の自動再開(断続配信・オートレジューム機能)と SHA-1 アルゴリズム(Secure Hash Algorithm-1)によるデータ破損・改竄の検査機能を利用した e-Parcel 独自プロトコル通信により、データの完全性を確保し確実に配送します。
- ・**受取否認防止** すべてのトランザクションのタイムスタンプ付きロギングデータベースにより、トランザクションが発生したことが証明できます。

 **大容量通信** ストリーミング通信端末にもイントラネット内のサーバにも負荷をかけず、また途中経路にデータを溜めないストリーミング通信により、大容量データの即時配送が可能です。

 **トラッキング機能** 送信したメッセージや添付データの配送状況の追跡管理が可能です。送信後、受信者側の受信・開封・移動などの配送状況が即時に確認できます。

 **世界 236 ヶ国通信** 回線事情が不安定な地域でも、インターネットを利用したセキュアな大容量通信が可能です。

## 商標について

---

イーパーセル e-Parcel はイーパーセル株式会社の登録商標です。

イーパーセルデジタルデリバリーサービス e-Parcel Digital Delivery Serviceはイーパーセル株式会社の登録商標です。

電子宅配便 はイーパーセル株式会社の登録商標です。

Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

Microsoft Word は米国マイクロソフト社の登録商標です。

Microsoft PowerPoint は米国マイクロソフト社の登録商標です。

Microsoft Excel は米国マイクロソフト社の登録商標です。

Adobe Acrobat は米国アドビシステムズ社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。



# 目次

お問合せ先.....	1
はじめに.....	2
概要.....	3
商標について.....	4
目次.....	5
<b>VCN COMMCENTER 画面の見方.....</b>	<b>9</b>
<b>必要動作環境.....</b>	<b>10</b>
<b>ソフトウェアのダウンロードとインストール.....</b>	<b>11</b>
STEP1. ユーザーIDのご登録.....	12
STEP2. 電子証明書のダウンロード.....	12
STEP3. E-PARCELソフトウェアダウンロード.....	18
STEP4. E-PARCELソフトウェアインストール.....	20
STEP5. 電子証明書のインストール.....	22
<b>VCN COMMCENTER の設定.....</b>	<b>27</b>
1. ユーザー情報.....	29
2. 電子証明書.....	31
3. ネットワークの詳細.....	32
4. 一般設定.....	36
5. オプション.....	38
6. カスタマイズ.....	43
<b>VCN COMMCENTER 画面.....</b>	<b>44</b>
1. メニューバー.....	45
1-1. e-Parcel.....	45
1-2. ツール.....	46
1-3. コンポーネント.....	47
1-4. 表示.....	48
1-5. ヘルプ.....	48
2. ツールバー.....	51
2-1. ホーム.....	51

2-2.送信.....	51
2-3.アドレス.....	51
2-4.アカウント.....	51
2-5.キャンセル.....	52
2-6.削除.....	52
2-7.移動.....	53
2-8.再読込.....	53
3. フォルダ表示.....	54
3-1.新規フォルダ.....	54
3-2.フォルダを削除.....	55
3-3.フォルダを空にする.....	56
3-4.すべてのアイテムを元に戻す.....	57
3-5.選択したアイテムを元に戻す.....	58
3-6.プロパティ.....	59
4. アドレス帳リストの表示.....	61
<b>E-PARCEL アドレス帳.....</b>	<b>62</b>
1. アドレス帳の表示.....	62
2. 新規アドレス追加.....	63
3. グループ追加.....	64
4. プロパティ.....	66
4-1.受信者のプロパティと変更.....	66
4-2.グループのプロパティと変更.....	67
5. 削除.....	68
6. 選択.....	69
7. 閉じる.....	70
<b>送信.....</b>	<b>71</b>
1. 送信アイテムの新規作成.....	71
1-1.受信者の選択.....	72
1-2.ファイルの添付.....	75
1-3.フォルダの添付.....	76
1-4.添付ファイル・添付フォルダを削除する.....	78
1-5.送信アイテムのキャンセル.....	78
<b>受信.....</b>	<b>79</b>
1. 受信アイテム.....	80
1-1.移動.....	80

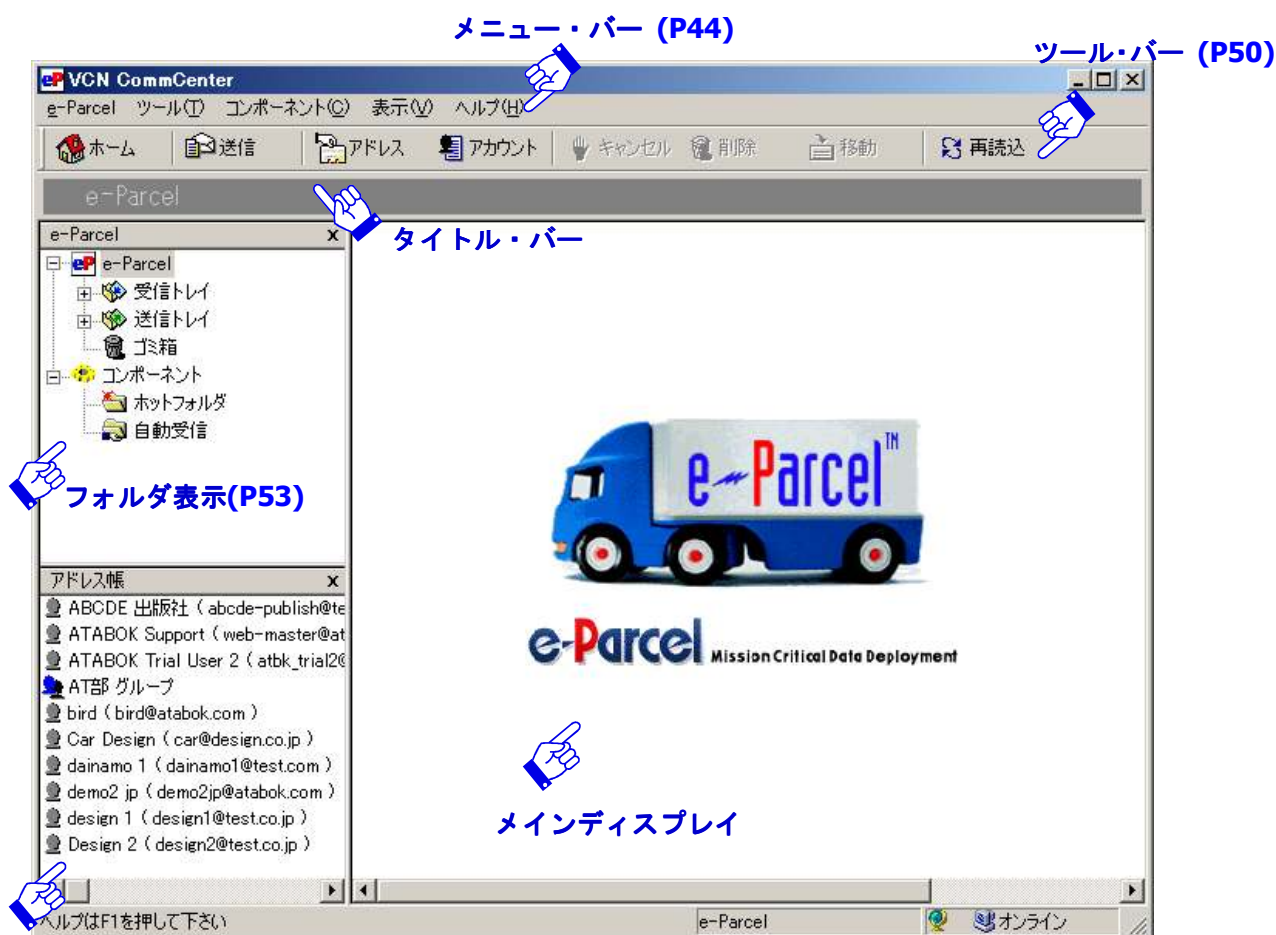
1-2.返信.....	81
1-3.全員に返信.....	81
1-4.転送.....	81
1-5.拒否.....	81
1-6.印刷.....	81
<b>トラッキング</b> .....	<b>82</b>
1. トラッキング画面表示.....	82
2. トラッキング画面のメニュー.....	83
2-1.デリバリーをキャンセル.....	84
2-2.トラッキング更新.....	84
2-3.印刷.....	84
2-4.閉じる.....	84
<b>自動受信コンポーネント</b> .....	<b>85</b>
1. 自動受信画面の表示 .....	85
2. 自動受信画面のメニュー .....	86
2-1.自動受信ツールバー.....	86
2-2.自動受信メニュー.....	87
3. 自動受信条件の設定 .....	88
3-1.自動受信条件設定.....	89
3-2.データ保存場所.....	95
3-3.プログラム実行.....	102
3-4.電子メール転送.....	105
3-5.エラー通知.....	108
3-6.電子メール通知.....	110
4. 条件のエクスポート .....	112
4. 条件のエクスポート .....	113
4-1. 選択した自動受信条件 (エントリー) をエクスポート.....	113
4-2.全ての条件をエクスポートする .....	115
5. 条件のインポート .....	116
6. 自動受信で利用する E-MAIL サーバの設定 .....	118
6-1.電子メールサーバの設定.....	118
6-2.現在の電子メールサーバの編集 .....	121
6-3.現在の電子メールサーバの削除 .....	121
6-4.全ての電子メールサーバの削除 .....	122
<b>ホットフォルダコンポーネント</b> .....	<b>123</b>



1. ホットフォルダ画面の表示 .....	123
2. ホットフォルダ画面のメニュー .....	124
2-1. ホットフォルダ ツールバー .....	124
2-2. ホットフォルダ メニュー .....	124
3. ホットフォルダエントリーの設定 .....	125
3-1. ホットフォルダエントリー名 .....	126
3-2. 送信先アドレス .....	126
3-3. 対象フォルダ .....	127
3-4. 件名の入力 .....	129
3-5. メッセージの入力 .....	129
3-6. エントリーを有効化する .....	129
3-7. 送信後ファイルを削除する .....	129
<b>付録 1. E-PARCEL MY VCN のご利用方法 .....</b>	<b>131</b>
○VCN ログインページ .....	131
○My VCN ・ユーザー登録情報 .....	132
○My VCN ・ユーザー登録情報編集 .....	133
○My VCN ・受信トレイ .....	135
○受信アイテム配送票 .....	137
○My VCN ・送信トレイ .....	138
○送信アイテム配送状況 .....	140
○送信アイテム配送状況の詳細 .....	142
○My VCN ・電子証明書/ソフトウェアのダウンロード .....	143
<b>付録 2. E-PARCEL パスワードお忘れの方 .....</b>	<b>144</b>
○パスワード通知・初期化のお申し込みページ .....	144
<b>付録 3. E-PARCEL サポート情報 .....</b>	<b>146</b>
○WEB サイト サポート情報ページ .....	146
<b>付録 4. データベースの共有化について .....</b>	<b>147</b>
<b>ドキュメント情報 .....</b>	<b>153</b>

## VCN CommCenter 画面の見方

このマニュアルは、e-Parcel サービスをご利用される方を対象に、その使用方法について、より分かりやすく解説したものです。まず、e-Parcel ソフトウェア-VCN CommCenter 画面の名称がそれぞれこの部分を表しているかをご理解いただいたうえで本マニュアルを読み進めてください(図 1)。画面上のそれぞれの操作方法につきましては、[VCN CommCenter 画面 \(P44\)](#)にて、詳細な説明をいたします。



**e-Parcel アドレス帳リスト表示(P60)**

**図 1**

## 必要動作環境

---

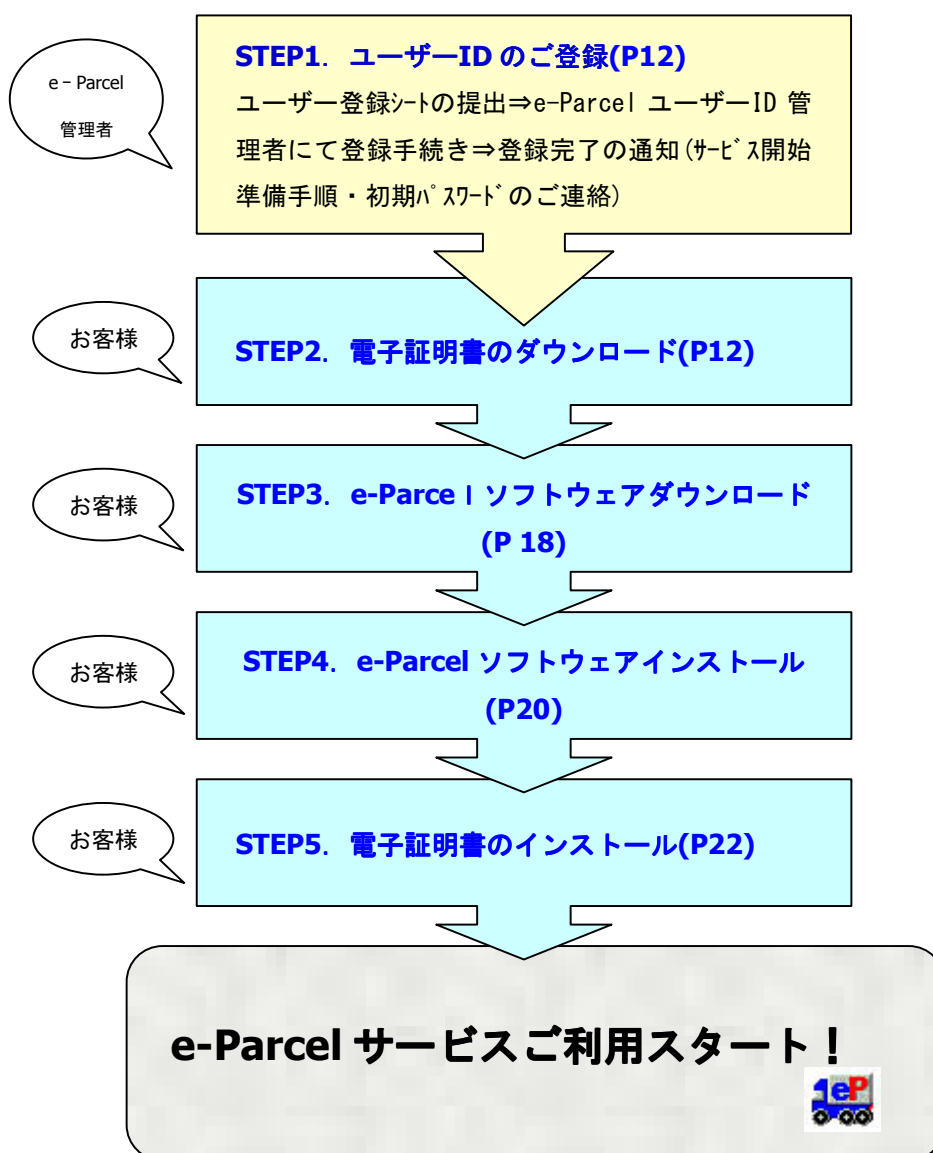
-  Microsoft Windows 98, ME, NT 4.0 (SP 3以上), 2000, XP, 2003, Vista, 2008, 7, 8  
32bit版 のいずれか日本語版/英語版
  - \*Windows 8 はe-Parcel VCN CommCenter Version6.0.6022より対応(2012.12.1リリース)
  - \*Windows 2008/7 はe-Parcel VCN CommCenter Version6.0.6021より対応(2009.10.1リリース)
  - \*Windows Vista はe-Parcel VCN CommCenter Version6.0.6012より対応(2007.2.5リリース)
  - \*Microsoft Windows 98, 98SE, ME, NT4.0(SP3以上)の場合、ご使用PC内にWindowsインストーラー必須
-  インターネット上のWebサイトが閲覧できる環境
-  Webブラウザ……………Internet Explorer4.01 SP1以上必須
-  弊社ログインページアクセス時は暗号強度128bit必須
-  本プログラム用に16MB以上のメモリ
-  インストール用として15MB 以上の空きディスク容量  
(添付書類やメッセージ保管のためのディスク容量は別途確保)

※快適にご利用いただくためにInternet Explorerはできるだけ最新バージョンに近いものを、またメモリやハードディスク容量はできるだけ多めにご用意いただくことをお勧めいたします。

## 1 ソフトウェアのダウンロードとインストール

e-Parcel をご利用いただく前に、ソフトウェアのダウンロードとインストールが必要となります。下記 STEP 1～5 の手順にしたがい作業を行ってください。

### 《ご利用スタートまでの流れ》



## STEP1. ユーザーIDのご登録

e-Parcel をご利用いただくためには、最初に、ユーザーID をご登録いただきます。**通常、お客様にてユーザーID をお決めいただき、弊社にてご登録させていただきます。**（ご契約のお客様により、代理店もしくは御社管理ご担当者の場合もあります。）ご登録が完了しますと、お客様へ登録完了のお知らせおよびインストール方法・初期パスワードが通知されます。こちらは、e-Parcel ホームページよりログインする際（ご契約ユーザー様のみログイン可能）必要となります。



**Note:** ユーザーID やパスワードが通知されていない場合、もしくは、お忘れの場合は、カスタマーサポート([support@e-parcel.co.jp](mailto:support@e-parcel.co.jp))まで、E-mail にてお問い合わせください。

## STEP2. 電子証明書のダウンロード


お客様ご使用のパソコンにて、**e-Parcel** をご利用いただくための準備を開始いたします。



**Caution:** ご利用の OS が WindowsNT, 2000, XP, 2003, Vista, 2008, 7 の場合は、Administrator もしくは Administrator 権限が付加されたユーザーのいずれかで、Windows にログオンしてください。

まず、電子証明書をダウンロードします。e-Parcel Web サイト「ログイン」ページよりダウンロードを行います。電子証明書をダウンロード後、e-Parcel ソフトウェアへインストールしていただければ、すぐにサービスをご利用開始いただけます。それでは、次の手順に従い、**電子証明書のダウンロードから準備を始めてください。**

- ① Web ブラウザをご利用になり、e-Parcel Web サイト「ログイン」ページにアクセスし、電子証明書をダウンロードします。URL: <http://www.e-parcel.co.jp/> へアクセスし「VCN ログイン」メニューをクリックしてください（図 2）。

	<b>Caution:</b> e-Parcel ログインページにアクセスする場合は、Web ブラウザの暗号強度が 128bit 以上である必要があります。
---	--

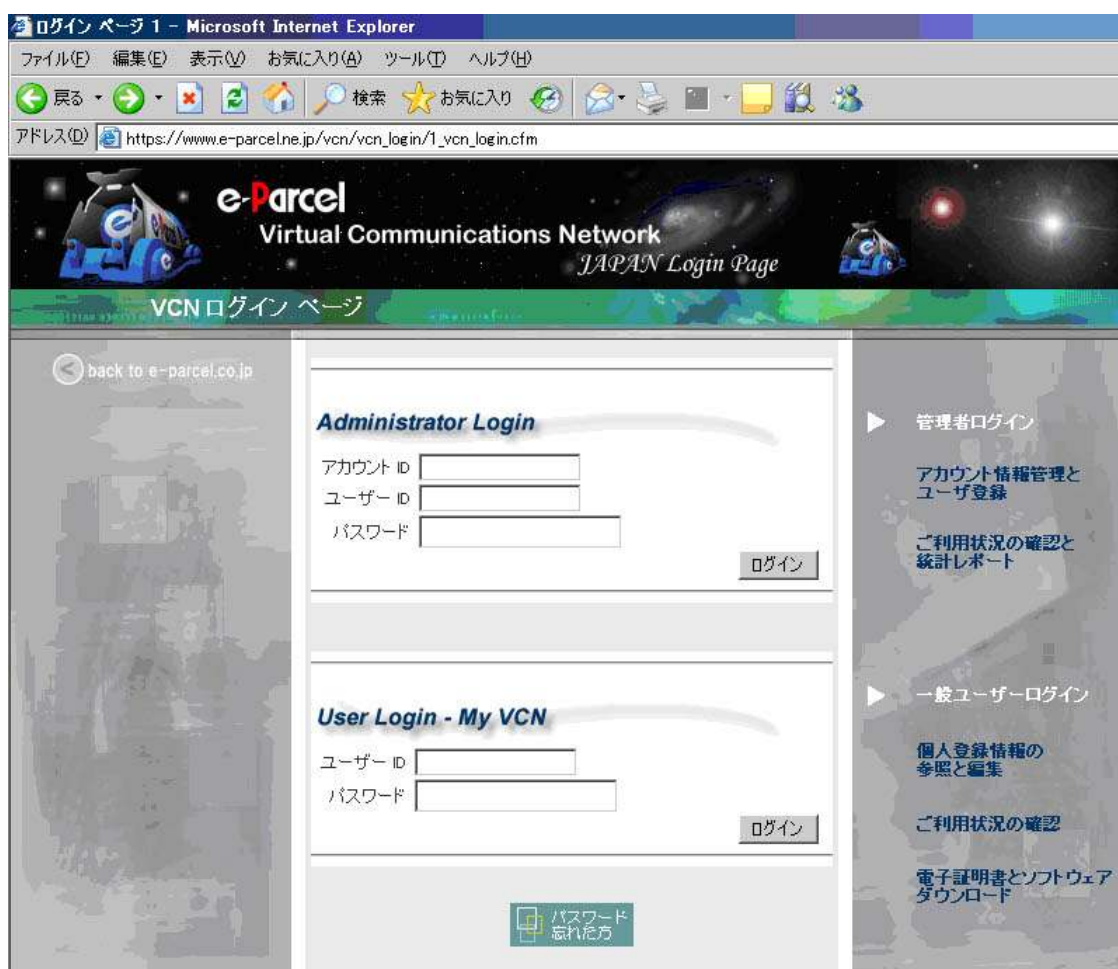


図 2

- ② 「VCN ログインページ」が表示されますので、下段の「User Login - My VCN」欄にお客様のユーザーID とパスワードを入力し、**Login** ボタンをクリックしてください（図 3）。

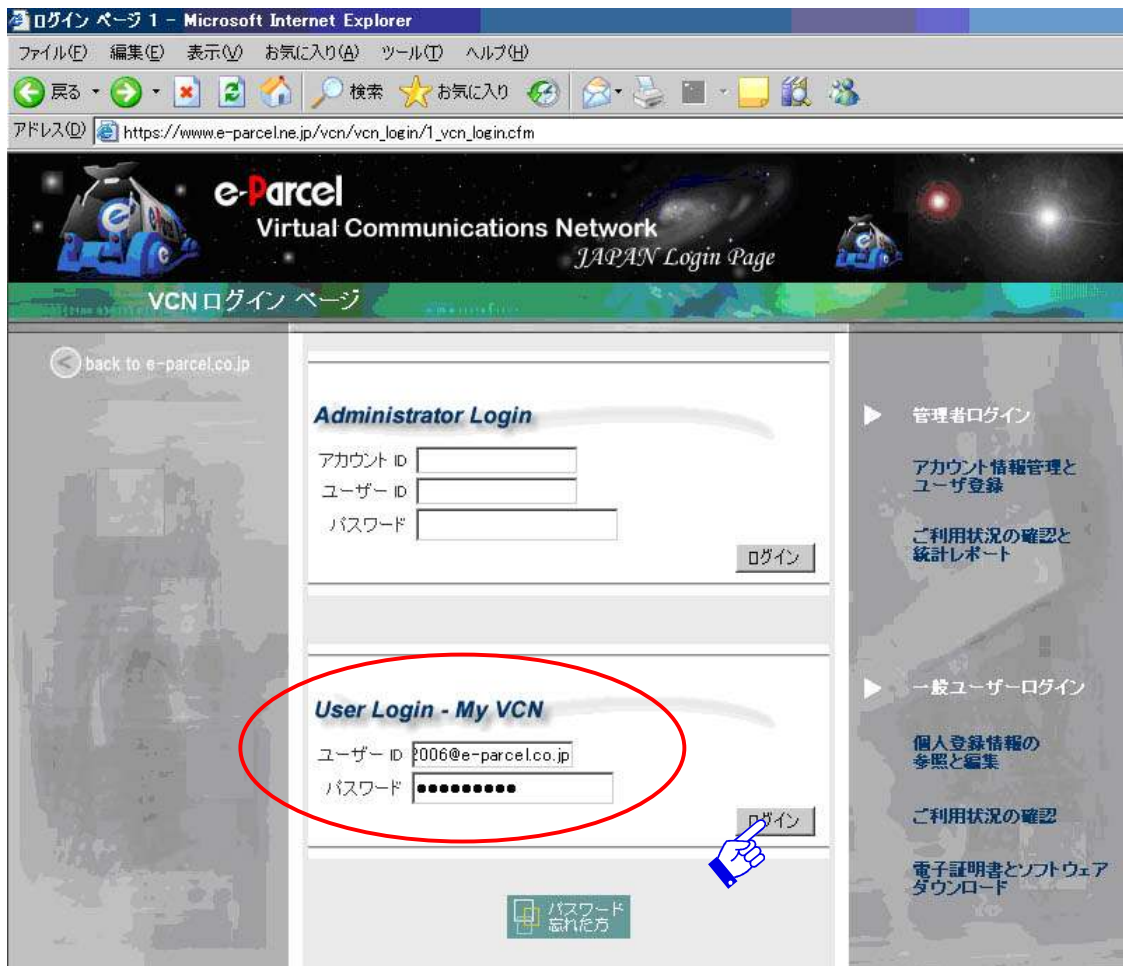


図 3

- ③ 「My VCN・ユーザー登録情報」ページが表示されますので、お客様のプロフィール（ユーザーID・名前・会社名・電話番号・Eメール・アドレスなど）をご確認ください。

※ 修正・変更が必要な場合、「My VCN・ユーザー登録情報編集」ページから編集できます。変更方法の詳細については、本マニュアル P133 をご参照ください。

プロフィールの確認後、電子証明書をダウンロードします。左側ナビゲーションバーの下にある【ソフトウェア】をクリックしてください（図 4）。

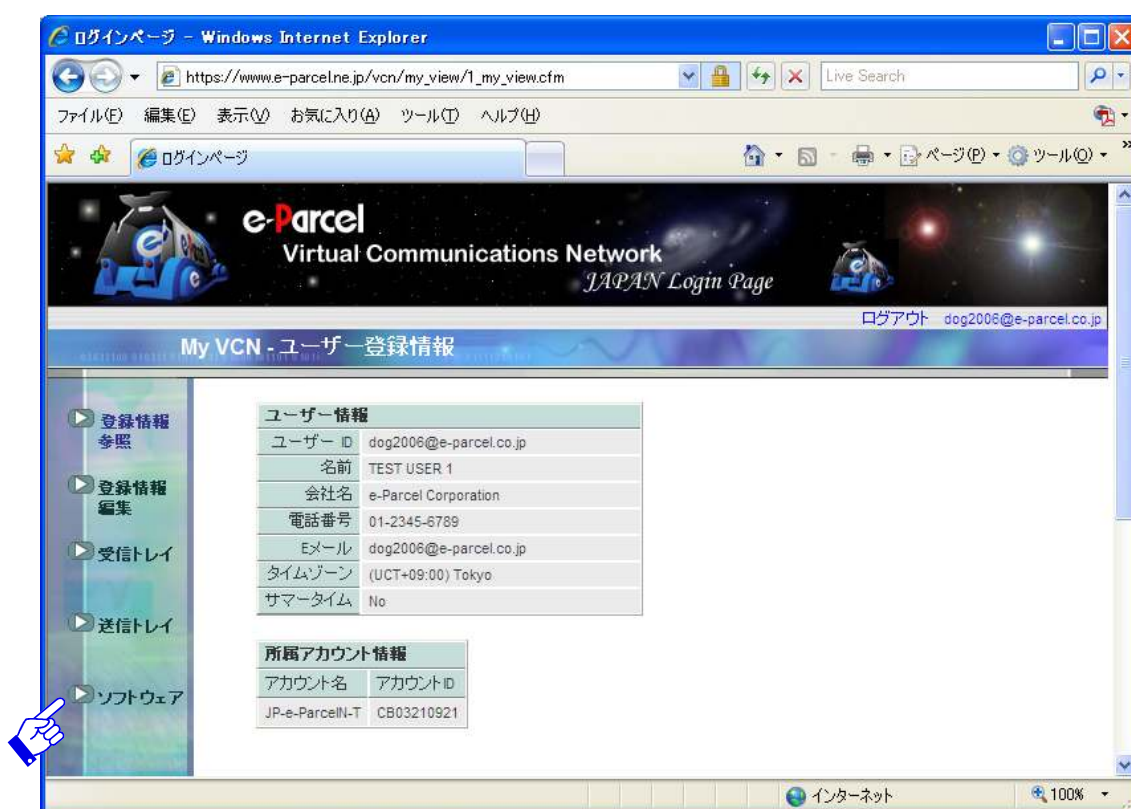


図 4



④ 「My VCN・電子証明書/ソフトウェア ダウンロード」ページが表示されます（図 5）。

ステップ1「e-Parcel 電子証明書を入手する」の「今すぐダウンロード！」ボタンをクリックしてください。「ファイルのダウンロード」画面が表示されますので、「保存」ボタンをクリックしてください。

次に「名前を付けて保存」画面が表示されますので“保存する場所”を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。（“ファイル名”・“ファイルの種類”は、変更せずにそのままの名称で保存してください。）ここで電子証明書のダウンロードが始まります。ダウンロードは、回線速度によって異なりますが、通常数秒で終了します。

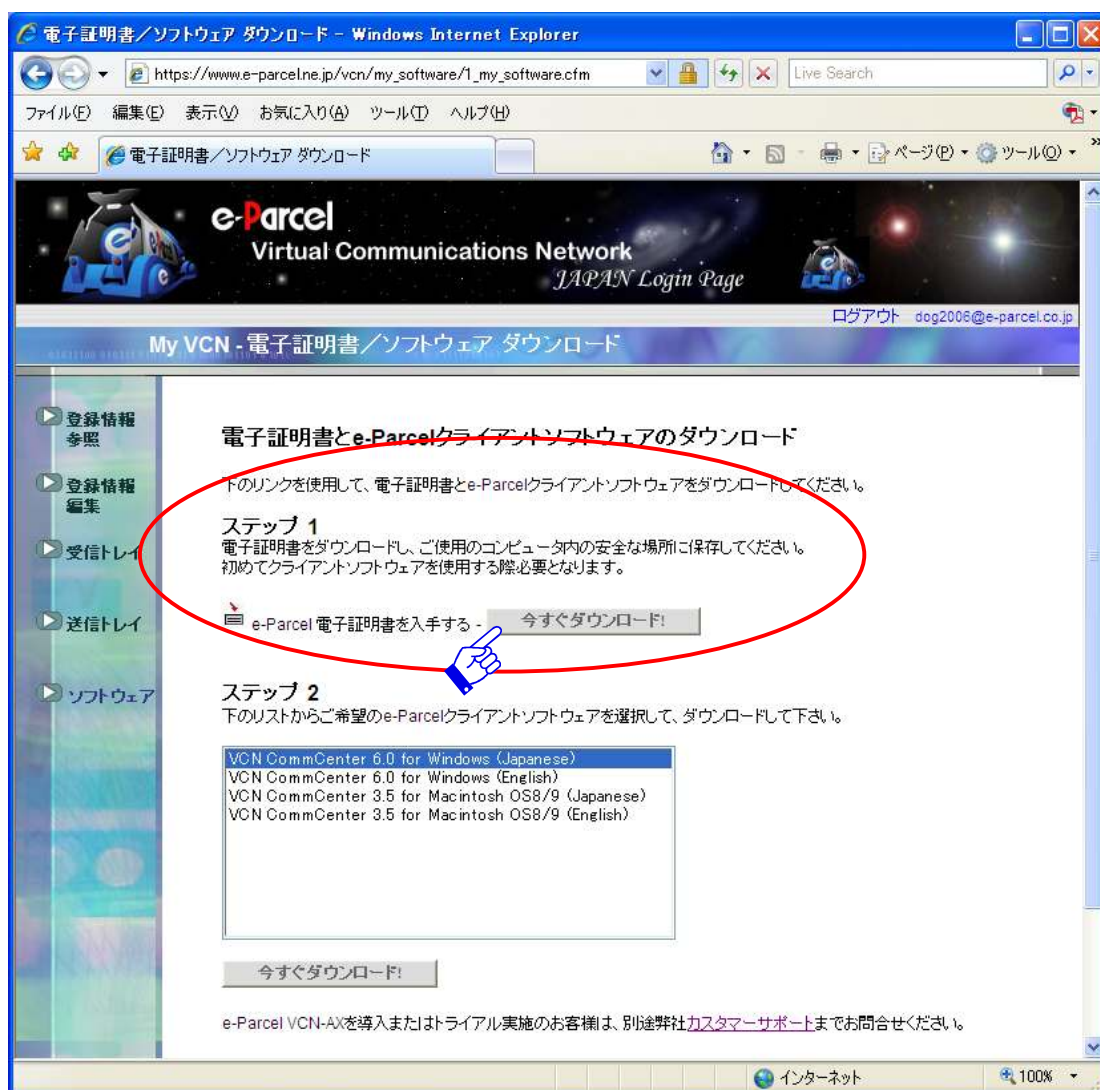




図 5

	<b>Tip:</b> 電子証明書の“ファイル名”・“ファイルの種類”は、変更せずにそのままの名称で保存してください。
	<b>Tip:</b> 電子証明書の“保存する場所”は、インストールする際に必要となりますので覚えておくようにしてください。

⑤完了すると「ダウンロードの完了」画面が表示されますので「閉じる」ボタンをクリックしてください（図 6）。その後、「My VCN・電子証明書/ソフトウェア ダウンロード」画面（図 5）へ戻ります。これで電子証明書のダウンロードは完了です。STEP3 へお進みください。

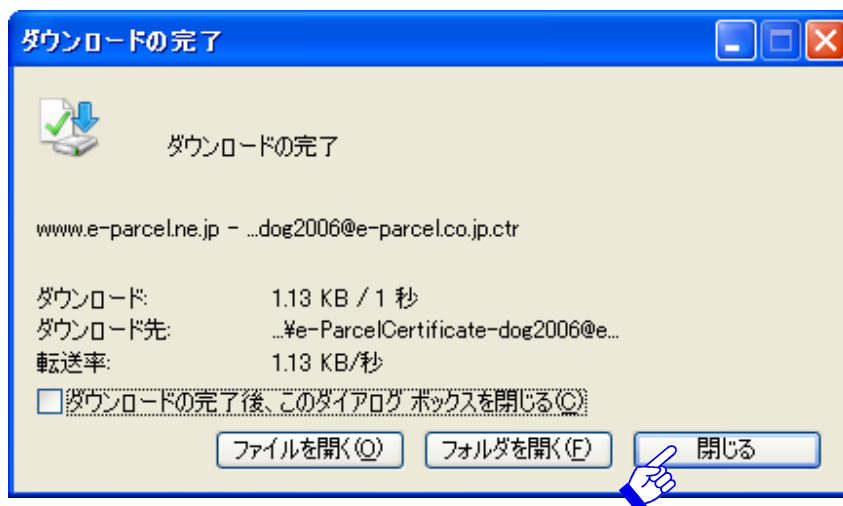


図 6

## STEP3. e-Parcelソフトウェアダウンロード

引き続き「My VCN・電子証明書/ソフトウェア ダウンロード」ページのステップ2よりe-Parcelクライアントソフトウェアをダウンロードしてください。

- ① 現在ダウンロード可能なe-Parcelソフトウェア名称は、**VCN CommCenter**となります。ステップ2のボックスに表示されています。OS別（Windows版/Macintosh版）・言語別（日本語版/英語版）となっておりますので、お客様のご利用環境により、適切なクライアントソフトを選択し「**今すぐダウンロード!**」ボタンをクリックしてください（図7）。

[例：お客様のパソコン OSがWindows・日本語環境でご利用の場合 ⇒

“VCN CommCenter 6.0 for Windows(Japanese)” を選択]

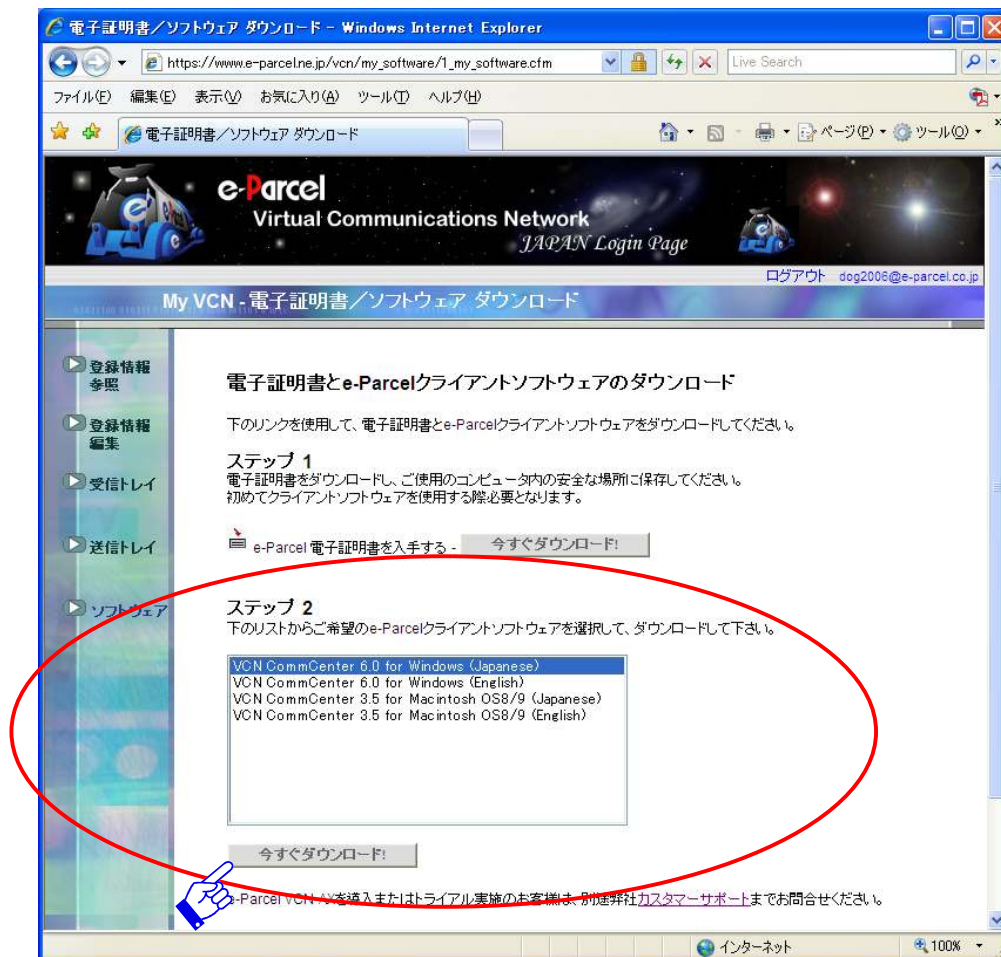


図 7

- ②「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。「このファイルを実行または保存しますか？」画面にて「保存」ボタンをクリックしてください。
- ③「名前を付けて保存」画面が表示されますので、“保存する場所”を選択し「保存」ボタンをクリックしてください。ここで、e-Parcel クライアントソフトのダウンロードが始まり、指定された場所にダウンロードされます。ダウンロードは、回線速度によって異なりますが、通常数十秒から数分で終了します。



**Tip:** クライアントソフトの“ファイル名”・“ファイルの種類”は、変更せずに、そのままの名称で保存してください。

- ④完了すると「ダウンロードの完了」画面が表示されますので「閉じる」ボタンをクリックしてください（図 8）。その後、「My VCN・電子証明書/ソフトウェア ダウンロード」画面（図 7）に戻ります。これで e-Parcel クライアントソフトのダウンロードは完了です。STEP 4 へお進みください。

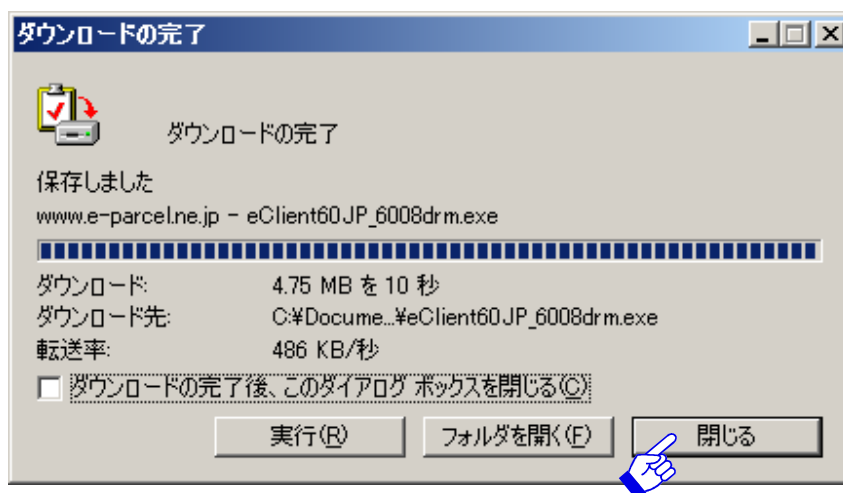


図 8



**Caution:** お客様のパソコンへ e-Parcel をインストールする前に、その他のすべてのアプリケーションを終了させてください。

## STEP4. e-Parcel ソフトウェアインストール

STEP 3 でダウンロードした e-Parcel クライアントソフトのインストールを実行します。

- ① 先程ダウンロードした“保存する場所”からクライアントソフトのインストーラー(インストーラー名:eClient...)をダブルクリック [Windows Vista, 2008, 7 の場合は右クリックして「管理者として実行」を選択後、UAC 画面にて許可] してください。「このソフトウェアを実行しますか?」と表示された場合、「実行」ボタンをクリックしてください。「インストールの準備をしています。」の次に「VCN CommCenter 用の InstallShield ウィザード」画面が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックしてください (図 9)。



図 9

- ② 「e-Parcel ライセンスご提供約款」画面が表示されます。使用許諾契約の内容を、必ずきちんとお読みください。ご確認いただけましたら『-----同意します』を選択し「次へ」をクリックしてください (図 10)。

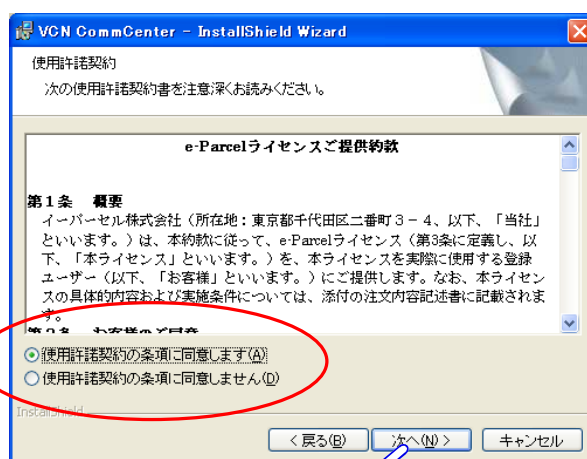




図 10

	<p><b>Warning:</b> 途中「ユーザー情報」画面に、すでにお客様のパソコンに設定されているユーザー情報が表示されます。下段に「このアプリケーションを次のユーザーに対してインストールします」と表示された場合は、「このコンピュータを使用するすべてのユーザー」を選択し「次へ」をクリックしてください。</p> <p>なお、Windows98、98SE、ME および英語バージョンはこちらの項目は表示されませんのでそのままお進みください。</p>
---	--

- ③ 「インストール先フォルダ」画面にて「次へ」をクリックするとインストール準備が完了です。「インストール」ボタンをクリックしインストールを開始してください。
- ④ インストールが完了すると「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されます（図 11）。そのまま、「完了」ボタンをクリックしてください。次に、自動的に「電子証明書をインストールする」画面が表示されます。STEP 5 へお進みください。



図 11

	<p><b>Caution:</b> WindowsNT, 2000, XP, 2003, Vista, 2008, 7 をご利用のお客様へ  <u>上記 OS をご利用で Administrator でインストールを実行しているが、実際は一般ユーザー権限でクライアントソフトを利用する場合は、「電子証明書をインストールする」画面を一旦閉じてログオフ、実際にクライアントソフトをご利用いただくユーザー権限でログオンし直してください。ログオン後、自動的に「電子証明書をインストールする」画面が表示されますので、次の STEP 5 へお進みください。</u></p>
---	---

## STEP5. 電子証明書のインストール

e-Parcel クライアントソフトへ電子証明書をインストールします。

- ① e-Parcel クライアントソフトのインストールが終了すると、「証明書をインストールする」画面が表示されます(図 12)。**「証明書をインストールする」** ボタンをクリックしてください。

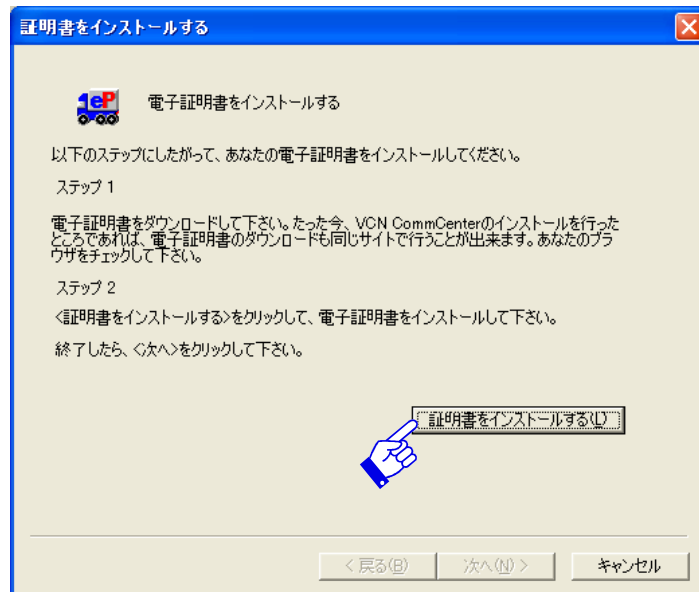


図 12

- ② 「電子証明書ファイルを選択してください。」ダイアログボックスがオープンしますので、**STEP2. 電子証明書のダウンロード**でダウンロードした“保存する場所”から、電子証明書ファイル(ファイル名:e-ParcelCertificate-ユーザーID.ctr)をクリック選択し、「ファイル名」欄に表示されるのをご確認ください(図 13)。その後、**「開く」** ボタンをクリックしてください。

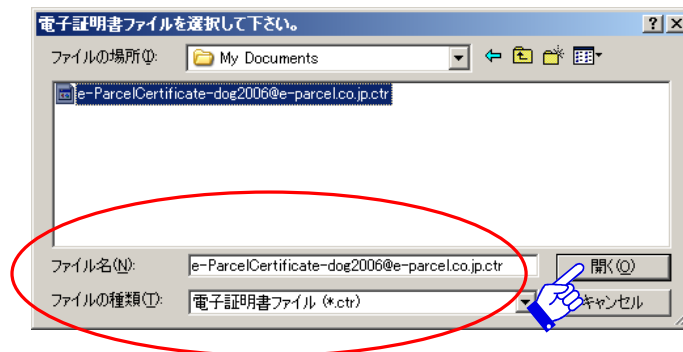


図 13

- ③ 再度「証明書をインストールする」画面(図 12)へ戻ります。**次へ**ボタンが操作可能となりますので、ここで**次へ**ボタンをクリックし電子証明書のインストールを開始してください。
- ④ ここで、「電子証明書」が表示されます。お客様の“ユーザ ID”と、“発行人 (Issuer)”が e-Parcel であることを確認し、**次へ**ボタンをクリックしてください (図 14)。

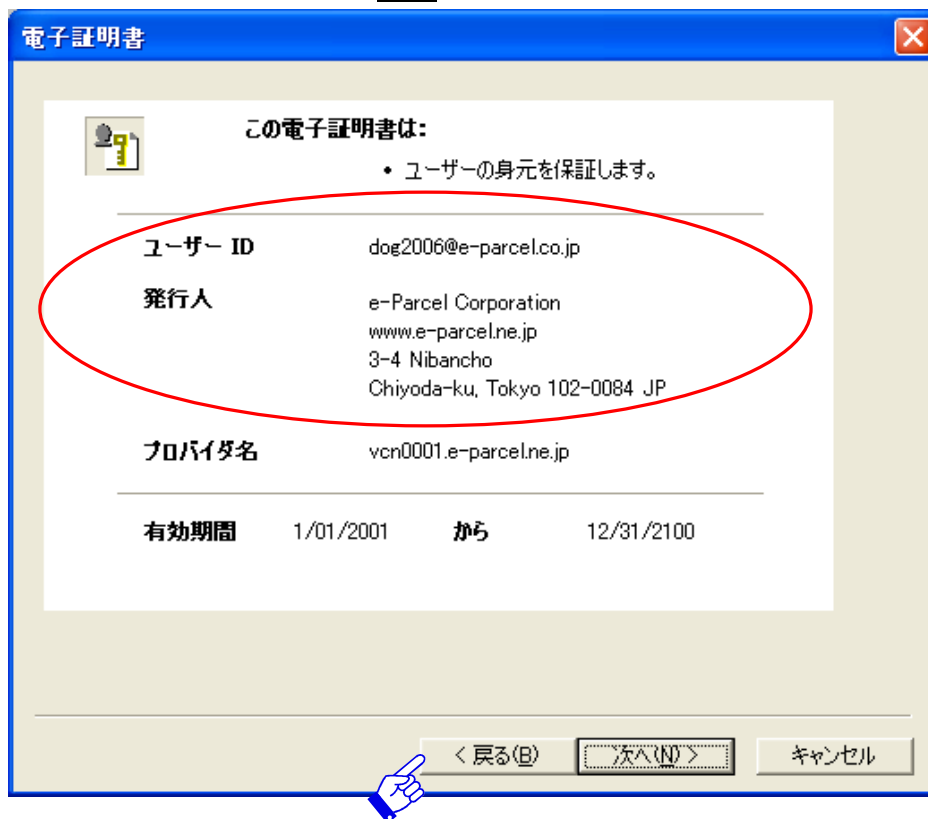



図 14

- ⑤ 「セットアップ」画面が表示されます (図 15)。自動検出されたネットワーク設定でよい場合は、**続ける**へチェックを入れ、**次へ**ボタンをクリックしてください。

※ ご自身でネットワーク設定をされる場合は、**詳細**へチェックした後、**次へ**ボタンをクリックし設定を行います (図 15)。ネットワーク設定の詳細は、[3. ネットワークの詳細 \(P32\)](#)をご参照ください。

	<b>Caution:</b> プロキシサーバをご使用の場合は、プロキシ設定が必要となります。 <b>詳細</b> を選択した後で、 <b>次へ</b> ボタンをクリックし設定を行います。(プロキシ設定は、 <a href="#">3. ネットワークの詳細 (P32)</a> をご参照ください。)
---	---



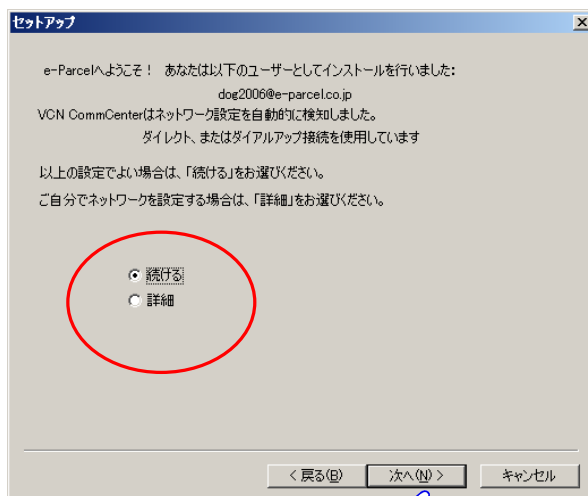


図 15

- ⑥ 電子証明書が正常にインストールできたら、「ユーザー情報」画面が表示されます。ここで、e-Parcel サーバへのログインを行います。ユーザーID を確認し、パスワードを入力してください（図 16）。



**Note:** パスワードは、文字や数字では表示されません。アスタリスク（\*）で表示されます。

- ⑦ 次に「ログイン」ボタンをクリックすると、画面にログイン状況が表示されます。最後に「ログインに成功しました。」が表示されれば、正常に全てのインストールが完了したことになり、ログイン開始です（図 16）。

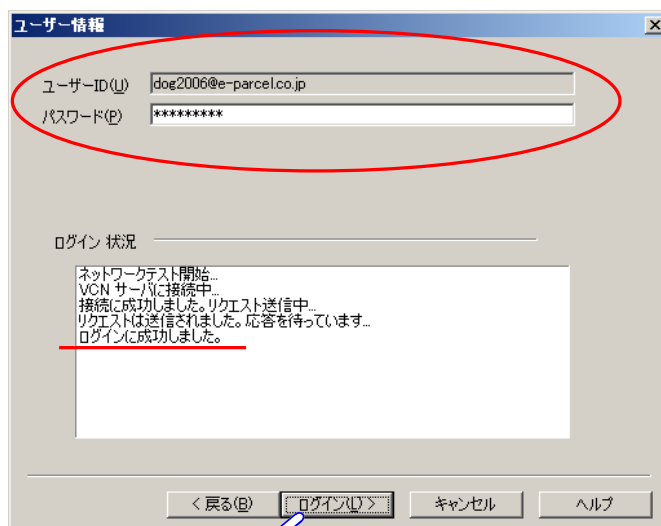


図 16

- ⑧ その後、もう一度 **ログイン** ボタン (図 16) をクリックしてください。e-Parcel クライアントソフトが起動し、VCN CommCenter 画面が表示されます (図 17)。

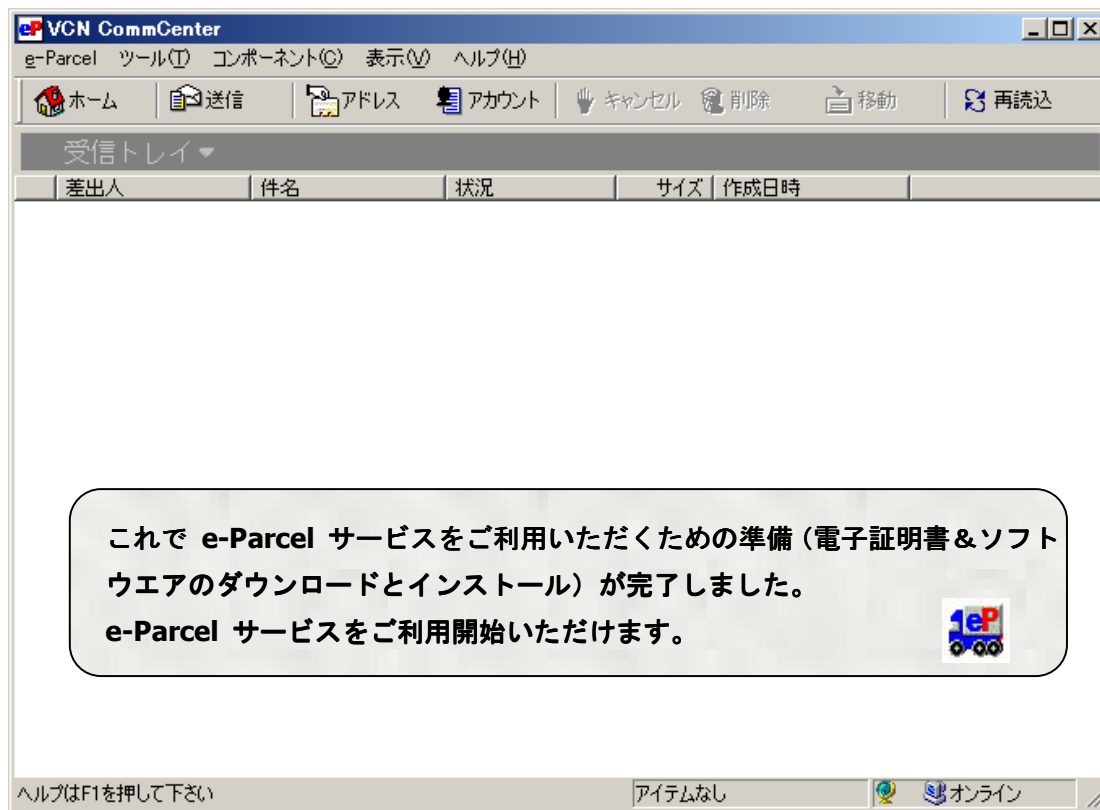


図 17

	<p><b>Caution:</b> WindowsNT, 2000, XP,2003, Vista, 2008, 7をご利用のお客様へ e-ParcelクライアントソフトをインストールしたWindowsユーザ以外のユーザでご利用のPCへログオンするケースが存在し、かつ、e-ParcelクライアントソフトをインストールしたWindowsユーザがログオンした場合のみe-Parcelを起動させたい場合は、「VCN CommCenter」ショートカットアイコンを、デフォルトの場所：All Usersのスタートアップ フォルダ内からのインストールいただいたWindowsユーザのスタートアップ フォルダ内へ移動させる必要があります。詳しくは、「ダウンロード&amp;インストール マニュアル(事前準備編)」P16をご参照ください。</p> <p>例) Windows2000/XP/2003の場合：</p> <p>下記①から②の場所へ「VCN CommCenter」ショートカットアイコンを移動させてください。</p> <p>①C:\Documents and Settings\All Users\スタート メニュー\プログラム\スタートアップ</p> <p>②C:\Documents and Settings\ (Windowsユーザ名) \スタート メニュー\プログラム\スタートアップ</p>
	<p><b>Warning:</b> 複数のPCで同じユーザーIDで設定されたクライアントソフトを起動すると、正確なユーザー認証が妨げられ、データが正常に送受信できない現象を引き起こす可能性があります。</p> <p><b>1つのユーザーIDでは、必ず1台のPCでのみお使いください。</b></p>

## e-Parcel サーバへのログインに失敗した場合

- ① 「ログインに失敗しました。」(図 18) と表示された場合、まず、もう一度、パスワードを確認してください。入力後 **ログイン** ボタンをクリックしてください。ログイン状況の最後に「ログインに成功しました。」が表示されれば完了です。そうでない場合、②へお進みください。
- ② 再度、ログインできない場合、**戻る** ボタンを続けてクリックし、「証明書をインストールする」画面へ戻り、全て正しく行われていたかを再度確認してください。特に、プロキシサーバをご使用のお客様は、御社ネットワーク管理者へプロキシサーバのホスト名・ポート番号を確認し、「**セットアップ**」画面から、**詳細** をチェックし、ネットワーク設定を再度正しく行ってください。ネットワーク設定の詳細は、[3. ネットワークの詳細 \(P32\)](#) をご参照ください。
- ③ その後、再度「ユーザー情報」画面にて、パスワードを入力し、**ログイン** ボタンをクリックしてください。エラーメッセージが表示された場合は、カスタマーサポート ([support@e-parcel.co.jp](mailto:support@e-parcel.co.jp)) までご連絡ください。

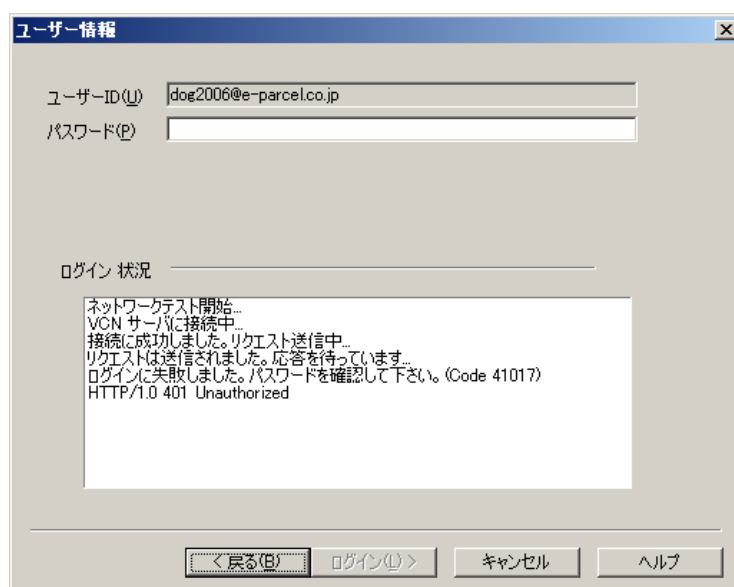


図 18

## 2 VCN CommCenter の設定

e-Parcel クライアントソフトおよび電子証明書のインストールが完了しましたら、VCN CommCenter が起動し、サービスがご利用開始いただけます。

お客様のご利用環境によっては、別の設定が必要となる場合があります。このセクションでは、お客様の利用環境上、最適に **VCN CommCenter** をご利用する方法をご説明いたします。ツールメニューから **セットアップ** を選択してください。(図 19)。

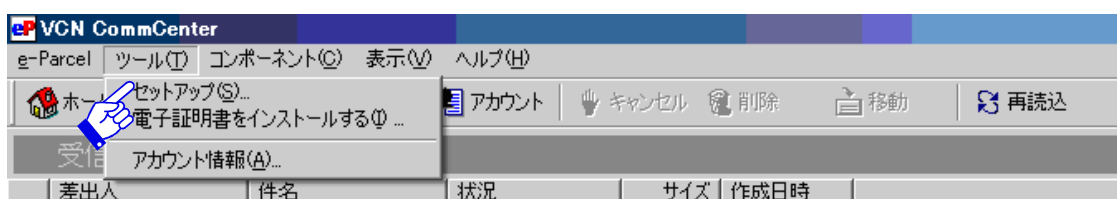


図 19

「セットアップ」画面がオープンします(図 20)。この画面には、6つのタブが用意されています。設定を行う場合、該当のタブをクリックしそれぞれの設定画面を表示させ、このセクションの説明に従い設定を進めてください。セットアップは、**VCN CommCenter** を使用する上で非常に重要であり、お客様の利用環境に応じた設定を行うものです。

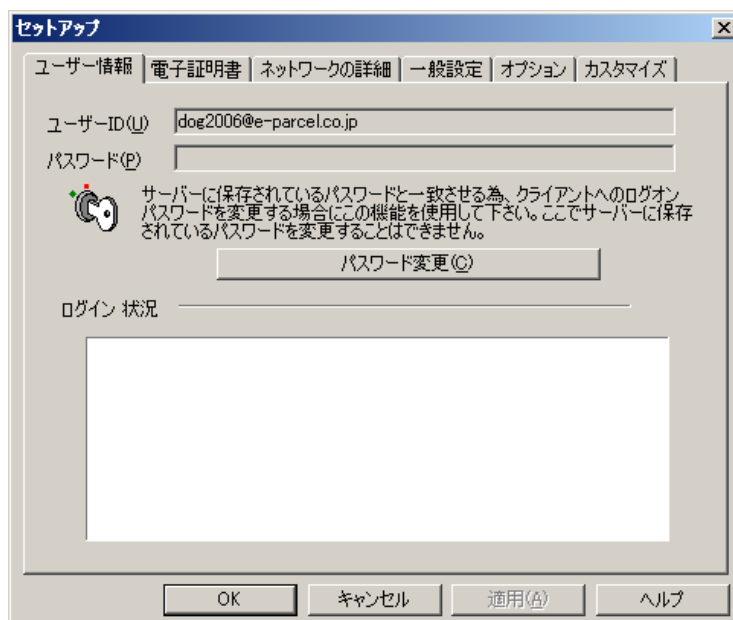


図 20

セットアップ タブ	機 能
ユーザー情報	クライアントソフトのパスワード設定を認証させ、ログイン状況の確認・テストに使用します。
電子証明書	インストールされている電子証明書のプロパティを確認できます。
ネットワークの詳細	お客様の利用環境に応じてネットワークの詳細な設定を行います。
一般設定	パスワードオプション・アドレス帳の選択・ダイヤルアップの使用について設定を行います。
オプション	アイテムの保存場所・データベースの場所・メッセージフォントなどオプション設定を行います。
カスタマイズ	メインディスプレイに表示させる項目を、カスタマイズできます。



## 1. ユーザー情報

「ユーザー情報」は、e-Parcel クライアントソフトへパスワードを認証させる際に使用します。また、ログイン状況確認とログインテストを行うことができます（図 20）。

お客様が e-Parcel Web サイト「ログイン」ページよりログインし [OMy VCN・ユーザー登録情報編集 \(P133\)](#) にて e-Parcel サーバに保存されているパスワード変更をした場合、e-Parcel クライアントソフトへ新パスワードを認証させる必要があります。その場合、下記①～③手順に従い操作を行ってください。

- ① 新パスワードを認証させるには、**パスワード変更** ボタンをクリックしてください（図 20）。
- ② 表示された「新パスワードを入力する」ダイアログボックスのユーザーID を確認し、Web「ログイン」ページで変更した新パスワードを入力してください（図 21）。
- ③ パスワードを入力したら **OK** ボタンをクリックしてください。ログイン状況フィールドにその結果が表示されますので確認してください（図 22）。

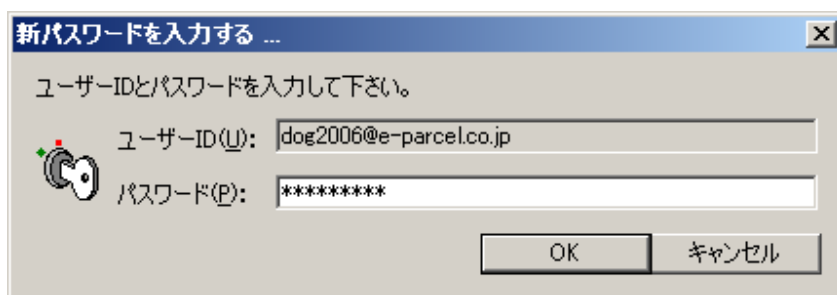


図 21

	<b>Note:</b> パスワードは、文字や数字では表示されません。アスタリスク（*）で表示されます。
	<b>Caution:</b> セットアップ「ユーザー情報」の“パスワード変更”では、e-Parcel サーバに保存されているパスワードを変更することはできません。この機能は、Web サイトから e-Parcel サーバのパスワードを変更したとき、e-Parcel クライアントソフトのログインパスワードと一致させるために、新パスワードを認証させるためにご利用いただきます。
	<b>Caution:</b> 弊社 Web サイト「ログイン」ページよりログインし <a href="#">OMy VCN・ユーザー登録情報編集 (P133)</a> にて e-Parcel サーバに保存されているパスワード変更をした場合、e-Parcel サービスをご利用いただく前に、必ず「ユーザー情報」の“パスワード変更”を行ってください。

## ログインの成功

「ログインに成功しました。」が表示されれば、正常にログインしたことになります(図 22)。この時点で、セットアップの設定が完了の場合は、**OK** ボタンをクリックし設定を終了してください。セットアップを続ける場合は、**2. 電子証明書 (P31)**へお進みください。

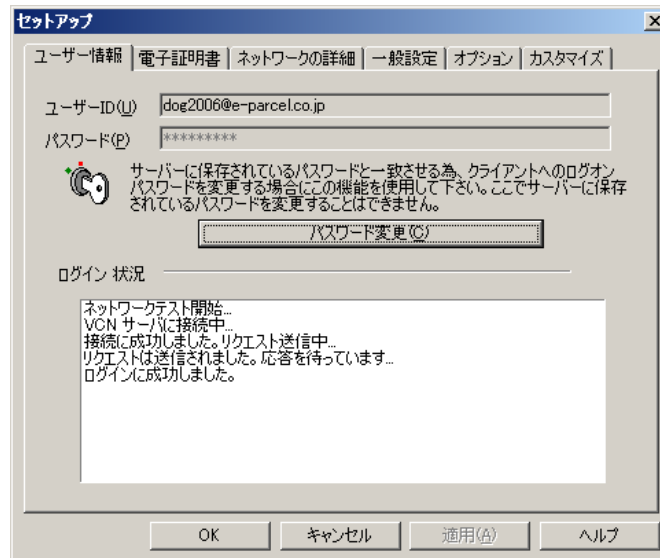


図 22

## ログインの失敗

「ログインに失敗しました。」というメッセージが表示されましたら、もう一度パスワードが正しく入力されているか確認をしてください(図 23)。それでもログインできない場合は、カスタマーサポート([support@e-parcel.co.jp](mailto:support@e-parcel.co.jp))までご連絡ください。

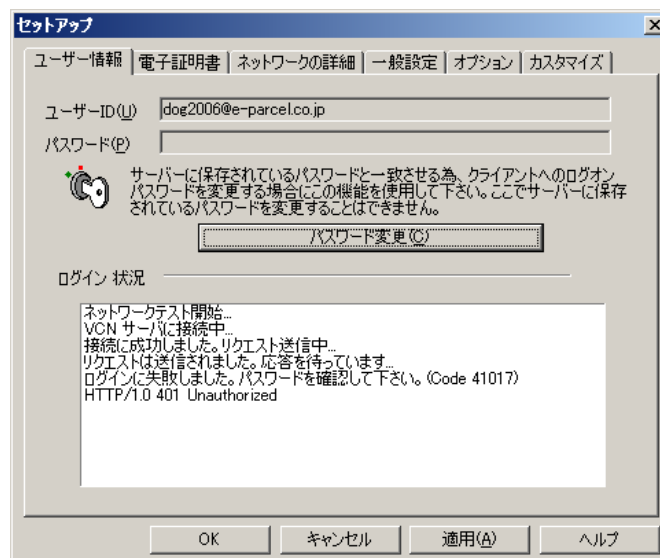


図 23

## 2. 電子証明書

「電子証明書」は、インストールされている電子証明書のプロパティを確認することができます（図 24）。表示されている内容をご確認ください。この画面は情報を表示するのみで、設定することはできません。

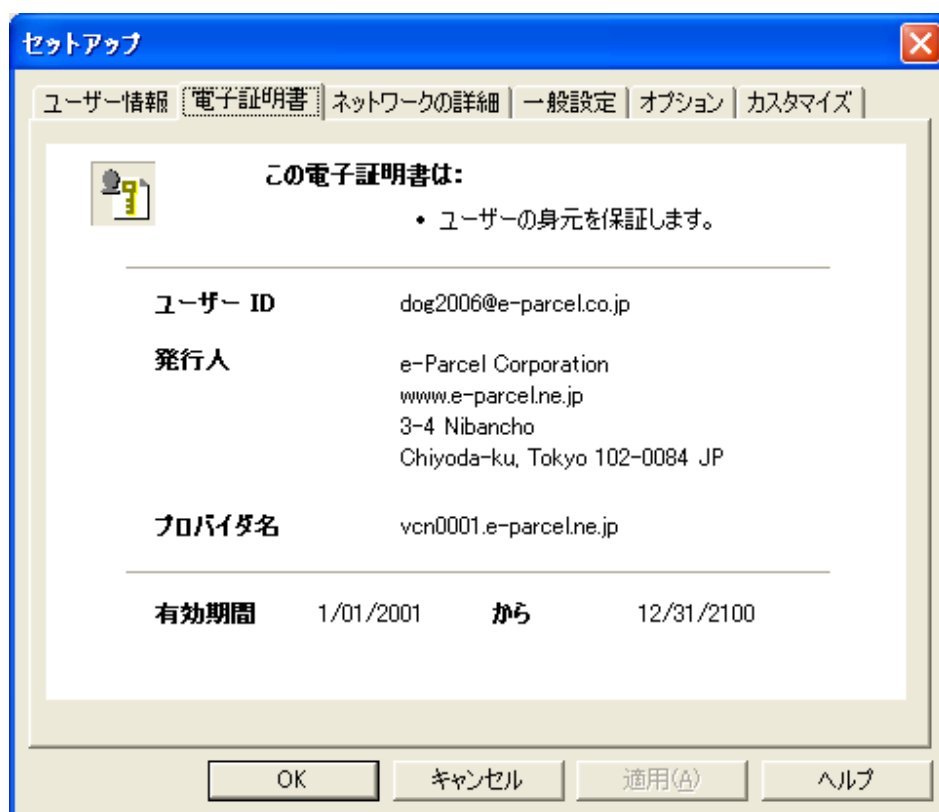



図 24

この時点で、セットアップの設定が完了の場合は、**OK** ボタンをクリックし設定を終了してください。セットアップを続ける場合は、[3. ネットワークの詳細 \(P32\)](#)へお進みください。



### 3. ネットワークの詳細

「ネットワークの詳細」は、お客様の利用環境に応じてネットワークの詳細な設定を行うことができます。ネットワークの設定は、VCN CommCenter において非常に重要な設定項目です。お客様のネットワーク管理者と連絡をとり、適切な情報を収集した上で入力してください（図 25）。

	<p><b>Caution:</b> VCN CommCenter を正しく利用するためには、ネットワークの設定が必要です。設定がわからない場合、お客様のシステム管理者へご確認ください。また、ご不明な点については、カスタマーサポート (<a href="mailto:support@e-parcel.co.jp">support@e-parcel.co.jp</a>) までお問合せいただき、正しいネットワーク設定の方法を確認してください。</p>
---	---

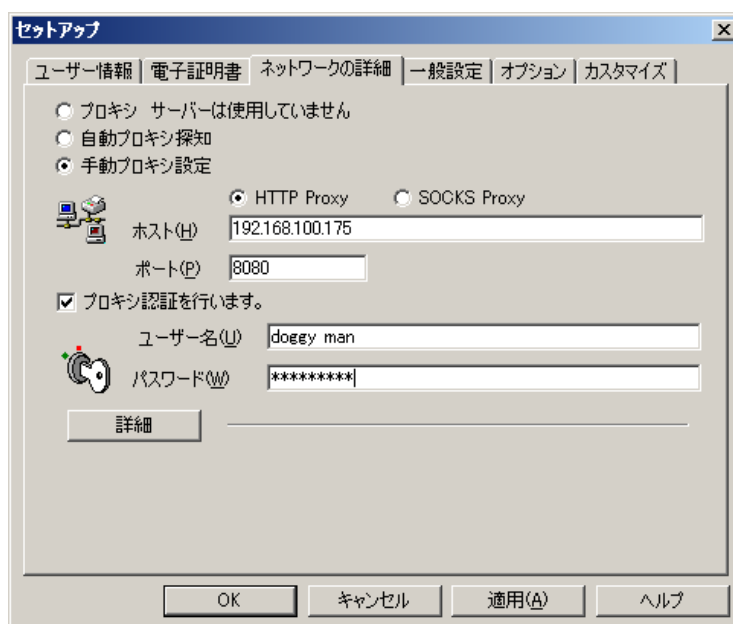


図 25

#### プロキシの設定

- プロキシ サーバは使用していません。

初期設定では、「プロキシ サーバは使用していません。」に設定されています。問題がなければ、**詳細** ボタンをクリックし、次のステップへお進みください。

## ● 自動プロキシ探知

プロキシを自動で設定したい場合、「自動プロキシ探知」を選択してください。その後、[プロキシ認証](#)または  ボタンをクリックし、次のステップへお進みください。

## ● 手動プロキシ設定

手動でプロキシの設定を行う場合、「手動プロキシ設定」を選択してください。ネットワークの設定を手動で行う場合、必要なプロキシの情報を登録してください。現在“HTTP Proxy” もしくは “SOCKS Proxy” がサポートされています。二つのうちどちらかひとつ選択した後、**ホスト名とポート番号**を入力してください。入力が終了しましたら、[プロキシ認証](#)または  ボタンをクリックし、次のステップへお進みください。



**Caution:** プロキシサーバを手動設定いただく場合、「ホスト」欄には IP アドレスもしくはサーバ名のみをご入力ください。(IE などで設定されているプロキシサーバと同じものをお使いの場合、IE でホストアドレスを確認すると [http://IP アドレス] のような形式で設定されていますが、ここでは [http://] の部分は入力しないようにしてください。

## プロキシ認証

このメニューは、プロキシを設定した場合にのみ有効です。プロキシサーバが認証を必要としているか確認してください。

**プロキシ認証が不要な場合:** そのまま  ボタンをクリックし、次のステップへお進みください。

**プロキシ認証が必要な場合:** 「プロキシ認証を行います。」をチェックし、プロキシ認証に用いられる「**ユーザー名**」と「**パスワード**」を入力してください。入力が終了しましたら  ボタンをクリックし、次のステップへお進みください。



**Note:** パスワードは、文字や数字では表示されません。アスタリスク (\*) で表示されます。

## 詳細

ここでは、ポーリング・タイムアウト・ブロックサイズ・エンコードタイプ・トラッキングに関する設定します。それぞれの項目は初期値が設定されています。設定変更をする場合は、**詳細** ボタンをクリックし、5つの設定項目を表示させてください（図 26）。これらの項目はネットワークトラフィック管理やファイアーウォール構成と連携します。設定する必要がない場合は、[4. 一般設定 \(P36\)](#)へお進みください。

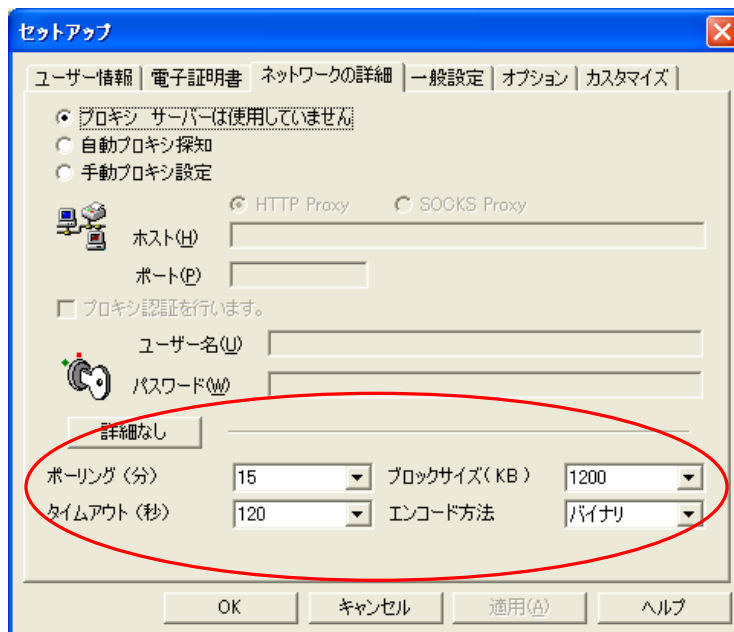


図 26

- **ポーリング(分)**—ここでは VCN CommCenter で未受信アイテムの受信などを、e-Parcel サーバへチェックする間隔を分単位で設定します。ネットワークの帯域幅がかなり制限されている場合、高い数値（例えば 30 分間隔など）で設定してください。
- **タイムアウト(秒)**—ここではポーリング時に、e-Parcel サーバからのレスポンスが全くない状態での待ち時間を秒単位で設定します。レスポンスがないまま設定した時間を経過した場合、レスポンス待ちは終了します。次のポーリングまで e-Parcel サーバへ自動的にアクセスされません。ネットワークの帯域幅がかなり制限されている場合、高い数値（例えば 240 秒など）で設定してください。

- **ブロックサイズ (KB)** –ここでは送受信時の最大ブロックサイズをキロバイト単位で設定します。ブロックサイズがこの制限値を超えた場合、ブロックの受け入れが拒否されます。ネットワーク帯域管理上、システム管理者が送受信データのブロックサイズを制限している場合があります。この設定は、システム管理者の設定と整合する必要があります。
- **エンコード方法** –ここでは受信可能なエンコードタイプを Binary と Base64 の2つから選択します。お客様のネットワーク環境上でいずれかの制限がある場合、適切なエンコード・タイプをお選びください。

「ネットワークの詳細」で設定を変更すると **適用** ボタンが操作可能になりますので、変更内容を有効にする場合は、このボタンをクリックしてください。

この時点で、セットアップの設定がすべて完了した場合は、**OK** ボタンをクリックし設定を終了してください。セットアップを続ける場合は、[4. 一般設定 \(P36\)](#)へお進みください。

## 4. 一般設定

「一般設定」では、パスワードオプション・アドレス帳の選択・ダイヤルアップの使用についての設定をすることができます（図 27）。

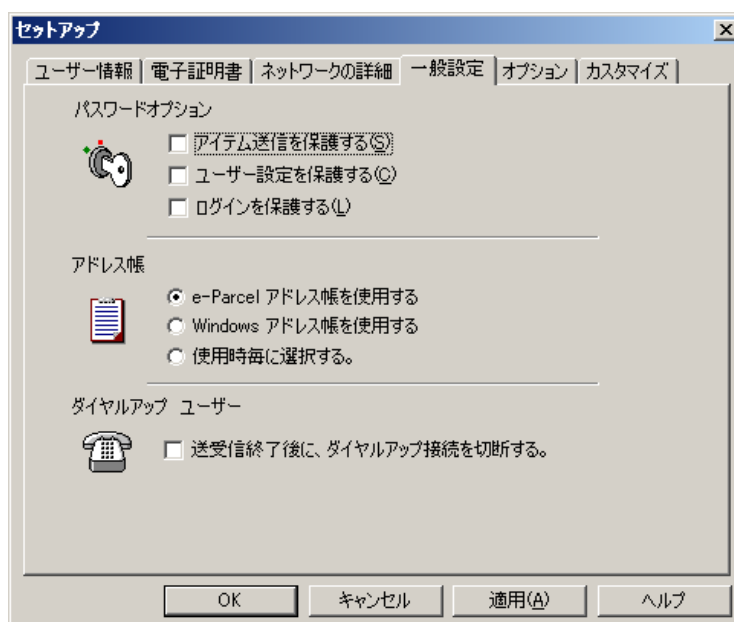


図 27

### パスワードオプション

パスワードオプションを選択し設定すると、それぞれ該当の操作をするたびにパスワードの入力が必要となります。

- **アイテム送信を保護する** – アイテムを送信する場合、パスワードが必要になります。
- **ユーザー設定を保護する** – セットアップ・電子証明書のインストールなど VCN CommCenter の設定を変更する場合、パスワードが必要となります。
- **ログインを保護する** – アプリケーションソフトを起動するたびにパスワードが必要となります。



**Note:** 企業のネットワーク環境には、セキュリティーポリシーが存在しますのでそのポリシーに適するものを設定してください。

### アドレス帳の選択

どのアドレス帳を使用するかを選択します。

- **e-Parcel アドレス帳を使用する** –e-Parcel アドレス帳を使用する場合に選択します。
- **Windows アドレス帳を使用する** –Windows アドレス帳を使用する場合に選択します。
- **使用時毎に選択する** – こちらを選択すると、受信者を選択する時に **【アドレス帳】** をクリックするたびに、「**どちらのアドレス帳を使用しますか？**」画面が表示され、どちらのアドレス帳を使用するか選択できるようになります（図 28）。

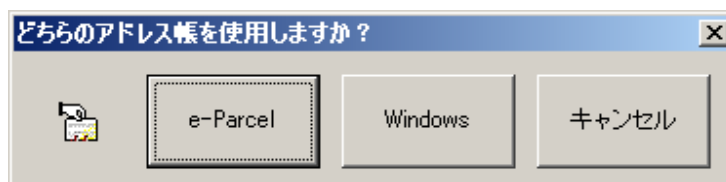


図 28

	<b>Note:</b> 送信のときは、e-Parcel へ登録されているユーザーID だけを受信者のアドレスとして選択してください。また、Outlook の「配布先リスト」は利用できません。
	<b>Note:</b> e-Parcel アドレス帳についての詳細は、 <a href="#">e-Parcel アドレス帳 (P62)</a> をご参照ください。

### ダイアルアップ ユーザー

ダイアルアップ接続で、VCN CommCenter から送受信を行う場合、この設定をご活用ください。「送受信終了後に、ダイアルアップ接続を切断する。」を選択すると全ての送受信完了後に回線を切断します。この機能は、回線を接続したままにしたい場合に非常に有効です。

「一般設定」で設定を変更すると **適用** ボタンが操作可能となりますので、変更内容を有効にしたい場合は、このボタンをクリックしてください。

この時点で、セットアップの設定がすべて完了した場合は、**OK** ボタンをクリックし設定を終了してください。セットアップを続ける場合は、[5. オプション\(P38\)](#)へお進みください。

## 5. オプション

「オプション」では、アイテム一時保存場所、データベースの場所、メッセージのフォントなどのオプション設定をすることができます（図 29）。

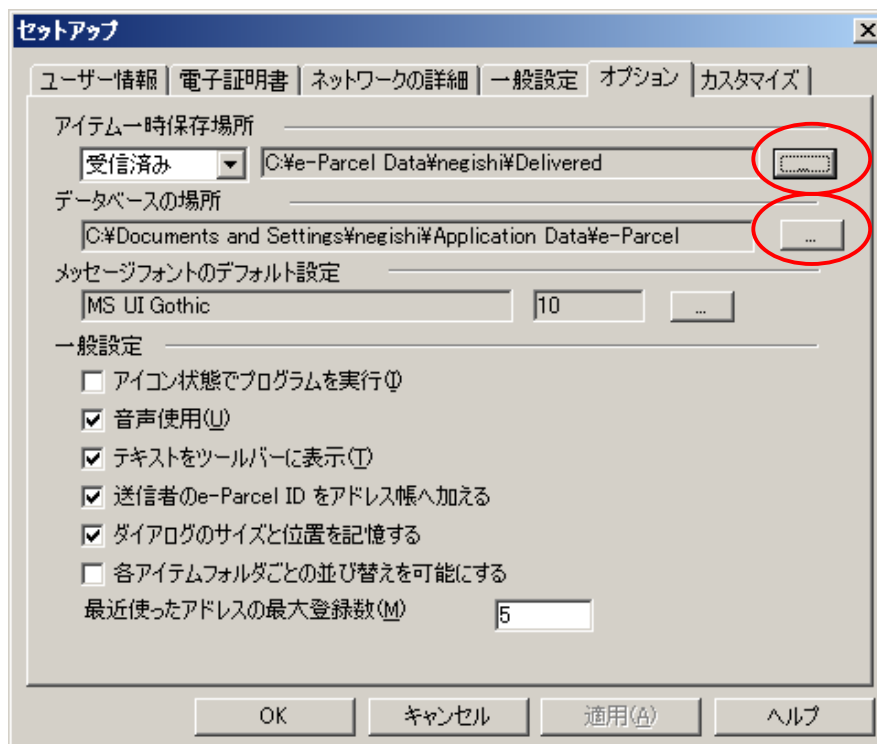


図 29

### アイテム一時保存場所

受信されたアイテムを保存する場所や、送受信中のアイテムが一時的に使用する作業フォルダの場所を指定することができます。まず、初期設定でのフォルダの場所が、ボックスに表示されます（図 29）。

#### 変更する場合：

- ① プルダウンメニューより「受信済み」「処理中」のどちらかを選択し、選択ボタンをクリックします（図 29 赤丸上部分）。
- ② 「フォルダの参照」画面がオープンしますので、保存場所を選択し **OK** ボタンをクリックしてください（図 30）。

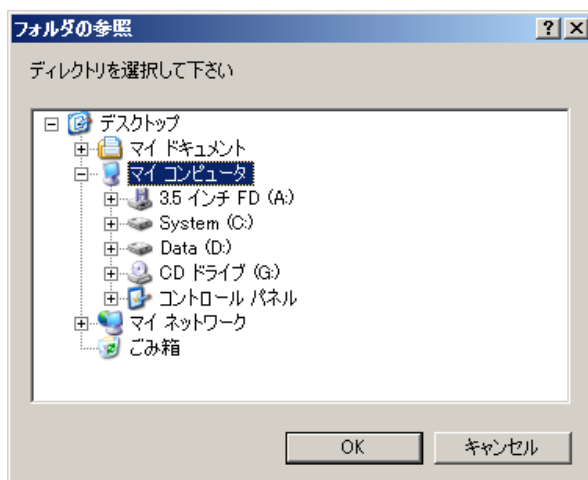


図 30

### データベースの場所

VCN CommCenter で e-Parcel データベース情報を保存する場所を指定することができます。まず、初期設定でのフォルダの場所がボックスに表示されます (図 29)。

#### 変更する場合：

- ① 選択ボタンをクリックし、保存場所を変更してください (図 29 赤丸下部分)。ボタンをクリックすると「**アタボックスデータベースの場所**」画面がオープンします (図 31)。
- ② 「**新しいデータベースの場所**」の選択ボタン (図 31 赤丸部分) をクリックすると、「**フォルダの参照**」ダイアログボックスがオープンしますので、画面に表示されているフォルダから保存場所を選択し **OK** ボタンをクリックしてください。
- ③ 「**現在のユーザ**」が選択されたままの状態であれば、**OK** ボタンをクリックしてください。



**Caution:** 「すべてのユーザ」は同じ端末からログインするすべてのユーザーに対して、同じ e-Parcel 電子証明書および送受信トレイを共有させる場合にチェックします。VCN CommCenter インストール時に合わせて共有化を設定する場合は「ダウンロード&インストール マニュアル」を、現在のユーザーでの使用からすべてのユーザーでの共有使用に変更する場合は付録 4. 「データベースの共有化について」をご参照ください。



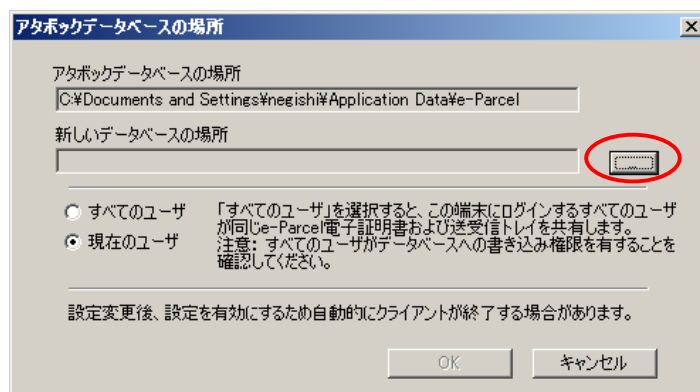



図 31

	<p><b>Caution:</b> データベースの場所の設定を変更すると e-Parcel クライアントソフトが自動終了します。ここで変更をした設定を反映するには、e-Parcel クライアントソフトを再起動してください。</p>
---	--

### メッセージフォントのデフォルト設定

送信時のメッセージフォントの初期設定を変更することができます。

初期設定は、[フォント名 : MS UI Gothic / スタイル : 標準 / サイズ : 10 ポイント / 色 : 黒 ] が設定されています。

**フォントの初期設定を変更する場合 :** 選択ボタンをクリックすると、「フォント」画面がオープンしますので、メッセージフォントの設定をお好みのフォントに変更してください (図 32)。ここでは、フォント名・スタイル・サイズ・文字飾り・色・文字セットの設定を変更することができます。

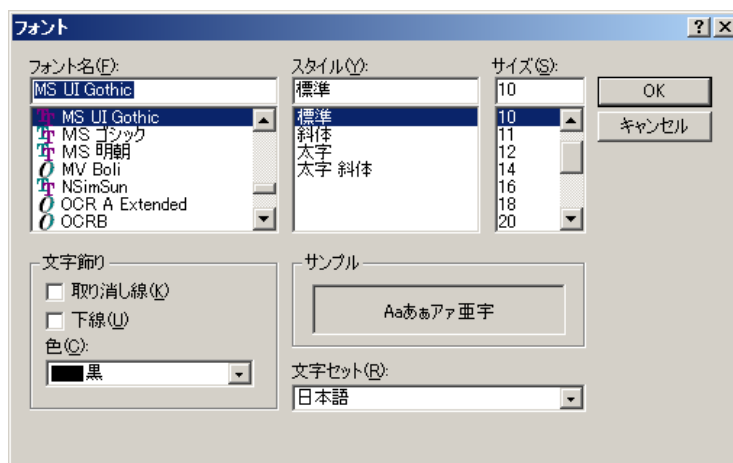


図 32

## オプション - 一般設定

e-Parcel クライアントソフトの起動時や一般設定などの管理ツールの変更を行うことができます (図 29)。

- **アイコン状態でプログラムを実行** - パソコン起動時に e-Parcel をアイコン状態 (タスクバーに表示) で起動させることができます。アイコンをダブルクリックすると VCN CommCenter 画面はオープンします。このオプションを選択すると、パソコン起動時には VCN CommCenter 画面はオープンしません。
- **音声使用** - e-Parcel でメッセージを受信した時に受信音が鳴ります。
- **テキストをツールバーに表示** - ツールバーのアイコンにアイコン名を表示することができます。選択しない場合は、アイコンのみの表示になります。
- **送信者のユーザーID をアドレス帳へ加える** - 送信先のユーザーID をアドレス帳に追加することができます。
- **ダイアログのサイズと位置を記憶する** - e-Parcel を終了した時点の VCN CommCenter 画面サイズと、位置を記憶します。次に e-Parcel を起動した時、前回と同じ状態で VCN CommCenter 画面を使用することができます。
- **各アイテムフォルダごとの並び替えを可能にする** - 各フォルダごとに項目別の並び替えができるようになります。

- **最近使ったアドレスの最大登録数**— 「送信」画面の **受信者** ボタンをクリックすると、「最近使ったアドレス」ダイアログボックスがオープンし、最近送信したユーザーID がリストアップされます。リストアップする受信者ユーザーID をいくつまで登録するかの設定ができます。

「オプション」で設定を変更すると **適用** ボタンが操作可能となりますので、変更内容を有効にしたい場合は、このボタンをクリックしてください。

この時点で、セットアップの設定がすべて完了した場合は、**OK** ボタンをクリックし設定を終了してください。セットアップを続ける場合は、[6. カスタマイズ \(P43\)](#)へお進みください。

## 6. カスタマイズ

VCN CommCenter 画面のメインディスプレイに表示させる、e-Parcel フォルダ（“受信トレイ”・“送信トレイ”・“ゴミ箱”）の項目を、カスタマイズすることができます（図 33）。各 e-Parcel フォルダの使用可能な表示項目は、個々の送受信アイテムに関連した情報となります。

### カスタマイズ

- ① 「**表示タイプ**」のプルダウンメニューには、“受信”・“送信”・“ゴミ箱”があります。表示させる項目をカスタマイズするには、表示タイプの3つのフォルダの中から、まず、何をカスタマイズするかを選択してください。表示タイプを選択すると、「使用可能」ボックスと「使用中」ボックスに選択可能な項目が表示されます。
- ② 「**使用可能**」ボックスの中から項目を選択し追加することができます。選択後、**追加>>** ボタンをクリックして使用可能項目から使用中の項目へ追加してください。
- ③ 「**使用中**」ボックスの中から項目を選択し削除することができます。選択後、**<<削除** ボタンを押すと、使用中の項目が削除され使用可能項目へ移動します。

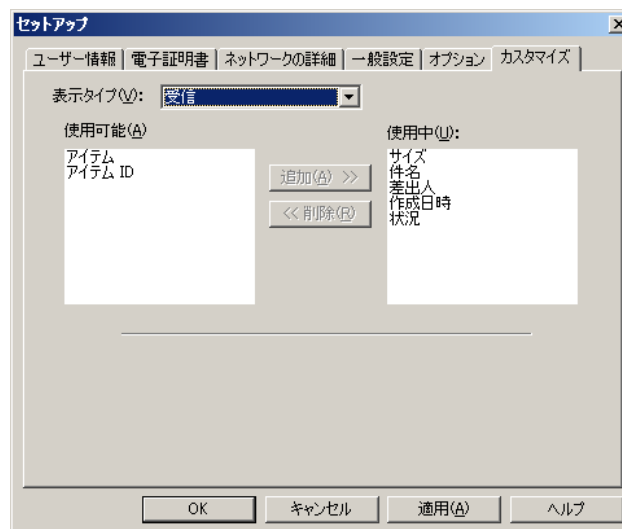



図 33

「カスタマイズ」で設定を変更すると **適用** ボタンが操作可能となりますので、変更内容を有効にしたい場合は、このボタンをクリックしてください。

これで VCN CommCenter のセットアップ作業は完了しました。 **OK** ボタンで「セットアップ」画面を終了してください。



## 3 VCN CommCenter 画面

e-Parcel クライアントソフトおよび電子証明書のインストールが完了しましたら、e-Parcel が起動し、サービスがご利用いただけます。また、e-Parcel は、デスクトップの e-Parcel アイコン  をダブルクリックし VCN CommCenter 起動することも可能です。

ここでは、VCN CommCenter 画面とご利用方法をご説明いたします。また、表示メニューより「フォルダ」および「アドレス帳リスト」を、VCN CommCenter のメインディスプレイ上に表示させることができます（図 34）。

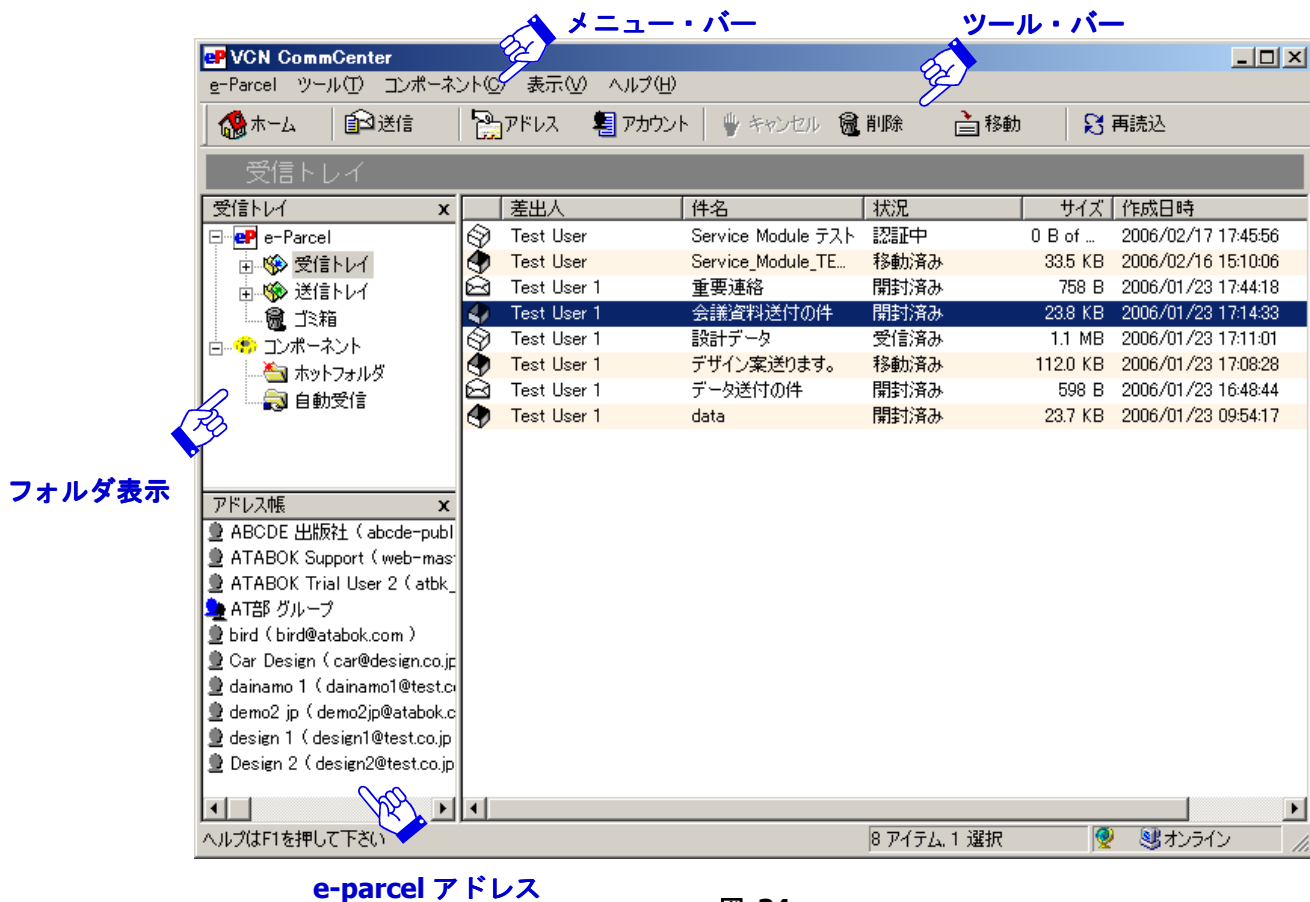


図 34

## 1. メニューバー

e-Parcel は、[e-Parcel]・[ツール]・[コンポーネント]・[表示]・[ヘルプ] の5つのメニューがあります。

メニュー	内容
e-Parcel	e-Parcel で使用できるコマンド一覧です。
ツール	VCN CommCenter の設定時に使用します。
コンポーネント	「自動受信」「ホットフォルダ」機能を設定する時に使用します。
表示	各フォルダやアドレス帳リストなどを画面表示・非表示にできます。
ヘルプ	何かの問題が生じた場合このコマンドを使用します。

### 1-1. e-Parcel

このメニューは、e-Parcel のさまざまな機能を実行するときに、使用します。

- **アイテムを送る** - このコマンドは、新規アイテムを送信するための送信ダイアログボックスを表示させるものです。ショートカットキーは、<Ctrl>+<S>を同時に押します。
- **再読み込み** - このコマンドは、リアルタイムに送受信アイテムの配送状況を最新情報に更新することができます。ショートカットキーは、<F5>です。
- **すべて受信** - このコマンドは、ユーザーからの全ての未受信アイテムを受信します。ショートカットキーは、<Ctrl>+<L>を同時に押します。
- **すべて選択** - このコマンドは、現在選択している e-Parcel フォルダの全てのアイテムを選択します。ショートカットキーは、<Ctrl>+<A>を同時に押します。
- **アイテムを移動** - このコマンドは、選択したアイテムにファイルやフォルダが添付されている場合のみ、操作可能となります。選択すると「**フォルダの参照**」画面が表示され、指定した場所へ添付ファイルやフォルダを移動することができます。1回のみ操作可能です。ショートカットキーは、<Ctrl>+<M>を同時に押します。
- **アイテムを開く** - このコマンドは、受信アイテムに添付された内容を表示します。添付されているファイルが1つだけの場合、ファイルがオープンされます。複数のファイル/フォルダが添付されている場合、Windows Explorer によって受信アイテム

の保存先フォルダに添付ファイルのアイコンが表示されます。受信アイテムに添付ファイル/フォルダがない場合は、Windows Explorer によって受信アイテムの保存先フォルダが表示されるだけとなります。ショートカットキーは、<Ctrl> + <O> を同時に押します。

- **アイテムの詳細** – このコマンドは、送受信アイテムのカバーシートをオープンし、メッセージや添付内容を確認することができます。ショートカットキーは、<Ctrl> + <P>を同時に押します。
- **送信をキャンセルする** – このコマンドは、送受信の実行中および送信アイテムが受信済みの状況時のみ操作可能となり、アイテムをキャンセルすることができます。送信アイテムを受信者が開封した後にはキャンセルできません。このコマンドには、ショートカットキーはありません。
- **削除** – このコマンドは、現在選択している e-Parcel フォルダのアイテムを選択したときにのみ使用でき、選択したアイテムを削除します。ショートカットキーは、<Delete>です。
- **このウィンドウを閉じる** –このコマンドは、VCN CommCenter ウィンドウを閉じることができます。プログラムをシャットダウンするものではありません。アイコンは、タスクトレイに残ったままですので、バックグラウンドで e-Parcel は起動しており、引き続きアイテムの受信は可能です。タスクトレイのアイコンをダブルクリックすることによって、VCN CommCenter ウィンドウをいつでも再オープンすることが可能です。ショートカットキーはありません。
- **VCN CommCenter を終了する** – このコマンドは、e-Parcel をシャットダウンし、アイコンはタスクトレイから消えます。シャットダウン後は、次に e-Parcel を起動させるまで、アイテムの受信はできません。

## 1-2. ツール

このメニューは、VCN CommCenter の設定をするときに使用します。

- **セットアップ**– このコマンドは、VCN CommCenter の設定を行うための「セットアップ」画面を表示させます。詳細については[第2章 VCN CommCenter の設定\(P27\)](#)を参照ください。

- **電子証明書をインストールする**— このコマンドは、すでにダウンロードした電子証明書をインストールするための画面を表示させます。詳細については [STEP5. 電子証明書のインストール \(P22\)](#) をご覧ください。
- **アカウント情報**— このコマンドは、「あなたのアカウント情報」画面を表示させ、現在のアカウントセットアップ情報（ユーザーID・ユーザー権利・アカウント番号・ファイルサイズ制限など）が確認できます（図 35）。

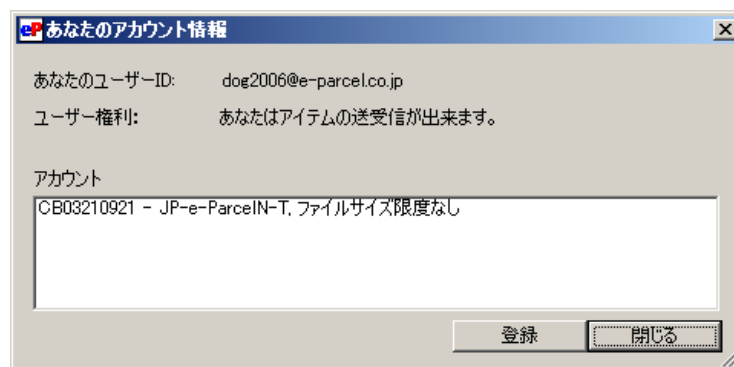


図 35

### 1-3.コンポーネント

このメニューは、お客様が自動的にアイテムを送受信させるための「Hot Holders」・「自動受信」機能を設定する時に使用します。詳細については、[自動受信コンポーネント \(P85\)](#) ・ [ホットフォルダコンポーネント\(P123\)](#) をご覧ください。

- **Hot Holders**— このコマンドは、ホットフォルダエントリを設定するための画面を表示します。Hot Holders コンポーネントは、対象ホットフォルダとして設定されたフォルダ内へファイル/フォルダをコピーまたは移動し、e-Parcel の他ユーザーID へ自動的に送信させることができます。詳細については[ホットフォルダコンポーネント\(P123\)](#) をご参照ください。
- **自動受信**— このコマンドは、自動受信エントリを設定するための画面を表示します。自動受信コンポーネントは、自動的に受信アイテムの添付ファイル/フォルダを設定したフォルダへコピー・移動・転送させることや、自動受信されたアイテムに対しプログラムを実行させることができる機能です。詳細については[自動受信コンポーネント \(P85\)](#) をご覧ください。



## 1-4.表示

このメニューは、e-Parcel フォルダ（“送信トレイ”・“受信トレイ”・“ゴミ箱”）・コンポーネントの「フォルダ」や、「アドレス帳リスト」を、VCN CommCenter のメインディスプレイ上に表示/非表示できます（図 34）。

表示させる場合、メニューバーの表示より「受信者リストを表示する」と「フォルダ」のいずれかまたは両方を選択し、チェックマークを付けてください。（図 36）。「フォルダ」や「アドレス帳リスト」がメインディスプレイ上に表示されます。（同じ作業を繰り返すことで、「フォルダ」や「アドレス帳リスト」を表示/非表示できます。）

- **受信者リストを表示する**— このコマンドは、アドレス帳に登録されている受信者またはグループをメインディスプレイ上に表示/非表示します。
- **フォルダ**— このコマンドは、e-Parcel フォルダ（“送信トレイ”・“受信トレイ”・“ゴミ箱”）・コンポーネントをメインディスプレイ上に表示/非表示できます。

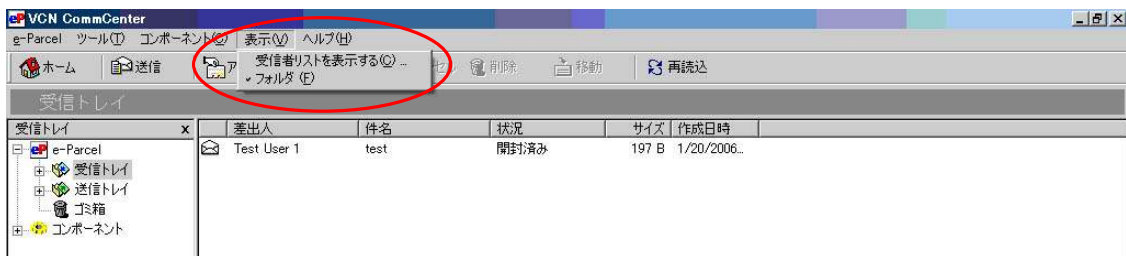


図 36

## 1-5.ヘルプ

このメニューは、何か問題が生じた場合、セッションメッセージ・VCN CommCenter のヘルプトピック・お問合せなどのサービスをご利用いただけます（図 37）。

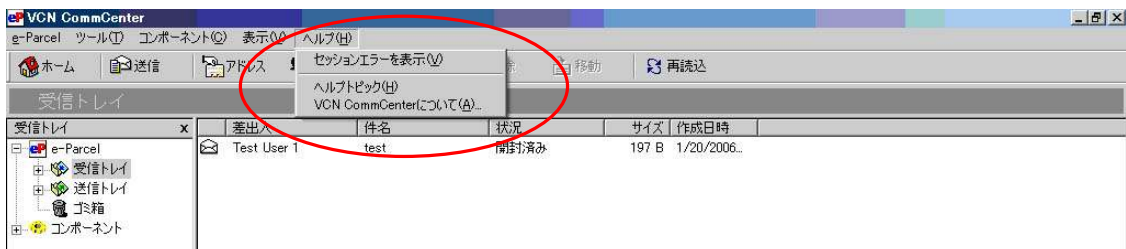


図 37

- **セッションエラーを表示** – このコマンドは、VCN CommCenter で生じた接続エラーのメッセージを表示します（図 38）。「プロトコルメッセージ」と「アプリケーションメッセージ」の二つが表示されます。このインフォメーションは、なぜこのような問題が生じたかの詳細を表示します。

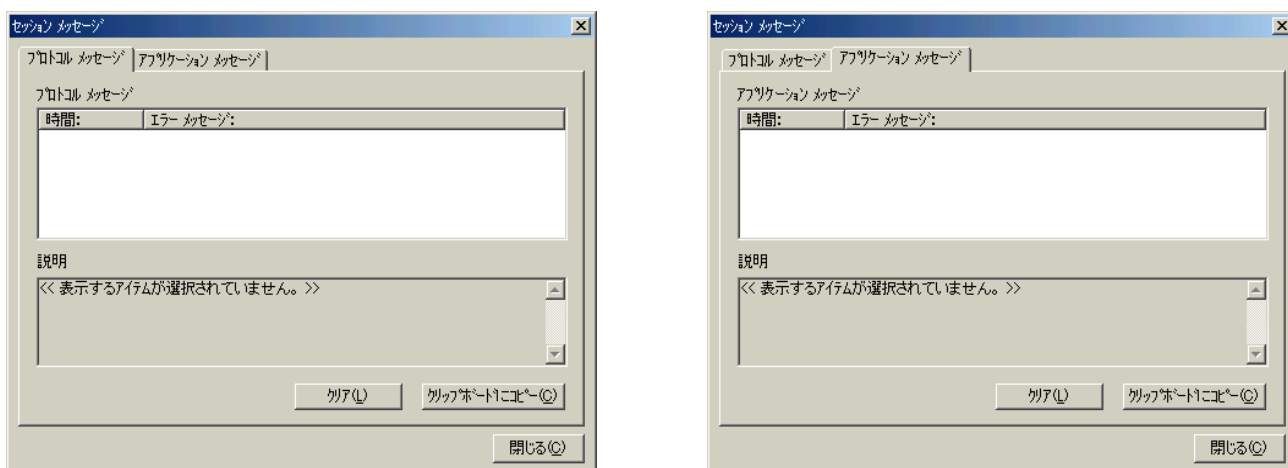
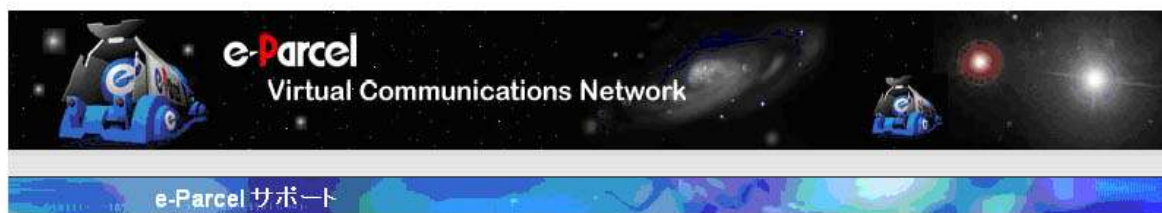



図 38

- **ヘルプトピック** – このコマンドを選択すると、「e-Parcel サポート」ページがオープンします。e-Parcel のオンラインマニュアルを標準の Web ブラウザでご覧いただくことができます。「e-Parcel サポート」ページの[こちら](#)をクリックし、ユーザーマニュアルをご参照ください(図 39)。また、ご契約のお客様は、本サービスに関するお問い合わせがありましたら、カスタマーサポート([support@e-parcel.co.jp](mailto:support@e-parcel.co.jp))まで E-mail にてご連絡ください。



ヘルプセクションへようこそ。e-Parcelをお選びいただき、誠にありがとうございます。

e-Parcel製品ご利用に当たり、以下のサポートプランをご用意しました。

マニュアルは [こちら](#) をクリックしてください。 

カスタマーサポートは [support@e-parcel.co.jp](mailto:support@e-parcel.co.jp) まで電子メールでお問い合わせください。 

図 39

- **VCN CommCenter** について – このコマンドは、「**VCN CommCenter** について」ダイアログボックスを表示します。現在インストールされている e-Parcel クライアントソフトのバージョンとカスタマーサポートの連絡先が表示されます（図 40）。



図 40

## 2. ツールバー

VCN CommCenter 画面のツールバーには、クイックコマンドの実行に使用できる8つのボタンがあります (図 34)。このツールバー [ホーム]・[送信]・[アドレス]・[アカウント]・[キャンセル]・[削除]・[移動]・[再読込] の8つのコマンドは、メニューバーと同様の機能で、そのクイックコマンドとしてご活用いただけます。

### 2-1.ホーム

このボタンは、標準の Web ブラウザが起動し、e-Parcel Web サイトを表示します。ここから、VCN ログインページへアクセスすることもできます。 <http://www.e-parcel.co.jp/>



### 2-2.送信

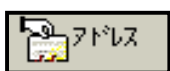
新規アイテムを作成・送信する場合、このボタンをクリックすると「送信」画面がオープンします。詳細については [送信 \(P71\)](#) をご参照ください。



※メニューバー「e-Parcel」→「アイテムを送る」または、ショートカットキーは<Ctrl>+<S>を同時に押しても同様に表示されます。

### 2-3.アドレス

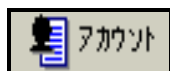
このボタンで「アドレス帳」が表示され、アドレスリストに新しいユーザーID やグループを追加登録したり、プロパティを表示したりすることができます。詳細については [e-Parcel アドレス帳 \(P62\)](#) をご参照ください。



### 2-4.アカウント

現在のアカウントセットアップ情報を確認することができます。ボタンをクリックするとユ

ユーザーID・ユーザー権利・アカウント情報を表示します（図 41）。詳細については、[1-2. ツール \(P46\)](#)をご参照ください。



※メニューバー「ツール」→「アカウント情報」と同様に表示されます。

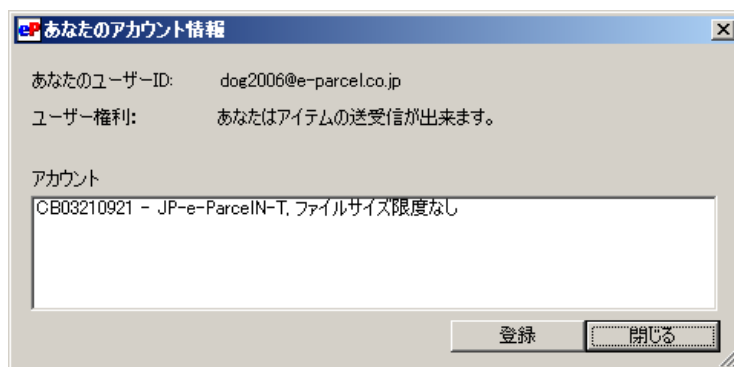
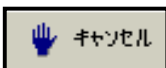


図 41

## 2-5. キャンセル

送受信の実行中および送信アイテムが受信済みの状況時のみ使用することができます。アイテムを選択しこのボタンをクリックすると送信のキャンセル、受信のキャンセル（拒否）をすることができます。



※メニューバー「e-Parcel」→「配送をキャンセルする」と同様となります。

## 2-6. 削除

e-Parcel メインフォルダ（“送信トレイ”・“受信トレイ”・“ゴミ箱”）に保存されている各アイテムを選択し、削除することができます。このボタンは、アイテムを選択したときに操作可能となります。“受信トレイ”・“送信トレイ”で実行すると、アイテムは e-Parcel “ゴミ箱”へ移動します。完全に削除する場合は、e-Parcel “ゴミ箱”から削除してください。



※ メニューバー「e-Parcel」→「削除」、またはショートカットキー<Delete>も同様となります。



Tip: 定期的に e-Parcel “ゴミ箱”を空にしてください。e-Parcel フォルダ内に保存されたアイテムの量が増えれば、その分だけディスクの残量が減ります。

## 2-7.移動

“受信トレイ”のアイテムを選択しこのボタンをクリックすると「フォルダの参照」画面が表示され、指定した場所へ添付ファイル/フォルダを移動することができます。(図 42)。新規フォルダへ移動する場合は、「新しいフォルダの作成」ボタンをクリックし、新規フォルダを作成してください。



このボタンは、選択した受信アイテムにファイルやフォルダが添付されている場合のみ、選択が可能となります。**1回のみ操作可能**です。

※ メニューバー「e-Parcel」→「アイテムを移動」、またはショートカットキー<Ctrl> + <M>を同時に押しても同様となります。

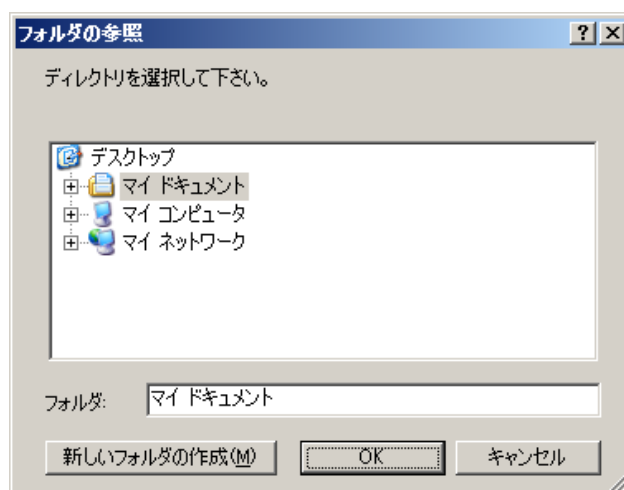


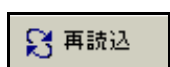
図 42



**Caution:** 一度「移動」操作を行ったアイテムは、「移動」・「転送」ができなくなります。自動受信で、すでに移動されたアイテムも同様に「移動」・「転送」ができなくなりますのでご注意ください。

## 2-8.再読込

このボタンをクリックすると、リアルタイムに送受信アイテムの配送状況を、最新の情報に更新することができます。すぐにチェックしたい場合は、再読込のボタンをクリックしてください。



※メニューバー「e-Parcel」→「再読込み」、またはショートカットキー<F5>も同様となります。

### 3. フォルダ表示

VCN CommCenter 画面の左側に全ての e-Parcel フォルダを表示することができます(図 43)。表示させる場合、メニューバー「表示」→「フォルダ」を選択してください。e-Parcel メインフォルダ(“送信トレイ”・“受信トレイ”・“ゴミ箱”)とコンポーネントが表示されます。

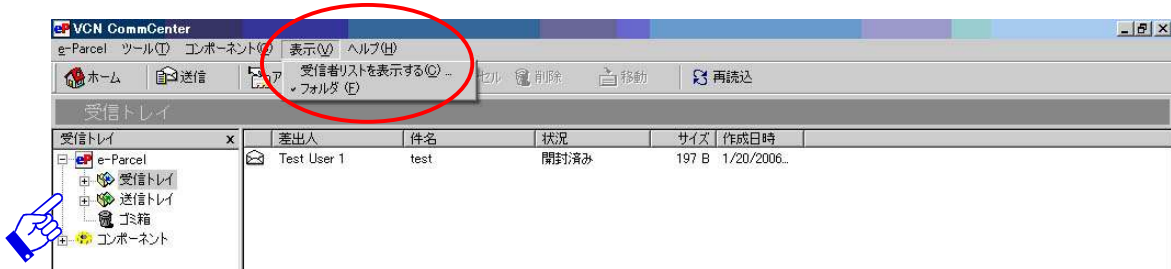


図 43

e-Parcel メインフォルダの各トレイを右クリックすると、[新規フォルダ]・[フォルダを削除]・[フォルダを空にする]・[すべてのアイテムを元に戻す]・[選択したアイテムを元に戻す]・[プロパティ] のメニューが表示されます(図 44)。



**Note:** コンポーネントについての詳細は、[自動受信コンポーネント \(P85\)](#)・[ホットフォルダコンポーネント \(P123\)](#)をご参照ください。

#### 3-1.新規フォルダ

“受信トレイ”および“送信トレイ”の e-Parcel メインフォルダは、データを整理するためのサブフォルダを作成することができます。新規サブフォルダを作成するには、まず最初に e-Parcel メインフォルダを選択してください。選択後マウスを右クリックするとメニューが表示されます(図 44)。



図 44

メニューから「新規フォルダ」を選択すると、「新規フォルダ」画面が表示されます。(図 45)。

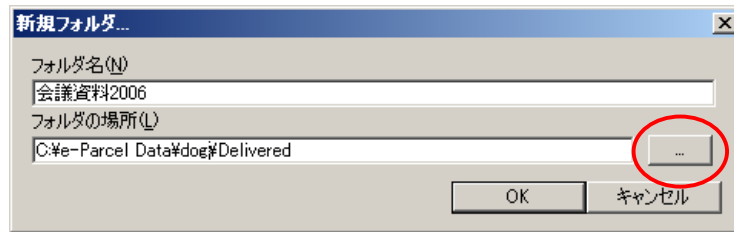


図 45

**フォルダ名**：新規サブフォルダの名前を入力してください。

**フォルダの場所**：“受信トレイ”のサブフォルダを作成する場合のみ、操作可能となります。初期の設定場所は、受信アイテムの一次保存場所と同じフォルダが表示されます。保存場所を変更する場合は選択ボックスをクリックしてください(図 45 赤丸部分)。「フォルダ参照」画面がオープンするので新規サブフォルダをどこに作成するかを選択してください。作成する場所を選択したら **OK** ボタンをクリックしてください。新規サブフォルダは、“受信トレイ”および“送信トレイ” e-Parcel メインフォルダ下に表示されます。新しいサブフォルダが表示されたのをご確認ください。



**Note:** サブフォルダは、同様の手順で、必要に応じ複数の新規サブフォルダを作成することができます。

### 3-2.フォルダを削除

サブフォルダは、削除することができます。削除するには、サブフォルダを選択後、右クリックをするとメニューが表示されます(図 46)。

メニューから「フォルダを削除」を選択してください。一度選択するとサブフォルダはすぐに削除されます。

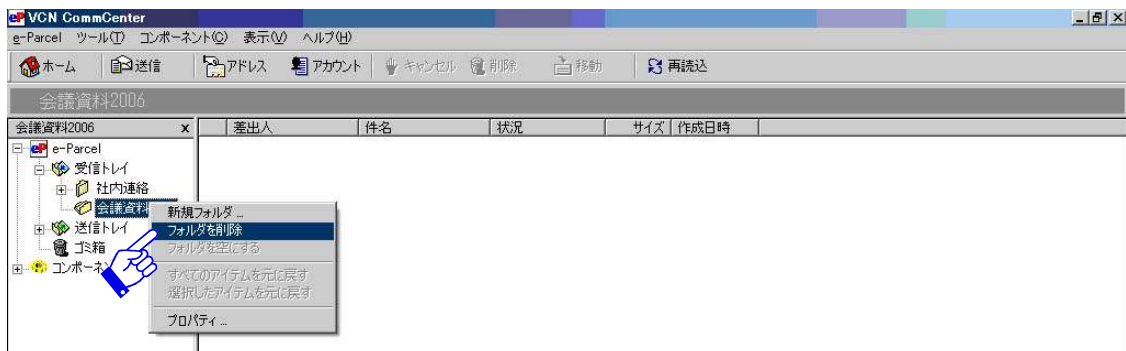



図 46



	<p><b>Warning:</b> サブフォルダを削除した場合、そこに存在するアイテムやその下に作成されたサブフォルダは、すべて一度に削除されますのでご注意ください。削除されたサブフォルダの各アイテムは、e-Parcel “ゴミ箱” へ移動します。サブフォルダそのものは復旧できませんのでご注意ください。</p>
---	---

### 誤ってサブフォルダを削除した場合

e-Parcel “ゴミ箱” を右クリックし、メニューから「すべてのアイテムを元に戻す」または「選択したアイテムを元に戻す」を選んで削除されたサブフォルダ内に存在した各アイテムを復旧させることができます。削除したサブフォルダそのものは復旧できませんのでご注意ください。詳細については、[3-4.すべてのアイテムを元に戻す\(P57\)](#)・



[3-5.選択したアイテムを元に戻す \(P58\)](#)をご参照ください。

## 3-3.フォルダを空にする

フォルダの中にアイテムが存在する場合にのみ、このメニューは操作可能です。フォルダの中に存在するアイテムをすべて削除したいときは、まずフォルダを選択してください(図 47)。次にマウスを右クリックするとメニューが表示されますので、「フォルダを空にする」を選択してください。一度選択するとフォルダはすぐ空になります。



図 47

	<p><b>Warning:</b> “受信トレイ”・“送信トレイ” を空にするを選択した場合、その中に存在するアイテムは、すべて一度に削除されますのでご注意ください。削除されたアイテムは、e-Parcel “ゴミ箱” へ移動します。</p>
	<p><b>Warning:</b> e-Parcel “ゴミ箱” を空にするを選択した場合、すべて一度に削除されます。削除されたアイテムは、復旧できませんのでご注意ください。</p>



**Note:** 選択した“受信トレイ”・“送信トレイ” e-Parcel メインフォルダの下にあるサブフォルダおよびその中に存在するアイテムは、削除されません。

### 誤ってフォルダを空にした場合

e-Parcel “ゴミ箱” を右クリックし、メニューから「**すべてのアイテムを元に戻す**」または、「**選択したアイテムを元に戻す**」を選び削除されたアイテムを復旧させることができます。サブフォルダを空にした場合、そこに存在したアイテムは、“受信トレイ”・“送信トレイ” e-Parcel メインフォルダへは復旧されますが、元のサブフォルダへは復旧されませんのでご注意ください。詳細については、[3-4.すべてのアイテムを元に戻す\(P57\)](#)・

[3-5.選択したアイテムを元に戻す \(P58\)](#)をご参照ください。

## 3-4.すべてのアイテムを元に戻す

e-Parcel “ゴミ箱” にあるアイテムをすべて元に戻すことができます。e-Parcel “ゴミ箱” にアイテムが存在する場合にのみ、このメニューは操作可能です (図 48)。

- ① e-Parcel “ゴミ箱” にあるアイテムをすべて元に戻す場合、まず e-Parcel “ゴミ箱” を選択してください。
- ② 次にマウスを右クリックし[**すべてのアイテムを元に戻す**]を選択してください。e-Parcel “ゴミ箱” にある全てのアイテムが“受信トレイ”・“送信トレイ”へ戻されます。

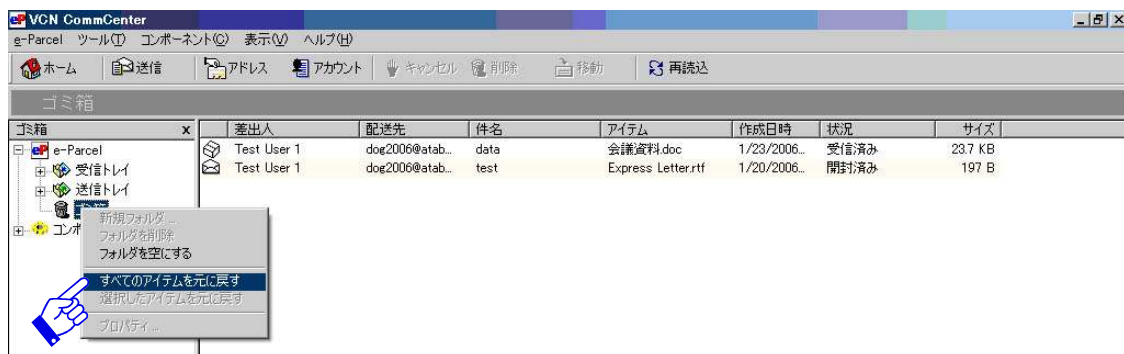



図 48



**Warning:** サブフォルダが削除された場合、そこに存在するアイテムは e-Parcel “ゴミ箱” へ移動され、“受信トレイ”・“送信トレイ”へ復旧することは可能ですが、**サブフォルダそのものは、削除され復旧できません。**

	<p><b>Caution:</b> サブフォルダに存在したアイテムは、“受信トレイ”・“送信トレイ”へ戻され、元のサブフォルダへは戻されませんのでご注意ください。元のサブフォルダにアイテムを戻したい場合は、“受信トレイ”・“送信トレイ”に移動された該当アイテムを選択し右クリックをしてください(図 50)。メニューから [フォルダへ移動] を選択すると、「新しいフォルダへ移動」画面が表示されますので、元のサブフォルダを選択しアイテムを移動させください(図 51)。</p>
---	--

### 3-5. 選択したアイテムを元に戻す

e-Parcel “ゴミ箱”にある選択したアイテムを元に戻すことができます。 e-Parcel “ゴミ箱”にアイテムが存在する場合にのみ、このメニューは操作可能です。

- ① e-Parcel “ゴミ箱”にあるアイテムを元に戻す場合、まず e-Parcel “ゴミ箱”にある該当アイテムを選択してください。(図 49)。
- ② 次にマウスを右クリックし[選択したアイテムを元に戻す]を選択してください。e-Parcel “ゴミ箱”にある選択したアイテムが“受信トレイ”・“送信トレイ”へ戻されます。

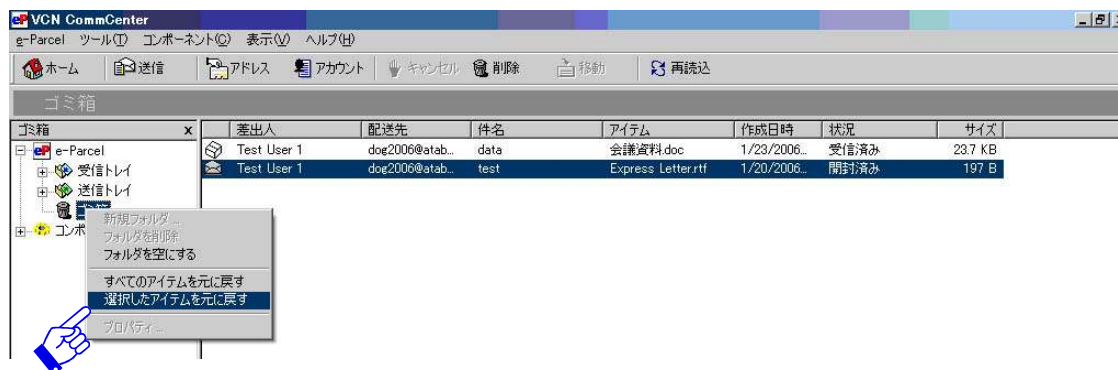




図 49

	<p><b>Warning:</b> サブフォルダが削除された場合、そこに存在するアイテムは e-Parcel “ゴミ箱”へ移動され、“受信トレイ”・“送信トレイ”へ復旧することは可能ですが、<b>サブフォルダそのものは、削除され復旧できません。</b></p>
---	---



**Caution:** サブフォルダに存在したアイテムは、“受信トレイ”・“送信トレイ”へ戻され、元のサブフォルダへは戻されませんのでご注意ください。元のサブフォルダにアイテムを戻したい場合は、“受信トレイ”・“送信トレイ”に移動された該当アイテムを選択し右クリックをしてください(図 50)。メニューから「フォルダへ移動」を選択すると、「新しいフォルダへ移動」画面が表示されますので、元のサブフォルダを選択しアイテムを移動させください(図 51)。



図 50

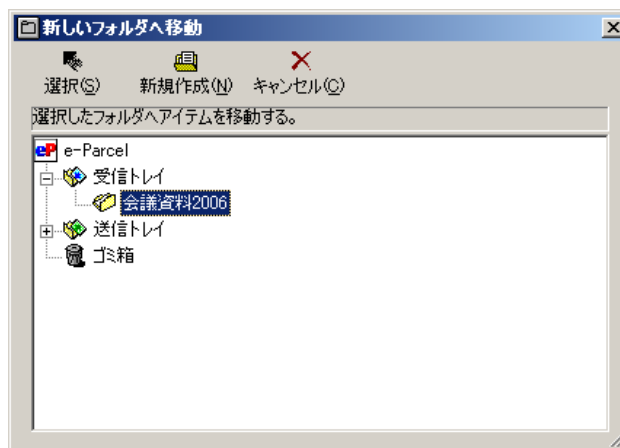


図 51

### 3-6. プロパティ

e-Parcel メインフォルダ “受信トレイ”・“送信トレイ” およびそのサブフォルダ (“ゴミ箱”を除く) は、フォルダ情報を表示することができます。それぞれのフォルダのプロパティを見るには、まず該当フォルダを選択した後、右クリックしメニューから【プロパティ】を選択してください(図 52)。「フォルダプロパティ」画面が表示され、フォルダの名前と場所が確認できます(図 53)。



図 52

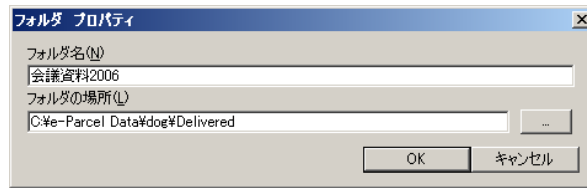


図 53

	<b>Caution:</b> “送信トレイ” およびそのサブフォルダについては、フォルダ名のみ表示されます。
	<b>Note:</b> フォルダプロパティは、“ゴミ箱” およびコンポーネントの“ホットフォルダ”・“自動受信”については表示されません。

### サブフォルダのプロパティ変更

“受信トレイ”のサブフォルダについては、フォルダ名およびフォルダの場所どちらも変更が可能です。“送信トレイ”のサブフォルダについては、フォルダ名のみ変更が可能です。

**フォルダ名：**サブフォルダの名前を変更してください。

**フォルダの場所：**“受信トレイ”サブフォルダのプロパティについてのみ、操作可能となります。初期の設定場所は、受信アイテムの一次保存場所と同じフォルダが表示されます。保存場所を変更する場合は、フォルダの場所ボックス右の選択ボタンをクリックしてください(図 53)。「フォルダ参照」画面がオープンするのでフォルダの場所をどこに変更するかを選択し **OK** ボタンをクリックしてください。「フォルダプロパティ」画面に、変更したフォルダの場所が表示されます **OK** ボタンをクリックし閉じてください。

	<b>Caution:</b> “受信トレイ”のサブフォルダについて、保存場所を変更した場合、実際のサブフォルダの場所は変更されますが、VCN CommCenter 画面のフォルダ表示上は、“受信トレイ”の下に表示されます。
--	--

## 4. アドレス帳リストの表示

表示メニューから「受信者リストを表示する」を選択すると（図 54）、VCN CommCenter 画面の左側に、アドレス帳リストが表示されます。アドレス帳に登録したすべての受信者とグループがリストアップされます（図 55）。

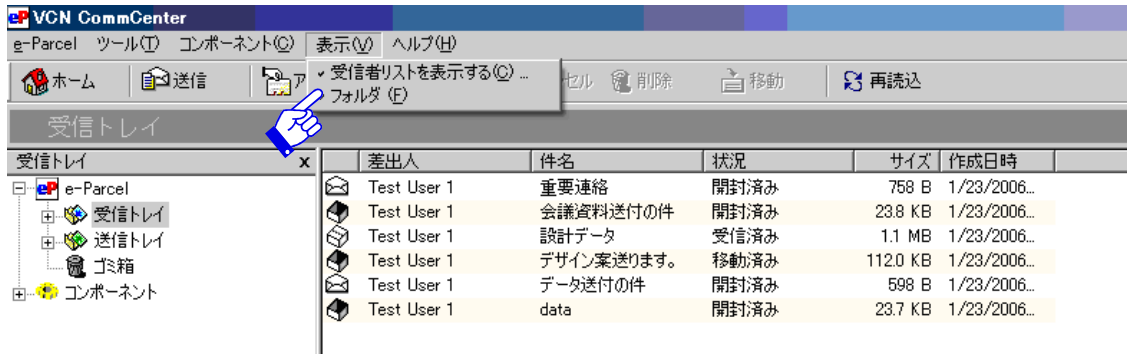


図 54

アドレス帳リストの受信者またはグループを右クリックすると、[アイテムを送る]・[新しいグループ]・[新しい受信者]・[プロパティ]・[削除] のメニューが表示されます（図 55）。アドレス帳の詳細については、[e-Parcel アドレス帳 \(P62\)](#)をご参照ください。

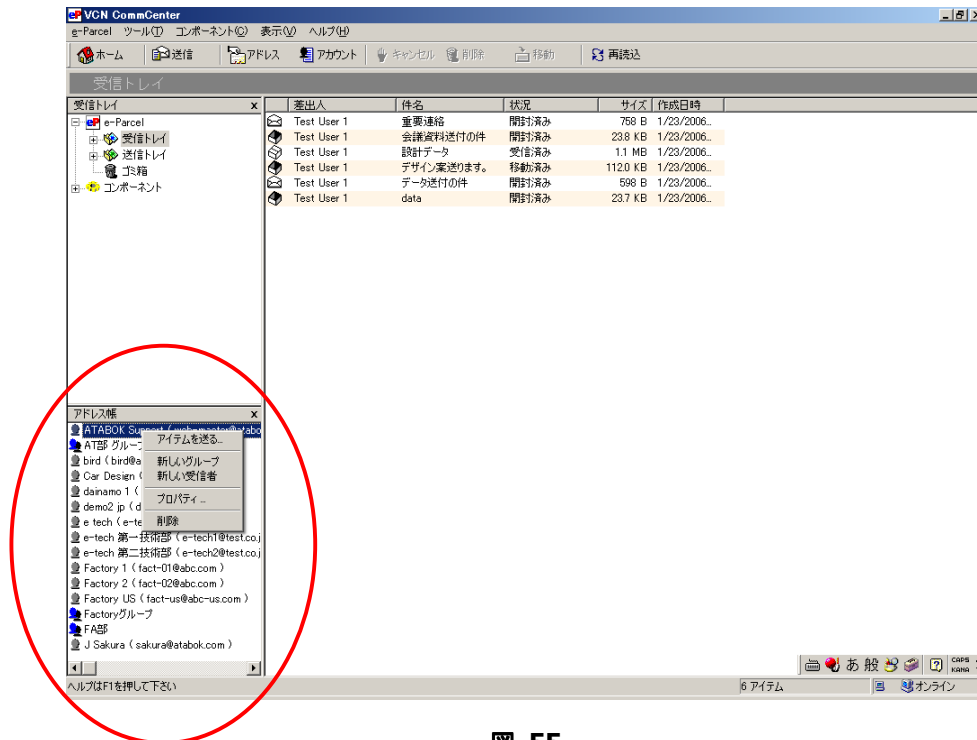


図 55

## ④ e-Parcel アドレス帳

### 1. アドレス帳の表示

e-Parcel では、e-Parcel アドレス帳の作成および管理ができる「アドレス帳」(図 57)を表示することができます。

e-Parcel 画面 のツールバー「アドレス」ボタンをクリックすると(図 56)、e-Parcel の「アドレス帳」画面が表示されます(図 57)。アドレス帳に、新たな受信者のユーザー ID を追加するなど、e-Parcel アドレス帳の作成および管理ができます。

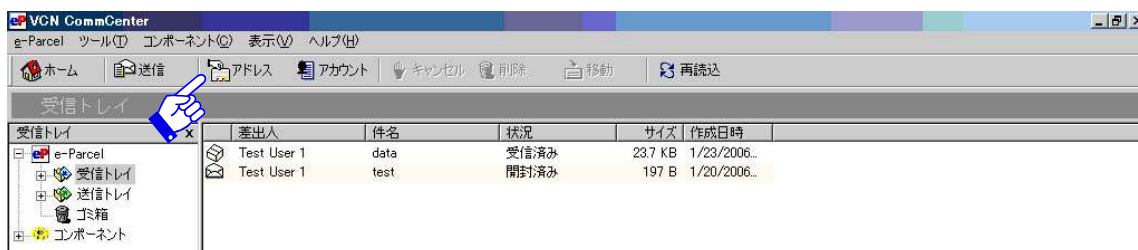


図 56

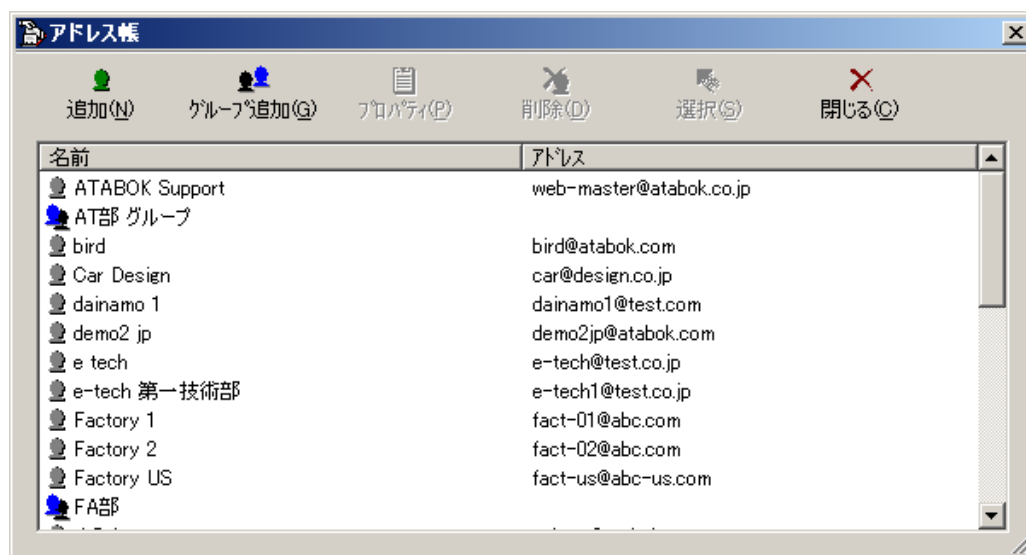


図 57

## 2. 新規アドレス追加

**追加** ボタンは、アドレス帳に新しい受信者のユーザーID を追加作成することができます。

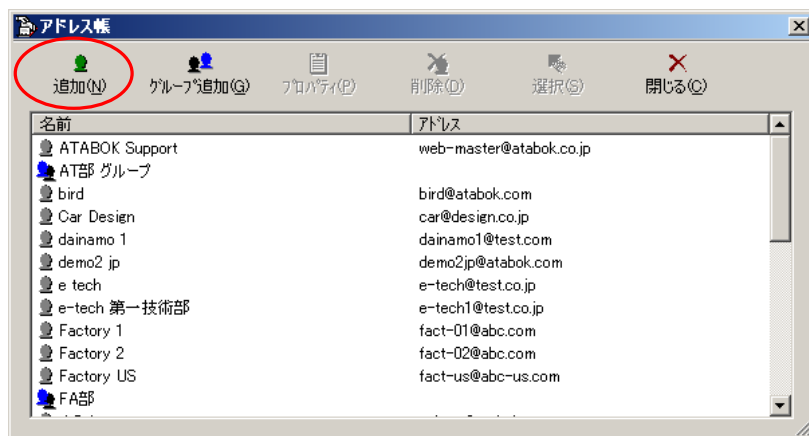


図 58

- ① 「アドレス帳」画面の**追加** ボタンをクリックしてください (図 58)。
- ② 「新しいアドレスを追加」ダイアログボックスが表示されますので、ユーザー情報ボックスに“姓”・“名”・“ユーザーID”を入力してください(図 59)。
- ③ すべて情報を入力しましたら、“ユーザーID”がe-Parcelに登録されているユーザーIDと合致しているかをご確認ください。スペル等が間違っていると、この受信者へ送信されたアイテムは届けられませんので、入力の際は十分ご注意ください。
- ④ 入力した内容で間違いがなければ、**OK** ボタンをクリックしてください。「アドレス帳」画面に戻り、アドレス帳に新しいユーザーが追加されたことが確認できます。

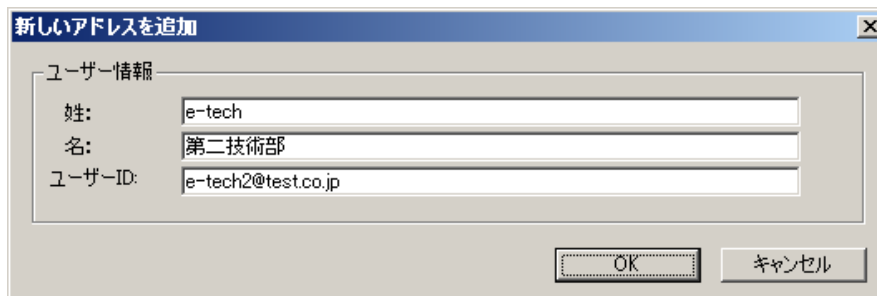


図 59



### 3. グループ追加

**グループ追加** ボタンは、アドレス帳に新しいグループを追加作成することができます。既にアドレス帳に登録のある受信者のユーザーIDのみ、新しいグループに追加することができますので、あらかじめ個々のユーザーID をアドレス帳へ追加作成しておいてください。

- ① 「アドレス帳」画面の **グループ追加** ボタンをクリックしてください(図 60)。

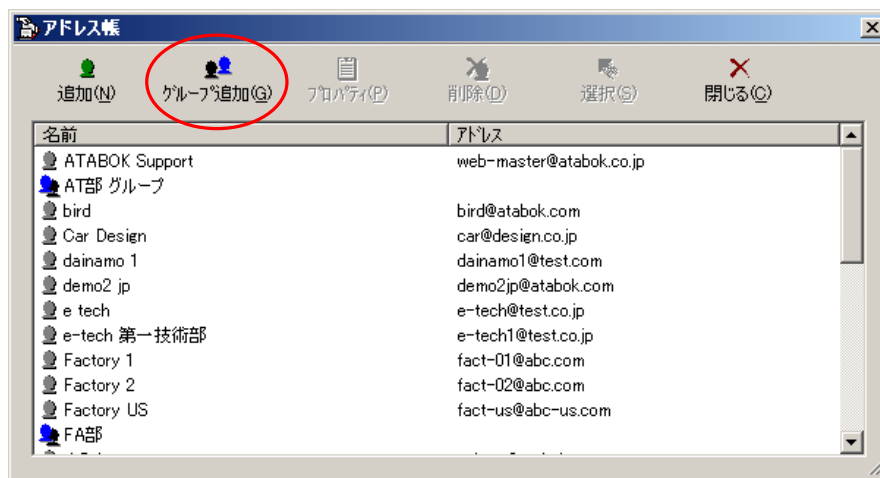


図 60

- ② 「グループ追加」ダイアログボックスが表示されます(図 61)。グループの名前を決め、「グループ追加」ダイアログボックスの一番上のボックスに入力し、**追加** ボタンをクリックしてください。

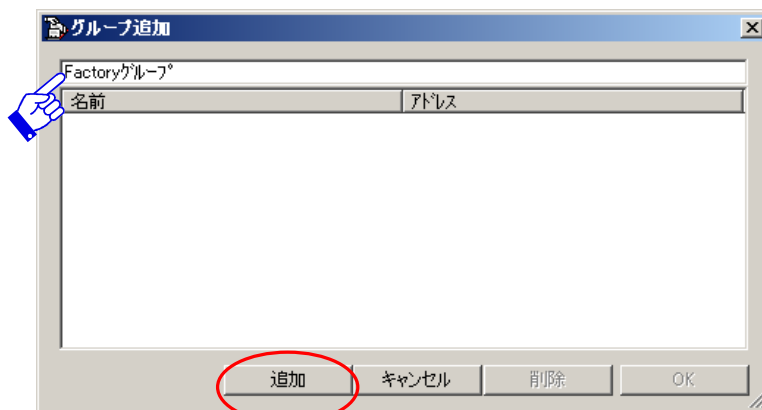


図 61

- ③ 「受信者選択」ダイアログボックスに、既にアドレス帳に登録のある受信者の名前とアドレス（ユーザ ID）が表示されます。該当の受信者を選択し、**OK** ボタンをクリックしてください（図 62）。



図 62



**Note:** 「受信者選択」ダイアログボックスで、複数の受信者を同時に選択する場合は、<Ctrl>キーを押しながらマウスで、該当の受信者をすべて選択してください。

- ④ 「グループ追加」ダイアログボックスに戻ると、選択した受信者が「グループ追加」ダイアログボックスに表示されます（図 63）。グループに追加する受信者が全て入力されたら、**OK** ボタンをクリックしてください。

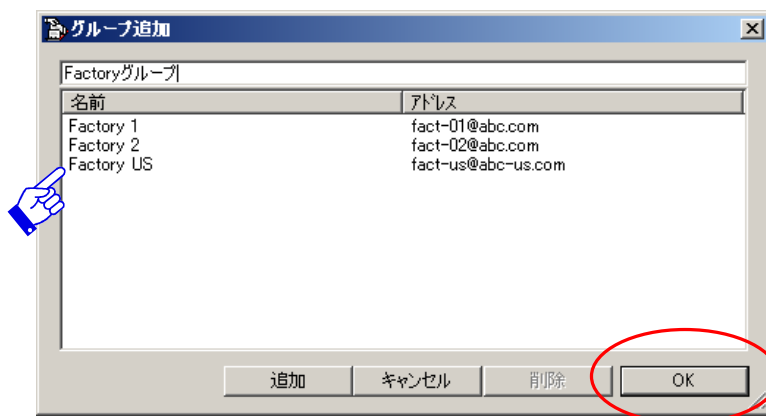


図 63

- ⑤ 「アドレス帳」画面に戻り、グループ名のみ表示されますので、アドレス帳に追加されたことが確認できます（図 58）。

## 4. プロパティ

**プロパティ** ボタンは、アドレス帳に登録した受信者またはグループのプロパティを表示し、登録した内容を変更することができます。

**プロパティ** ボタンは、「アドレス帳」画面で受信者またはグループを選択した時のみ、操作可能となります。（ただし、2人以上を同時に選択した状態では**プロパティ** ボタンは無効となります。）まず、受信者またはグループを選択し、**プロパティ** ボタンをクリックしてください（図 64）。受信者を選択した場合、「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。グループを選択した場合、「グループ追加」ダイアログボックスが表示されます。

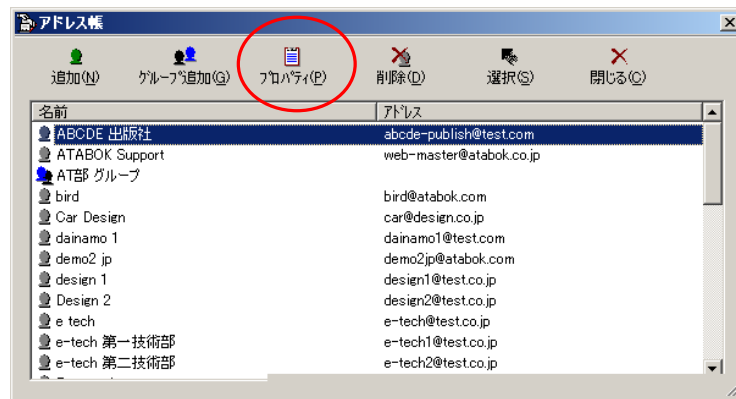


図 64

### 4-1. 受信者のプロパティと変更

受信者を選択し**プロパティ** ボタンをクリックした場合、「プロパティ」ダイアログボックスに、ユーザーの名前とユーザーIDが表示されます（図 65）。「プロパティ」ダイアログボックスでは、受信者の“姓”・“名”・“ユーザーID”の変更が可能です。ユーザー情報を変更した後、**OK** ボタンをクリックすると、「アドレス帳」画面に戻ります。ここで、アドレス帳に変更が反映されます。

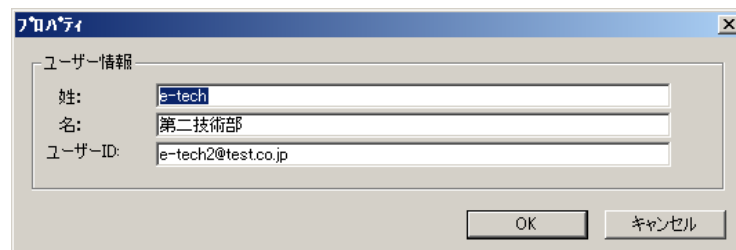


図 65

## 4-2.グループのプロパティと変更

グループを選択し「プロパティ」ボタンをクリックした場合、「グループ追加」ダイアログボックスに、グループ名とそのグループに登録された受信者の名前とアドレス（ユーザーID）が表示されます（図 66）。「グループ追加」ダイアログボックスでは、“グループ名”・“グループに登録された受信者”の変更が可能です。

**グループ名を変更したい場合：**現在のグループ名を変更入力してください。ここで「OK」ボタンをクリックすると、「アドレス帳」画面に戻ります。

**グループから受信者を削除する場合：**受信者を選択し「削除」ボタンをクリックしてください。受信者はすぐに削除されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、「アドレス帳」画面に戻ります。

**新たな受信者をグループに追加する場合：**「追加」ボタンをクリックすると、「受信者を選択」ダイアログボックスが表示されますので、追加する受信者を選択してください。受信者を選択し、「OK」をクリックすると「グループ追加」ダイアログボックスに戻り、選択した受信者が「グループ追加」ダイアログボックスに表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、「アドレス帳」画面に戻ります。



**Note:** 「受信者選択」ダイアログボックスで、複数の受信者を同時に追加する場合は、<Ctrl>キーを押しながらマウスで、該当の受信者をすべて選択してください。

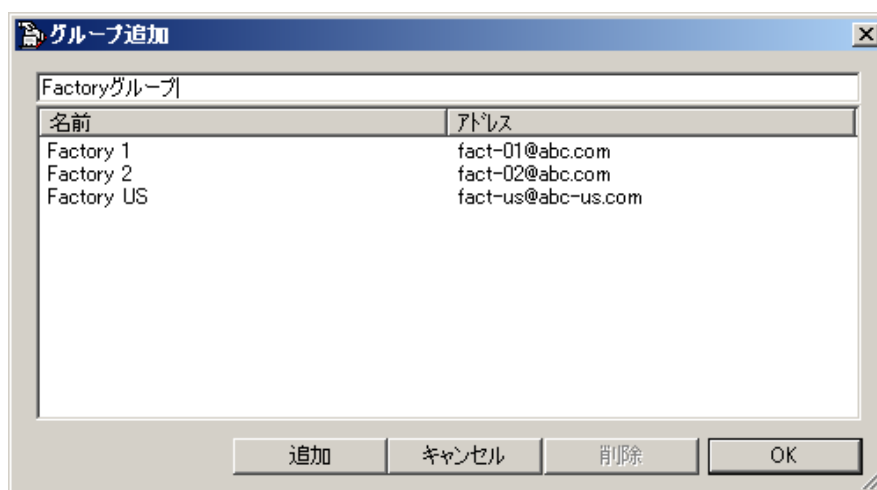


図 66

## 5. 削除

**削除** ボタンは、アドレス帳に登録した受信者およびグループを削除することができます。

**削除** ボタンは、「アドレス帳」画面で受信者またはグループを選択した時のみ、操作可能となります。

「アドレス帳」画面で、削除する受信者またはグループを選択し、**削除** ボタンをクリックしてください（図 67）。すぐに、アドレス帳から選択した受信者またはグループが削除されます。

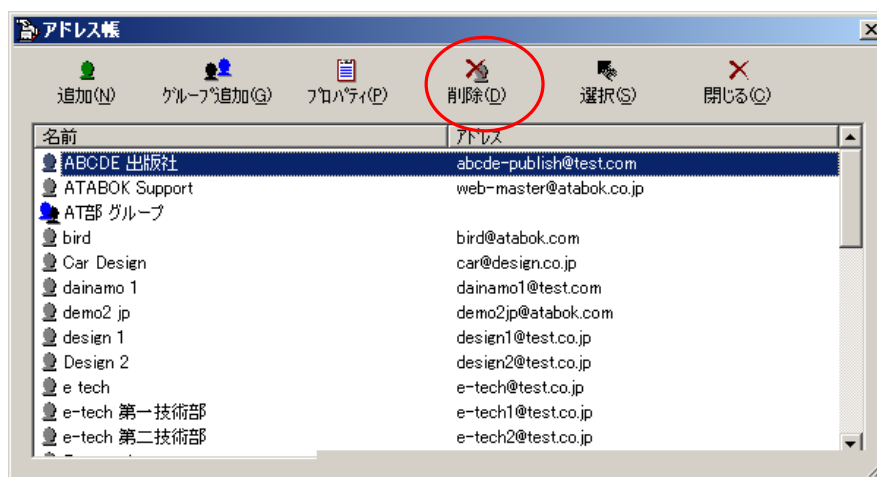


図 67

	<p><b>Caution:</b> 受信者やグループが削除された場合、復旧することはできません。削除する受信者やグループを選択する場合は、十分にご注意ください。なお、受信者とグループを再度追加登録することは可能です。</p>
	<p><b>Note:</b> 複数の受信者やグループを同時に選択する場合は、&lt;Ctrl&gt;キーを押しながらマウスで、該当の受信者をすべて選択してください。</p>

## 6. 選択

**選択** ボタンは、アイテムを送信する際の受信者を、アドレス帳に登録した受信者およびグループから選択することができます。**選択** ボタンは、受信者またはグループが選択されたとき、操作可能となります（図 68）。

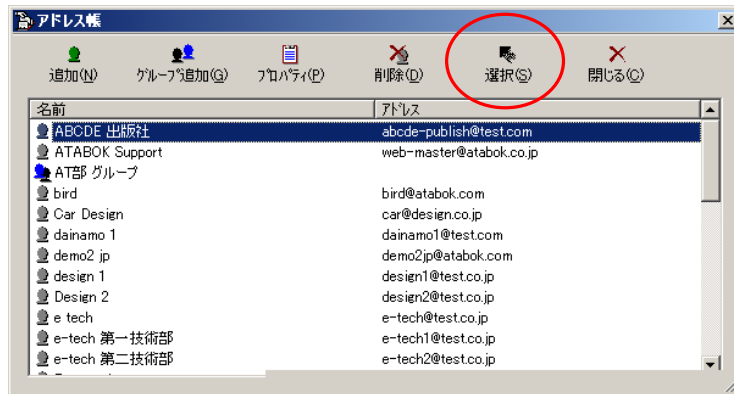


図 68

受信者およびグループを選択し**選択** ボタンをクリックすると「送信」画面が表示されます。（図 69）。そのとき、「送信」画面の受信者欄に選択した受信者およびグループのアドレスが入力された状態で表示されます。アイテムの送信については、[送信 \(P71\)](#)をご参照ください。

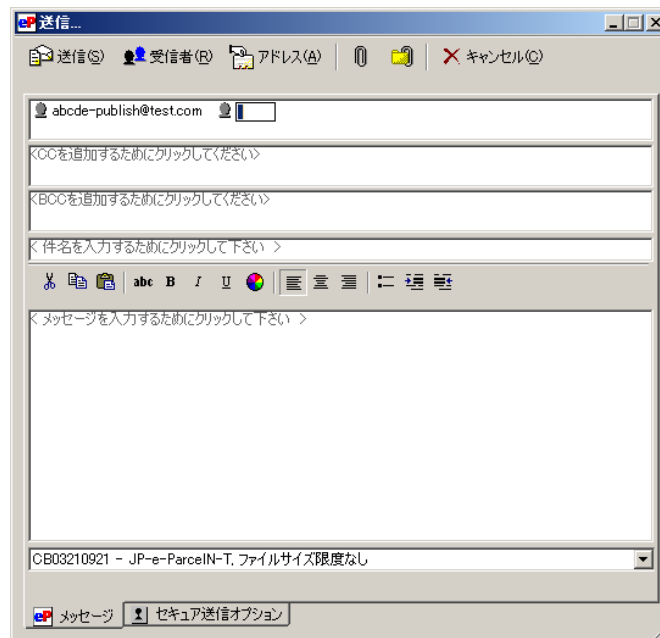


図 69

## 7. 閉じる

「アドレス帳」画面を閉じる場合、**閉じる** ボタンをクリックしてください（図 70）。VCN CommCenter 画面へ戻ります。



図 70

## 5 送信

e-Parcel は、セキュアかつ大容量データ送受信のためのコミュニケーション環境をみなさまにご提供しております。その操作性は、E-mail アプリケーションソフト（メーラー）と類似しており、どなたにも簡単にご利用いただくことができます。

ただし、e-Parcel は、他のどんな E-mail アプリケーションソフトでも真似することのできない、安全かつ確実なデータの配送を可能にさせていただきだけでなく、最高強度の暗号化機能を兼ね備えております。

ここでは、VCN CommCenter 画面での送信アイテムの新規作成および送信、ファイルやフォルダの添付方法などをご説明いたします。

### 1. 送信アイテムの新規作成

VCN CommCenter 画面のツールバーにある「送信」ボタン（図 71）をクリックすると、「送信」画面が表示されます（図 72）。ここで、新しく送信アイテムを作成することができます。

※ メニューバー「e-Parcel」→「アイテムを送る」、またはショートカットキー<Ctrl>+<S>も同様となります。

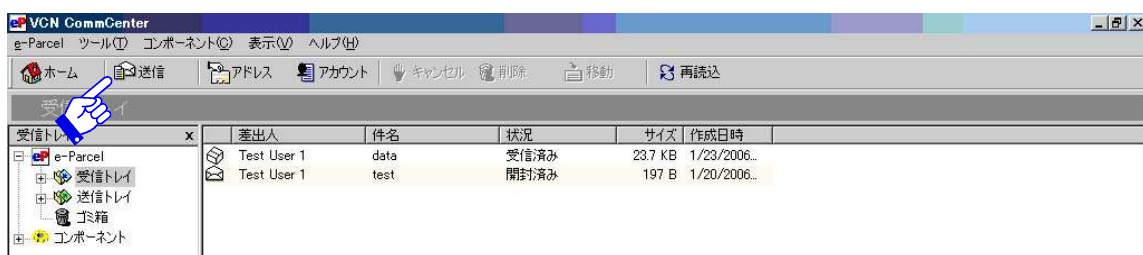


図 71



この「送信」画面では、新しく送信アイテムを作成するために、必要なすべての機能が表示されています（図 72）。アドレス帳から受信者を選択し、件名・メッセージを入力またはファイル/フォルダを添付した後、送信ボタンをクリックすることで、作成した送信アイテムを送信することができます。

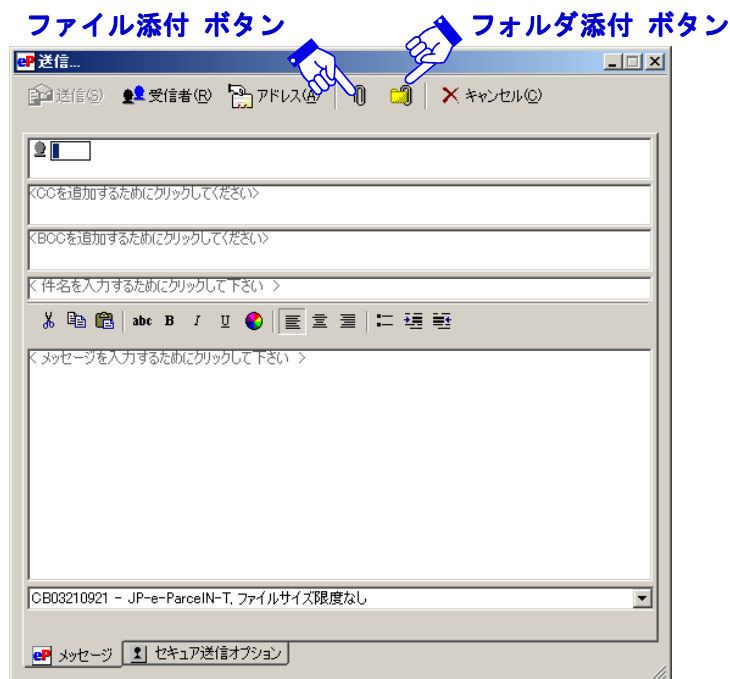


図 72

## 1-1. 受信者の選択

アイテム送信先の受信者を選択します。受信者・CC・BCCのそれぞれの該当するボックスに、受信者のユーザーIDを入力してください（図 72）。その他に「アドレス帳」や「最近使ったアドレス」から受信者を選択することもできます。

### 受信者の入力

受信者・CC・BCCボックスに、受信者のユーザーIDを、それぞれ入力してください。

### アドレス帳から選択

「送信」画面の「アドレス」ボタンをクリックしてください（図 72）。ここで、表示されるアドレス帳は、「e-Parcel アドレス帳」・「Windows アドレス帳」・「使用時毎に選択する」のいずれか、セットアップ/一般設定の設定により異なって表示されます。初期設定では、「e-Parcel アドレス帳」が、設定されています。



**Tip:** ここで表示されるアドレス帳は、セットアップ/一般設定・[アドレス帳の選択 \(P36\)](#) にて、設定変更することができます。

- **e-Parcel アドレス帳** 「e-Parcel アドレス帳」がオープンし、現在登録されている受信者とグループが選択できます。e-Parcel アドレス帳の詳細については、[e-Parcel アドレス帳 \(P62\)](#)をご参照ください。

※ e-Parcel 画面 のツールバーにある **アドレス** ボタンをクリック後、受信者およびグループを選択し、**選択** ボタンをクリックしても同様となります。



**Note:** 受信者をグループで選択した場合、グループ名は受信者ボックスには表示されません。グループに登録されたすべてのユーザー ID が、受信者ボックスに表示されます。

- **Windows アドレス帳** 「Windows アドレス帳」がオープンし、現在使用している Windows のアドレス帳へ登録されているすべてアドレスが表示されます (図 73)。受信者のアドレス (ユーザー ID) を選択した後、**宛先** ボタンをクリックし、すべて選択し終わったら **OK** ボタンをクリックしてください。「Windows アドレス帳」が閉じ、「送信」画面の受信者ボックスに選択した受信者が表示されます。

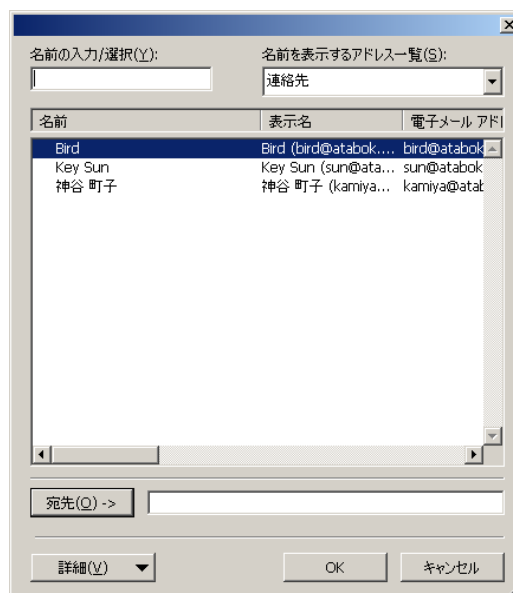


図 73



**Caution:** ここでは、あくまでも e-Parcel に登録されているアドレス (ユーザー ID) だけを受信者として選択してください。なお、Outlook の「配布先リスト」は、ご利用いただけません。

- **使用時毎に選択する** 「アドレス帳」ボタンをクリックするたびに、「どちらのアドレス帳を使用しますか？」画面が表示されますので、どちらのアドレス帳を使用するか選択してください (図 74)。



図 74

## 最近使ったアドレス（ユーザーID）から選択

受信者のユーザーID は、今までに送信したアドレス(ユーザーID)である場合が、多々あります。お客様がアイテムを送信するたびに、そのアイテムの受信者ユーザーID が、「最近使ったアドレス」に一時的に登録されます。次回アイテムを送信する時、**受信者** ボタンをクリックすることによって、「最近使ったアドレス」にリストアップされたユーザーID を、簡単に選択することができます。受信者のユーザーID がよく送信先ユーザーID として使用されている場合、便利な機能です。

- ① 「送信」画面の**受信者** ボタンをクリックしてください(図 75)。「最近使ったアドレス」画面に、最近送信したユーザーID が表示されます(図 76)。

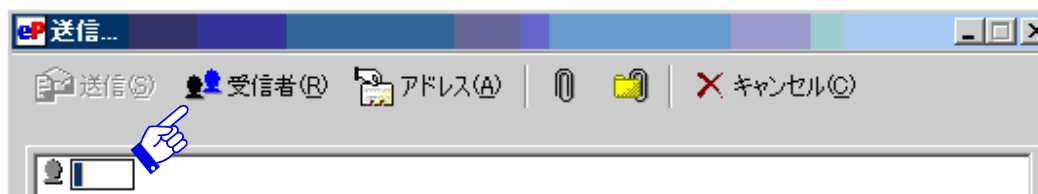


図 75

- ② 受信者のユーザーID を選択し **OK** ボタンをクリックしてください。「最近使ったアドレス」画面が閉じ、「送信」画面の受信者ボックスに選択した受信者が表示されます。




図 76



**Tip:** 「最近使ったアドレス」に登録される最大登録数は、ツールメニュー「セットアップ」→[オプション - 一般設定 \(P 41\)](#) で設定変更できます。

## 1-2.ファイルの添付

e-Parcel では、単一もしくは複数のファイルを添付してアイテムを送信する場合、ファイルをただ単に添付するだけでなく、メッセージおよび添付ファイルを暗号化して送信する機能が備わっています。

- ① 新しいアイテムにファイルを添付する場合は、「送信」画面ツールバーから  **ファイル添付** ボタンをクリックしてください(図 77)。

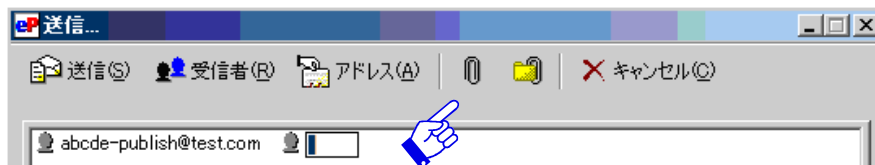


図 77

- ② 「配送するファイルを選んでください」画面が表示されます(図 78)。添付するファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックするとファイルが送信アイテムに添付されます。



図 78

	<b>Note:</b> 同時に複数のファイルを選択する場合は、<Ctrl>ボタンを押しながらマウスでファイルを選択してください。
	<b>Caution:</b> 0バイトのファイルは、添付できません。VCN CommCenter では、0バイトのファイルは送受信できません。
	<b>Warning:</b> ファイル名にコンマ ( , ) のついたファイルを添付し、送信した場合、ファイルは分割されて送信されてしまう場合があります。ファイル名にコンマ ( , ) を使用しないでください。

- ③ 「送信」画面に戻り、メッセージボックスの中にファイルのアイコンが表示され、ファイルが添付されたことが確認できます（図 79）。

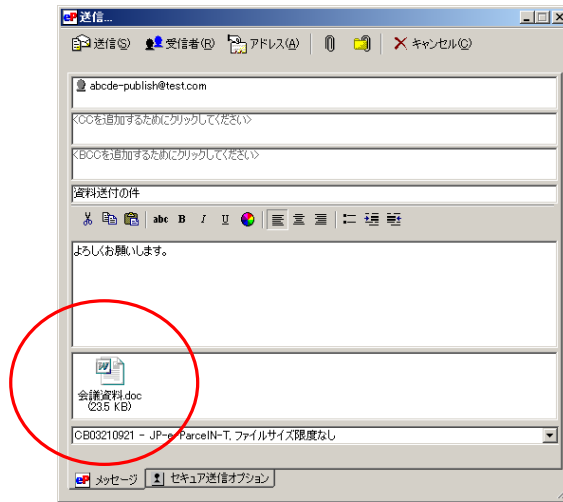


図 79

- ④ 添付ファイルを追加する場合、①②の操作を繰り返して行ってください。



**Note:** 一度ファイルまたはフォルダを添付されると、添付ファイル・フォルダボックス内のどこかを右クリックすると、メニューが表示されるようになります。メニューから「ファイルを追加」・「ディレクトリを追加」のいずれかを選択し、同様に添付ファイルおよびフォルダの追加をすることができます。

### 1-3.フォルダの添付

e-Parcel では、単一もしくは複数のフォルダを添付してアイテムを送信することができます。また、その場合も、フォルダをただ単に添付するだけでなく、メッセージおよび添付フォルダを暗号化して送信する機能が備わっています。


- ① 新しいアイテムにフォルダを添付する場合は、「送信」画面ツールバーから  フォルダ添付ボタンをクリックしてください（図 80）。



図 80

- ② 「フォルダの参照」画面が表示されます（図 81）。添付するフォルダを選択し、 ボタンをクリックするとフォルダが送信アイテムに添付されます。

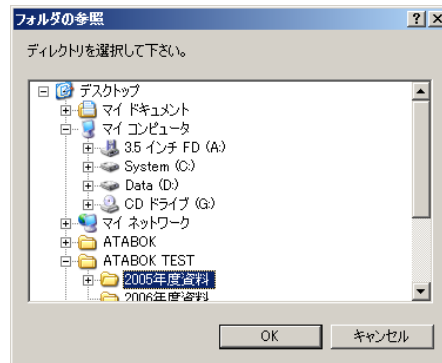


図 81

- ③ 「送信」画面に戻り、メッセージボックスの中にフォルダのアイコンが表示され、フォルダが添付されたことが確認できます（図 82）。フォルダとその中のファイルすべてが添付されたこととなります。

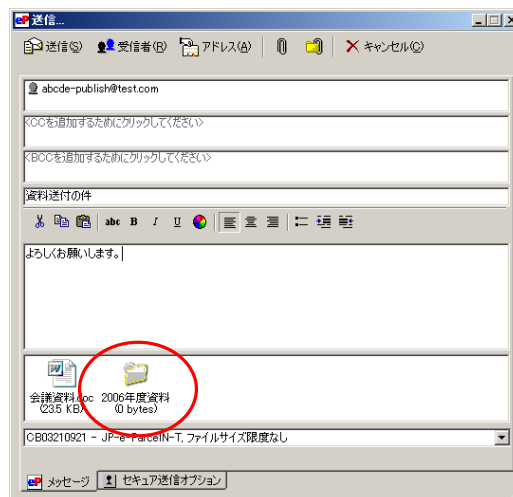


図 82

- ④ 複数のフォルダを添付する場合、①②の操作を繰り返して行ってください。



**Note:** 一度ファイルまたはフォルダを添付されると、添付ファイル・フォルダボックス内のどこかを右クリックすると、メニューが表示されるようになります。メニューから「ファイルを追加」・「ディレクトリを追加」のいずれかを選択し、同様に添付ファイルおよびフォルダの追加をすることができます。



**Caution:** VCN CommCenter では、0 バイトのファイルは送受信できません。また、添付されたデータの合計容量が0 バイトの場合、送信されません。

## 1-4. 添付ファイル・添付フォルダを削除する

添付したファイルやフォルダは送信前であれば送信アイテムから削除することができます。削除する場合、メッセージボックス内の添付ファイルおよびフォルダをクリックし反転させ、キーボードの<Delete>キーを押してください。添付ファイルおよびフォルダはメッセージボックスから削除されます。



**Note:** メッセージボックス内の添付ファイルまたはフォルダを選択し、右クリックするとメニューが表示されます。「削除」を選択し、同様に添付ファイルまたはフォルダを削除することができます。

## 1-5.送信アイテムのキャンセル

- ① 作成中の送信アイテムをキャンセルしたい場合は、**キャンセル** ボタンをクリックしてください (図 83)。

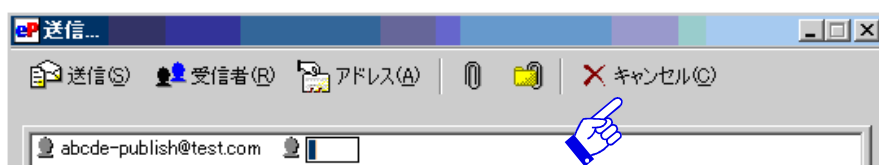


図 83

- ② 「送信をキャンセルしますか？」画面が表示されますので (図 84)、そのままキャンセルする場合は、**はい** ボタンをクリックしてください。「送信」画面が閉じ、作成中の送信メッセージを即座にキャンセルすることができます。キャンセルを中止したい場合は、**いいえ** ボタンをクリックすると「送信」画面へ戻ります。




図 84


すべての準備が整いましたら「送信」ボタンをクリックいただくことで送信開始されます。



添付ファイルや添付フォルダ以外のメッセージ本文の容量が 18.8KB を超えますと送信いただけなくなります。この場合はメッセージ内容をテキストファイル化して添付ファイルとして送信いただくことをお勧めいたします。

## 6 受信

e-Parcel にてアイテムを受信するには、e-Parcel クライアントソフトが起動されている必要があります。クライアントソフトがタスクバーに表示されている状態でも、アイテムの受信は可能です。また、e-Parcel がシャットダウンされている場合、デスクトップ上の e-Parcel ショートカットアイコン  をダブルクリックし起動し VCN CommCenter 画面を表示してください。

e-Parcel が、起動された時点で受信が開始されます。なお、データ受信が完了いたしますとタスクトレイ上の e-Parcel アイコンが赤旗マーク  に変わります。

### e-Parcel 受信トレイ

e-Parcel 受信トレイを選択すると、受信アイテムがリストアップされ、「状況」欄には現在の配送状況（ステータス）が表示されます。アイテムが送信され、受信を開始すると状況は“受信中\_\_%”・アイテムの受信が完了すると“受信済み”などの表示となります（図 85）。

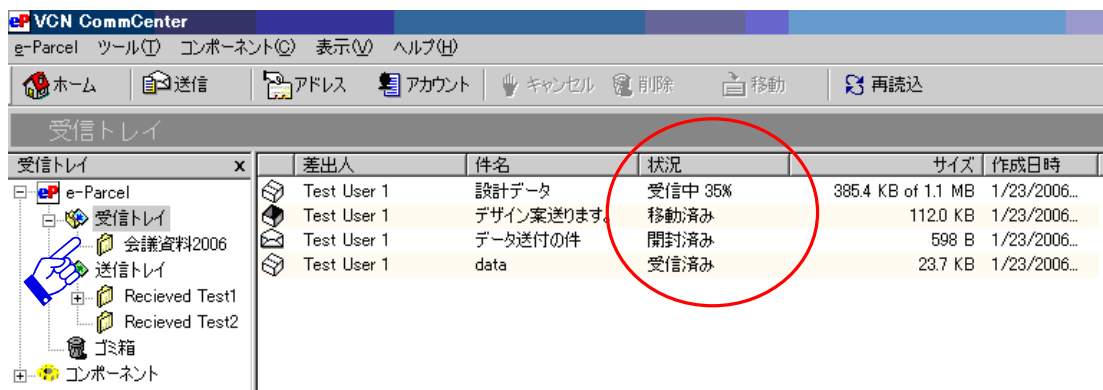


図 85

### 受信アイテムカバーシート

受信アイテムをオープンする場合は、受信トレイのアイテムを選択しダブルクリックしてください。カバーシートがオープンし、受信アイテム情報（差出人名・差出人ユーザーID・送信日時・受信者ユーザーID・アイテム件名）・メッセージ・添付ファイル/フォルダなどが表示されます（図 86）。添付ファイル/フォルダを開く場合は、カバーシート内に表示されたアイコンを選択しダブルクリックしてください。

また、カバーシートのツールバーに、クイックコマンドとして使用できる6つのボタンがあります。移動・返信・全員に返信・転送・拒否・印刷など簡単に操作が可能です。ここでは、受信アイテムの返信、添付ファイルやフォルダの移動方法などをご説明いたします。



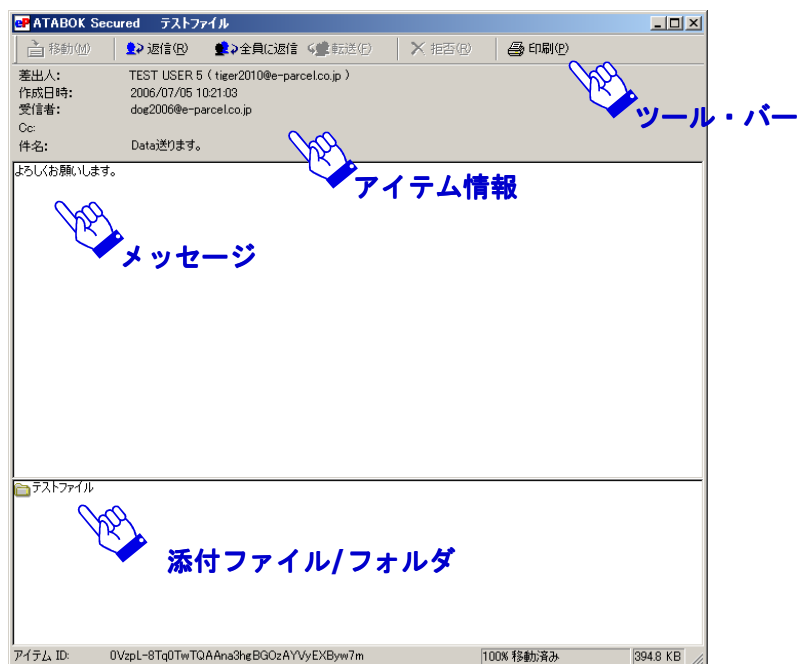


図 86

## 1. 受信アイテム

### 1-1. 移動

受信アイテムにファイル/フォルダが添付されている場合のみ、「移動」ボタンが操作可能となります。指定した場所に添付ファイル/フォルダを保存することができます。このボタンをクリックすると「フォルダの参照」ダイアログボックスがオープンしますので、添付ファイル/フォルダをどこに保存するか指定してください（図 87）。移動場所を選択したら「OK」ボタンをクリックし、指定した場所に保存してください。

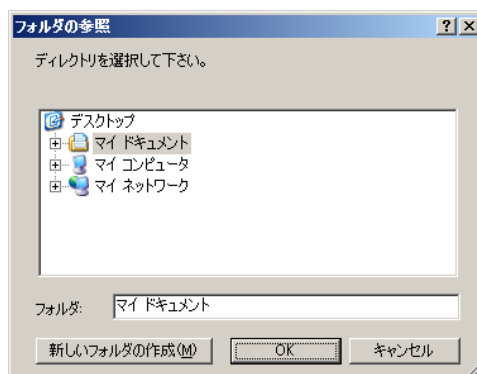




図 87

	<p><b>Note:</b> 受信アイテムの添付ファイル/フォルダを移動した場合でも、カバーシート内の添付ファイル/フォルダ表示はなくなりません。カバーシートから添付ファイル/フォルダにアクセスすることも可能です。</p>
	<p><b>Caution:</b> 「移動」操作は、<b>1回のみ可能です</b>。一度「移動」操作を行ったアイテムは、<b>移動</b> <b>転送</b> ボタンが操作無効となり、添付ファイル/フォルダを「移動」「転送」することができなくなります。自動受信機能で移動された場合も、同様に「移動」「転送」はできません。転送が必要な場合には、「移動」操作の前に必ず転送を行ってください。</p>

## 1-2.返信


返信機能は、他の E-mail アプリケーションソフト（メーラー）にある返信機能とほぼ同じです。返信したい場合、**返信** ボタンをクリックし、「送信」画面にて返信を作成してください。

## 1-3.全員に返信

全員に返信機能は、他の E-mail アプリケーションソフト（メーラー）にある返信機能とほぼ同じです。送信者・cc・bcc のすべてに返信することになります。全員に返信したい場合、**全員に返信** ボタンをクリックし、「送信」画面にて返信を作成してください。


## 1-4.転送

受信アイテムを転送したい場合、**転送** ボタンをクリックすると、「送信」画面がオープンしアイテムが作成できますので、転送先ユーザーID を入力してください。

	<p><b>Caution:</b> 添付ファイル/フォルダが既に移動された後は、アイテムは「転送」することができません。</p>
---	---

## 1-5.拒否

不要な受信アイテムが大きなサイズで送信されてきたり、受信に時間がかかる場合に、**受信中に限り**、**キャンセル** ボタンをクリックするとアイテムの受信はキャンセルされます。

	<p><b>Caution:</b> アイテムが一度キャンセルされると、送信者からアイテムを送信しない限り、再度受信することはできません。</p>
---	---

## 1-6.印刷

アイテムのカバーシートを印刷する場合は、**印刷** ボタンをクリックしてください。

## 7 トラッキング

e-parcel では、送信したアイテムの配送状況（トラッキング）を確認することができます。まず、VCN CommCenter 画面左上のフォルダ表示より送信トレイを選択してください。送信トレイには、送信アイテム一覧が表示され、現在の配送「状況」が確認できます（図 88）。

### e-Parcel 送信トレイ



図 88

## 1. トラッキング画面表示

送信アイテムの詳細な配送進行状況（トラッキング）を確認するには、該当アイテムをダブルクリックし「Controlled トラッキング」画面を表示させてください（図 89）。この画面では、送信アイテム情報・受信者・トラッキング履歴情報・件名・メッセージ・添付ファイル/フォルダが表示されます。

「Controlled トラッキング」画面のトラッキング履歴情報には、送信アイテムの配送進行状況とその日時が詳細に表示されます。受信済み・開封済み・移動済み・削除済みなど選択した受信者の配送状況履歴を、詳細に確認することができます（図 89）。



**Tip:** 受信者が、送信アイテムを受信したかどうかを把握しておくために、送信アイテムのトラッキング状況を確認することを習慣にしてください。

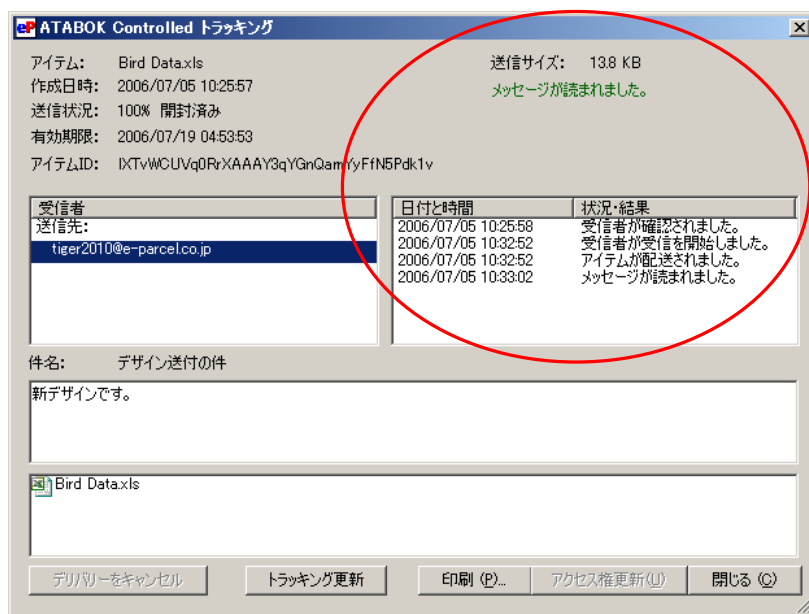


図 89

## 2. トラッキング画面のメニュー

「Controlled Tracking」画面下部には、[デバリーをキャンセル] [トラッキング更新] [印刷] [閉じる] ボタンの操作が可能です（図 90）。

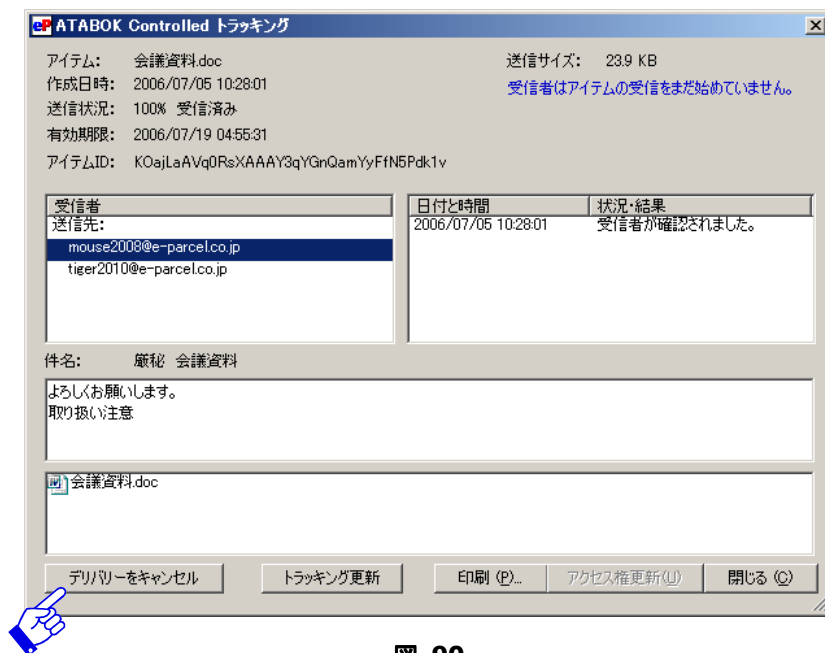


図 90

## 2-1.デリバリーをキャンセル

[**デリバリーをキャンセル**]ボタンは、アイテムの送信中または送信後であっても受信者がまだ送信アイテムを開いていない場合（トラッキング状況が“開封済み”以前の場合）に限り、操作可能です。[**デリバリーをキャンセル**]ボタンが操作可能な場合、ボタンをクリックし送信をキャンセルすることができます。受信者の受信トレイから送信アイテムが消滅され、送信者がトラッキング情報を更新すると“キャンセル済み”となるのが確認できます。



**Caution:** 送信アイテムを一度キャンセルした場合、再度送信することはできません。再度送信したい場合は、新しく送信アイテムを作成してください。

## 2-2.トラッキング更新

[**トラッキング更新**]ボタンは、e-Parcel サーバへアクセスすることによって、送信アイテムのトラッキングを最新の履歴情報へ更新します。[**トラッキング更新**]ボタンをクリックし、トラッキング情報を更新し、送信アイテムの最新の配送状況を確認することができます。

## 2-3.印刷

[**印刷**]ボタンは、送信アイテム情報および配送状況を印刷できます。

## 2-4.閉じる

[**閉じる**] ボタンをクリックすると「**Controlled** **トラッキング**」画面が閉じます。

## 8 自動受信コンポーネント

VCN CommCenterに装備されている自動受信コンポーネントは、自動的に受信アイテムの添付ファイル/フォルダを設定したフォルダへコピー・移動・転送させることや、自動受信されたアイテムに対しプログラムを実行させることができる機能です。

### 1. 自動受信画面の表示

自動受信の設定をする場合、まず「自動受信」画面を表示させます。VCN CommCenter画面左上のフォルダ表示画面のコンポーネントより「自動受信」をクリックするか、または、メニューバー「コンポーネント」→「自動受信」→「エントリー表示」を選択し、「自動受信」画面を表示させてください（図 91）。



図 91

### VCN CommCenter「自動受信」画面

メニューバーに“自動受信”メニューが追加され、“自動受信ツールバー”と呼ばれる別のツールバーを伴った「自動受信」画面が表示されます（図 92）。すでに自動受信条件（エントリー）が設定されている場合、“自動受信エントリー”がリストアップされます。

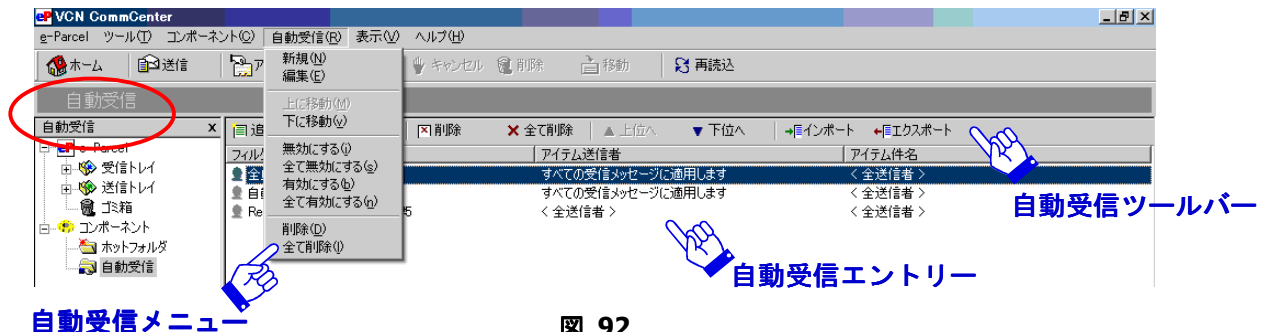


図 92

## 2. 自動受信画面のメニュー

自動受信機能をご活用いただくために、「自動受信」画面に“自動受信”メニューと、独自の“自動受信ツールバー”が設けられています（図 92）。

### 2-1. 自動受信ツールバー

- **追加（新規）**— 新しい自動受信条件（エントリー）を作成するためのボタンです。設定方法の詳細については [3. 自動受信条件の設定 \(P88\)](#) をご参照ください。
- **編集**— このボタンは、設定された自動受信条件がひとつ選択されているときに操作可能となります。 ボタンをクリックすると「エントリーを編集します。」ダイアログボックスが表示され編集が可能となります（図 93）。それぞれのタブ（「条件設定」「データ保存場所」「プログラム実行」「エラー通知」「電子メール通知」「電子メール転送」）の設定については、[3. 自動受信条件の設定 \(P88\)](#) をご参照ください。



**Note:** 「条件設定」タブでは、すでに設定した自動受信条件の機能を一時停止することができます。この場合、「このエントリーを無効にします。」をチェックし、 をクリックしてください（図 93）。画面の操作ができなくなりますので、 をクリックし「編集」画面を閉じてください。これで設定した自動受信条件は、無効となります。再度選択した自動受信条件の機能を有効にしたい場合、このチェックを外してください。

- **削除**— このボタンは、設定された自動受信条件が選択されているときに操作可能となります。 ボタンをクリックすると、削除確認ダイアログボックスが表示されます。そのまま削除をする場合は  ボタンを、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。
- **全て削除**— このボタンはいつでも操作可能です。すべての自動受信条件を削除したい場合にクリックしてください。 ボタンをクリックすると、削除確認ダイアログボックスが表示されます。そのまま全て削除する場合は、 ボタンを、そうでない場合は  ボタンを選択してください。
- **上位へ/下位へ**— 設定されている自動受信条件の優先順位を、1段階ずつ上下に移動させるためのボタンです。上位に位置している自動受信条件から、優先して実行されます。

- **インポート**— 既存の自動受信条件をインポートしたい場合、このボタンをクリックしてください。詳細については [5. 条件のインポート \(P116\)](#) をご参照ください。
- **エクスポート**— 既存の自動受信条件をエクスポートしたい場合、このボタンをクリックしてください。詳細については [4. 条件のエクスポート \(P113\)](#) をご参照ください。

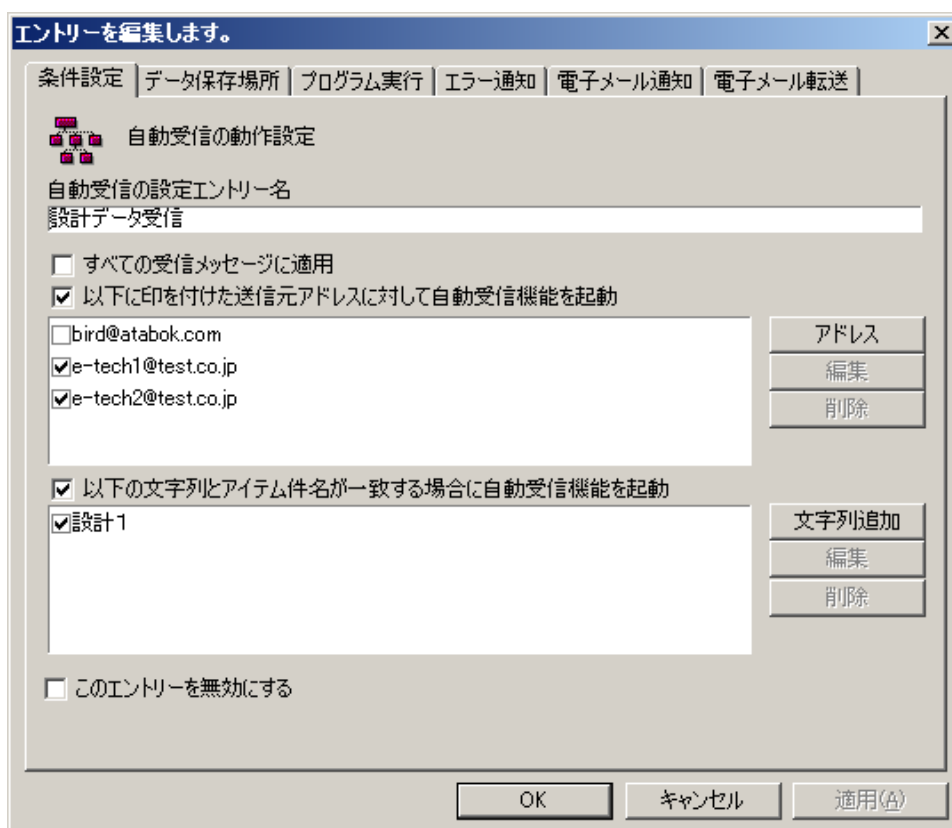


図 93

## 2-2. 自動受信メニュー

“自動受信”メニューは、“自動受信ツールバー”と同様の機能がメニューから選択できます。ツールバーにない、メニュー（設定機能）のみをここでご説明します。

- **上/下に移動**— 設定されている自動受信条件の優先順位を、最上下段に移動させます。
- **無効にする**— 選択された自動受信条件を使用不可にします。
- **全て無効化**— 現在設定されている自動受信条件を全て使用不可にします。
- **有効にする**— 選択された自動受信条件を使用できるようにします。
- **全て有効化**— 現在設定されている自動受信を全て使用できるようにします。



### 3. 自動受信条件の設定

自動受信機能を作動させるためには、自動受信条件（エントリー）を設定する必要があります。自動受信エントリーに設定された条件に基づいて、データを受信し処理するプロセスがすべて自動化され、指定した場所にデータを移動・コピーすることができます。

また、特定のファイルを実行させるプログラムを走らせたり、コマンドラインを実行させることもできます。さらに、自動受信が実行された場合の“電子メール通知”・“エラー通知”・“電子メール転送”を Windows メールアドレスへ送信する機能も備わっています。

#### 自動受信「条件設定」画面の表示

メインディスプレイに「条件設定」画面を表示させます。自動受信ツールバーから「追加」ボタンをクリックするか（図 94）、自動受信メニューから「自動受信」→「新規」を選択してください（図 95）。「条件設定」画面が表示され、新しく自動受信条件（エントリー）を作成することができます。（図 96）。

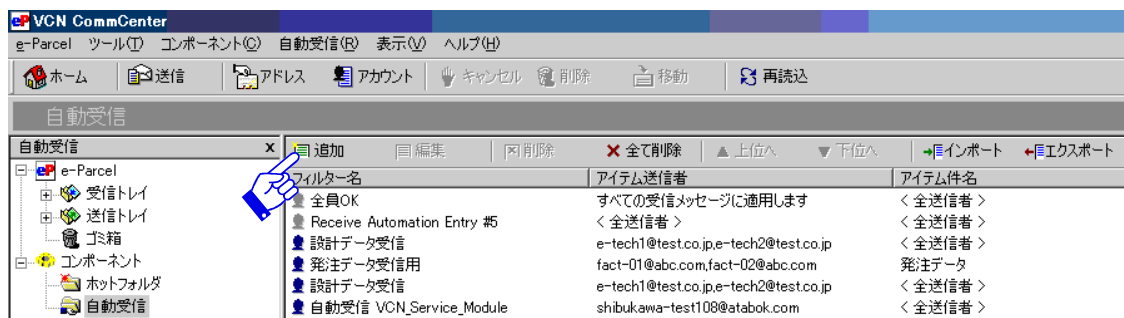


図 94

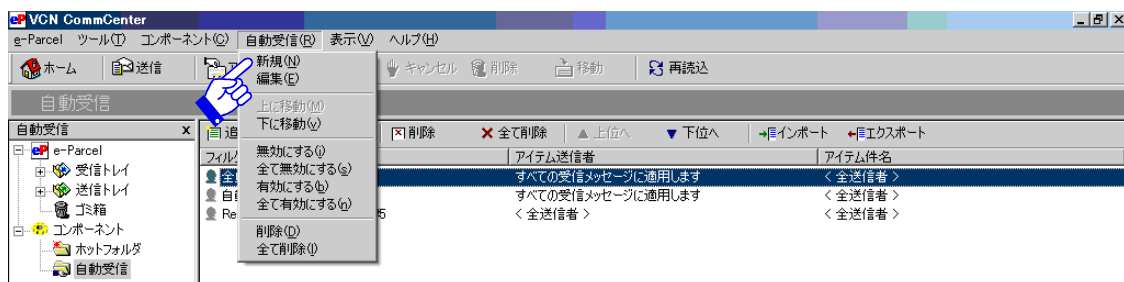


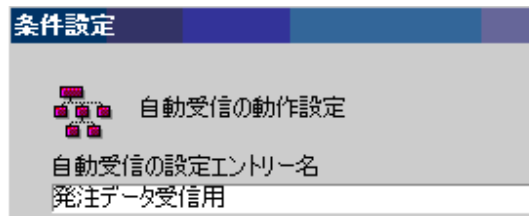
図 95

### 3-1.自動受信条件設定

「条件設定」画面では、受信したアイテムに対してどのような自動受信条件（エントリー）を実行するかを設定します。条件が設定されると、受信したアイテムがその条件に合致した場合、自動受信が作動します。

図 96

#### 自動受信エントリー名



“自動受信の設定エントリー名”欄に、エントリー名を入力してください。自動受信エントリー名は、識別のためにのみ使用しますので、お客様の管理しやすい名前を付けてください。




**Tip:** 自動受信エントリー名には、設定されている条件と関係のあるものを指定するとよいでしょう。例えば、A社からの受信アイテムを指定フォルダに移動したい場合の自動受信には、エントリー名を「A社」もしくは「A社からの重要アイテムフォルダ」としたら分かりやすくなります。

#### 条件設定

自動受信の条件は3つの基準（「すべての受信アイテム」・「送信元アドレス」・「アイテム件名」）で設定することができます(図 96)。

ちなみに、「送信元アドレス」かつ「アイテム件名」の両方を条件として設定し、自動受信を作動させることもできます。両方を指定する場合、両方にチェックを入れてください。

	<p><b>Caution:</b> 「送信元アドレス」・「アイテム件名」の2つとも条件として設定した場合、<u>受信アイテムが両方の条件に合致する時のみ</u>、自動受信機能が作動します。</p>
---	---

### ● すべての受信メッセージに適用

この条件を選択すると、送信元アドレス（ユーザーID）およびアイテム件名に関わらず、すべての受信アイテムに対して自動受信機能が作動します。

### ● 送信元アドレスに対して条件設定

この条件を選択すると、指定した送信元アドレス（ユーザーID）に対して自動受信機能が作動します。

#### 送信元アドレスの設定

- ① 「以下に印を付けた送信元アドレスに対して自動受信機能が起動」の先頭にチェックを入れてください。続いて「アドレス」ボタンをクリックしてください（図 97）。「アドレス帳」ダイアログボックスが表示されます（図 98）。

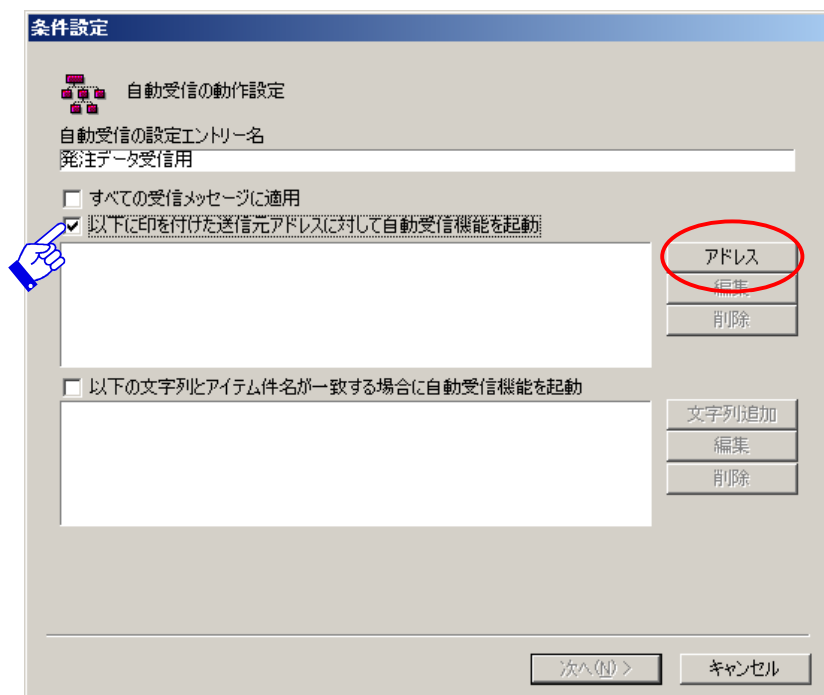


図 97

- ② 表示された「アドレス帳」から該当するユーザーを選択して、「選択」ボタンをクリックしてください（図 98）。

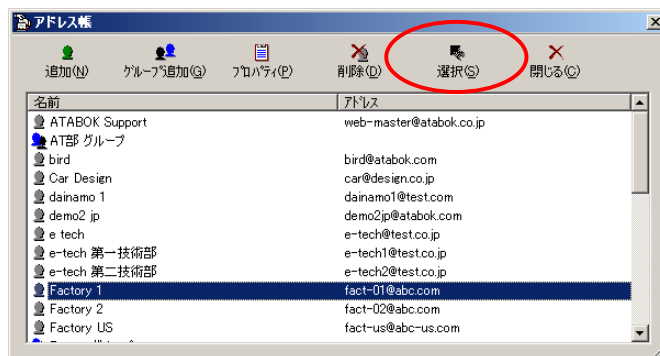




図 98

	<p><b>Tip:</b> 複数の送信元アドレス（ユーザーID）を設定したい場合は、&lt;ctrl&gt;キーを押しながらクリック選択し、すべての選択が終了したら「<b>選択</b>」ボタンをクリックしてください。</p>
	<p><b>Note:</b> ここで表示するアドレス帳の種類は、e-Parcel メニューバー「ツール」→「セットアップ」→「一般設定」タブで変更が可能です。詳細は<a href="#">第2章 VCN CommCenter の設定(P27)</a>をご参照ください。</p>

- ③ 「条件設定」画面に戻り、送信元アドレスとして選択したユーザーID がリストアップされます（図 99）。

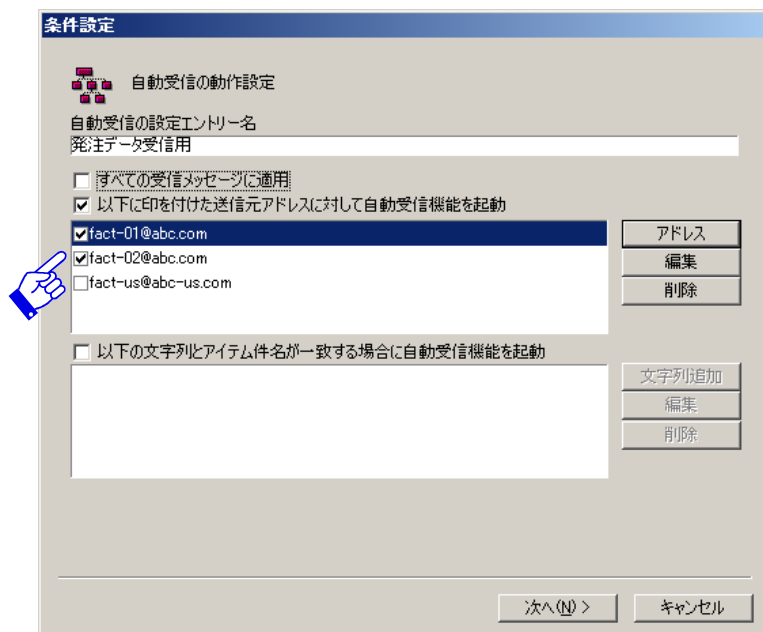



図 99


	<p><b>Tip:</b> 選択した個々の送信元アドレス（ユーザーID）の先頭にはチェックボックスがあります。チェックが入ると有効となり、自動受信機能が作動することになります。リストには残しておきたいが、ここでその送信元アドレス（ユーザーID）を設定したくない場合は、該当送信元アドレス（ユーザーID）の先頭のチェックマークを外してください。そのアドレスに対して自動受信機能は作動しなくなります。</p>
---	---

### 送信元アドレス（ユーザーID）の編集

設定した送信元アドレス（ユーザーID）は、必要に応じて修正することが可能です。ユーザーIDを修正する場合は、該当ユーザーIDを選択し **編集** ボタンをクリックしてください。直接修正入力を行うことが可能となります。一度に1ユーザーIDの修正を行うことができます。修正が終了しましたら、**編集** ボタンを再度クリックし修正内容を確定させてください。

### ユーザーIDの削除

送信元アドレス（ユーザーID）は、削除することができます。削除する場合は、ユーザーIDを選択し **削除** ボタンをクリックしてください。削除を確認するダイアログボックスが表示されますので、削除する場合は **はい**、削除しない場合は **いいえ** ボタンをクリックしてください。

	<p><b>Note:</b> 複数の送信元アドレス（ユーザーID）を削除したい場合は、&lt;Ctrl&gt;キーを押しながら選択し、<b>削除</b> ボタンをクリックしてください。</p>
---	---

### ● アイテム件名に対する条件設定

この条件を選択すると、指定したアイテム件名に対して自動受信機能が作動します。

#### アイテム件名の設定

- ① 「以下の文字列とアイテム件名が一致する場合に自動受信機能が起動」の先頭にチェックを入れ、**文字列追加** ボタンをクリックしてください（図 100）。

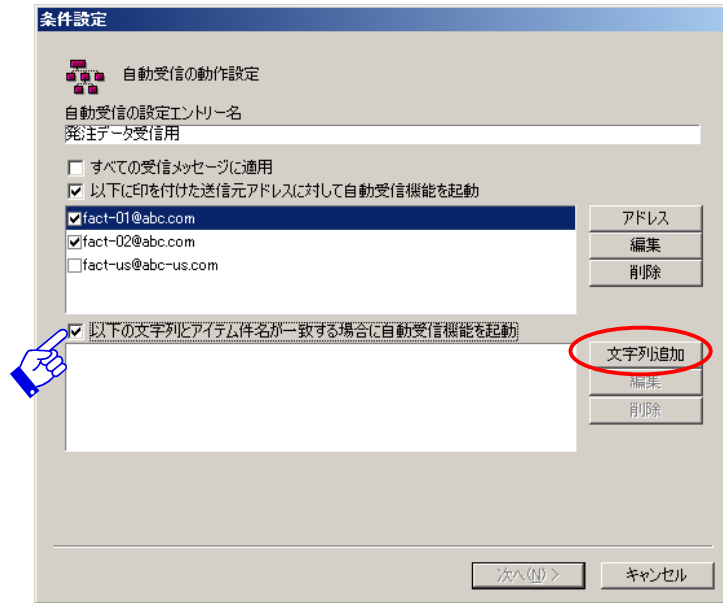


図 100

- ② 「文字列追加」ダイアログボックスが表示されます。条件にしたいアイテム件名と同じ“文字列”を入力してください。“文字列”を入力したら「追加」ボタンをクリックしてください（図 101）。設定した“文字列”が「現在の文字列」欄にリストアップされますので、適用させるために「OK」ボタンをクリックしてください（図 102）。

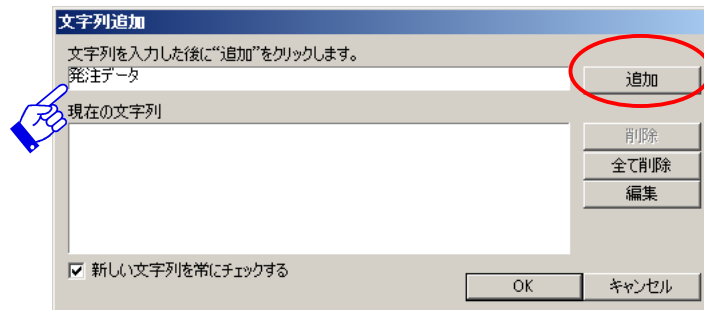


図 101

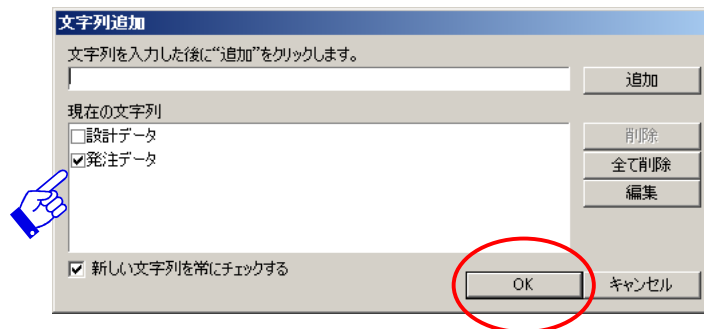


図 102

- ③ 「条件設定」画面に戻り、“文字列” がリストアップされます (図 103)。

図 103



**Tip:** 個々の“文字列”の前にはチェックボックスがあります。チェックをすると有効となり、自動受信機能が作動することになります。リストには残しておきたいが、ここでその“文字列”を指定したくない場合は、該当“文字列”の先頭のチェックマークを外してください。その“文字列”に自動受信機能は作動しなくなります。

#### 文字列の編集

設定した“文字列”は、必要に応じて修正することが可能です。“文字列”を修正する場合は、該当“文字列”を選択し **編集** ボタンをクリックしてください。直接修正入力を行うことが可能です。一度に1つの“文字列”の修正を行うことができます。修正が終了しましたら、**編集** ボタンを再度クリックし修正内容を確定させてください。

#### 文字列の削除

“文字列”は、削除することができます。削除する場合は、“文字列”を選択し **削除** ボタンをクリックしてください。削除を確認するダイアログボックスが表示されますので、削除する場合は **はい**、削除しない場合は **いいえ** ボタンをクリックしてください。



**Note:** 複数の“文字列”を削除したい場合は、<Ctrl>キーを押しながら選択し、**削除** ボタンをクリックしてください。

「条件設定」が終了しましたら、**次へ** ボタンをクリックし [3-2.データ保存場所](#) へお進みください。

## 3-2. データ保存場所

「データ保存場所」画面では自動受信機能によって受信されたデータを、どのフォルダに移動・コピーするかを設定します。保存場所を選択するための3つのオプション（「e-Parcelのサブフォルダに移動」「Windows フォルダにコピー」「Windows フォルダに移動」）とファイル管理をするための3つのオプションがあります（図 104）。

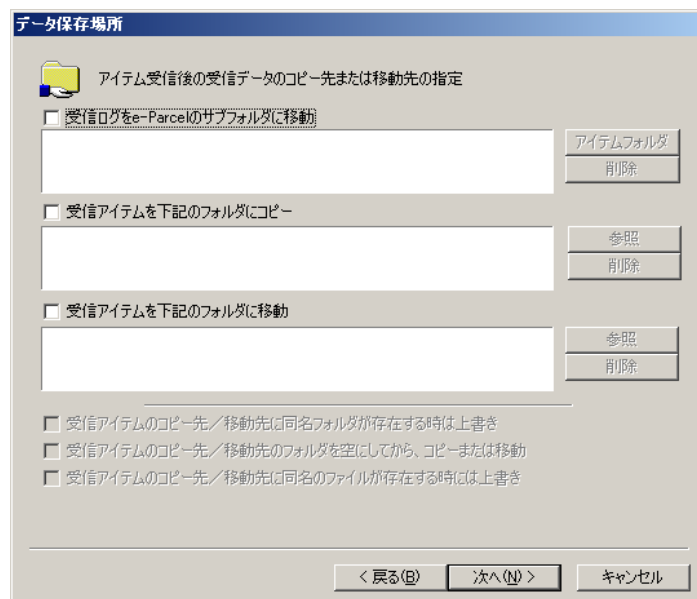


図 104

### データ保存場所の設定


#### ● e-Parcel のサブフォルダに移動

このオプションを設定すると、自動受信したアイテムが、e-Parcel “受信トレイ” 内のサブフォルダへ移動されます。

##### フォルダの設定

- ① 「受信ログを e-Parcel のサブフォルダに移動」をチェックすると、**アイテムフォルダ** ボタンが操作可能となります（図 104）。**アイテムフォルダ** ボタンをクリックしてください。
- ② 「新しいフォルダへ移動」画面が表示されます（図 105）。表示された e-Parcel “受信トレイ” 内のサブフォルダのみ移動先サブフォルダとして設定可能です。ここで、受信トレイから移動先サブフォルダをクリック選択し **選択** ボタンで確定してください。



	<p><b>Tip:</b> 移動先サブフォルダは、e-Parcel “受信トレイ” 内にのみ作成し設定することができます。e-Parcel “受信トレイ” 内に、既にサブフォルダがある場合は、さらにその中にサブフォルダを作成することもできます。</p>
---	---

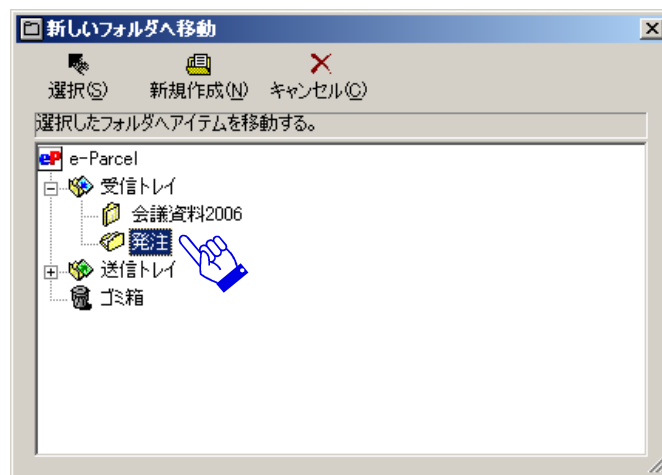


図 105

- ③ 新しいサブフォルダを作成する必要がある場合は、最初に e-Parcel “受信トレイ” を選択し、**新規作成** ボタンをクリックしてください（図 105）。移動先サブフォルダは、e-Parcel “受信トレイ” 内に作成されます。

「新規フォルダ...」ダイアログボックスが表示されますので、フォルダ名を入力し **OK** ボタンをクリックしてください（図 106）。

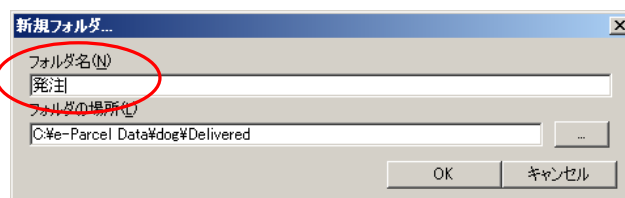


図 106

- ④ 「新しいフォルダへ移動」ダイアログボックスへ戻りますので、新規作成した移動先サブフォルダをクリック選択した後、**選択** ボタンで確定してください。「データ保存場所」画面に戻り、設定したサブフォルダがリストアップされます（図 107）。

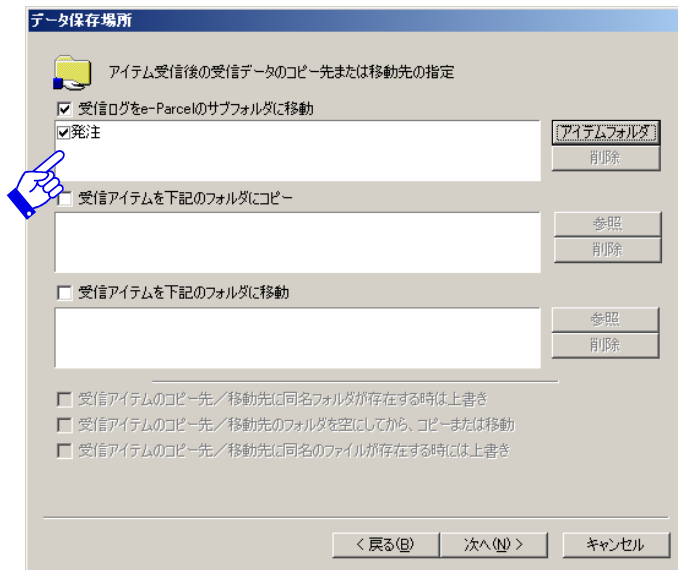


図 107

	<p><b>Caution:</b> 自動受信したアイテムを、複数の異なるサブフォルダへ移動することはできません。移動先サブフォルダとして設定できるのは、1つのサブフォルダのみとなります。</p>
	<p><b>Tip:</b> データ保存場所に設定するサブフォルダを“受信トレイ”以外の場所にしたい場合は、フォルダの場所の右にあるボタンをクリックし保存場所を選択してください(図 106)。ただし、その場合も、VCN CommCenter 画面上は、e-Parcel “受信トレイ” 内にサブフォルダが表示されます。</p>
	<p><b>Tip:</b> 設定しました個々の受信アイテムの移動先フォルダの前に、チェックボックスがあります。チェックをすると有効となり、自動受信機能が作動することになります。リストには残しておきたいが、ここでそのフォルダを指定したくない場合は、該当フォルダの先頭のチェックマークを外してください。そのフォルダに自動受信機能は作動しなくなります。</p>

● Windows フォルダへコピー

このオプションを設定すると、受信アイテムを e-Parcel “受信トレイ” に保存すると同時に指定した Windows フォルダへコピーします。

フォルダの設定

- ① 「受信アイテムを下記のフォルダにコピー」をチェックすると、**参照** ボタンが操作可能となります(図 108)。**参照** ボタンをクリックしてください。

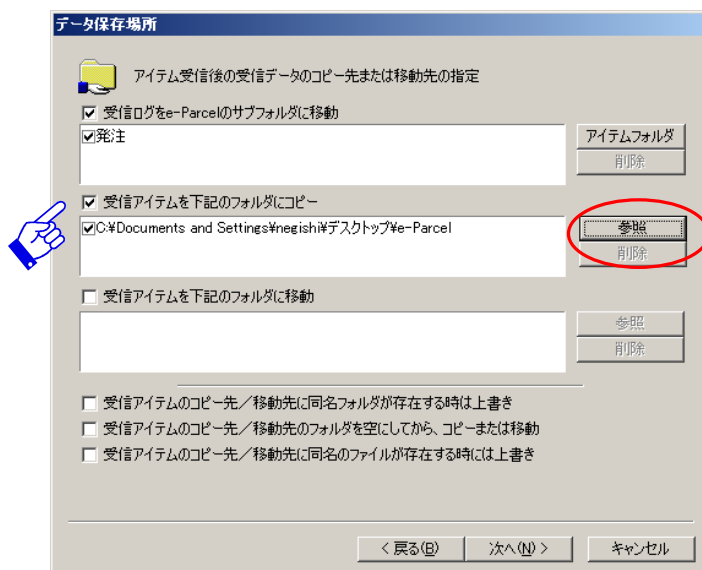


図 108

- ② 「ディレクトリを選択してください。」ダイアログボックスが表示されます(図 109)。コピー先フォルダを選択し **OK** ボタンをクリックしてください。

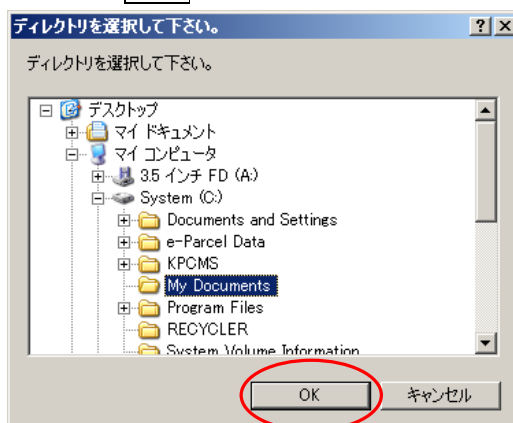


図 109

- ③ 「データ保存場所」画面に戻り、設定した Windows フォルダがリストアップされます(図 108)。



**Note:** 受信アイテムを複数の Windows フォルダへコピーすることができます。その場合、Windows フォルダへコピー①～②の手順を繰り返して設定ください。



**Tip:** 設定しました個々の受信アイテムのコピー先フォルダの前に、チェックボックスがあります。チェックをすると有効となり、自動受信機能が作動することになります。リストには残しておきたいが、ここでそのフォルダを指定したくない場合は、該当フォルダの先頭のチェックマークを外してください。そのフォルダに自動受信機能は作動しなくなります。

## ● Windows フォルダへ移動

受信したアイテムを e-Parcel “受信トレイ” には保存せずに他の Windows フォルダへ移動します(図 110)。

### フォルダの設定

- ① 「受信アイテムを下記のフォルダに移動」をチェックすると、「参照」ボタンが操作可能となります(図 110)。「参照」ボタンをクリックしてください。
- ② 「ディレクトリを選択してください。」ダイアログボックスが表示されます(図 109)。移動先フォルダを選択し「OK」ボタンをクリックしてください。
- ③ 「データ保存場所」画面に戻り、設定した Windows フォルダがリストアップされず(図 110)。

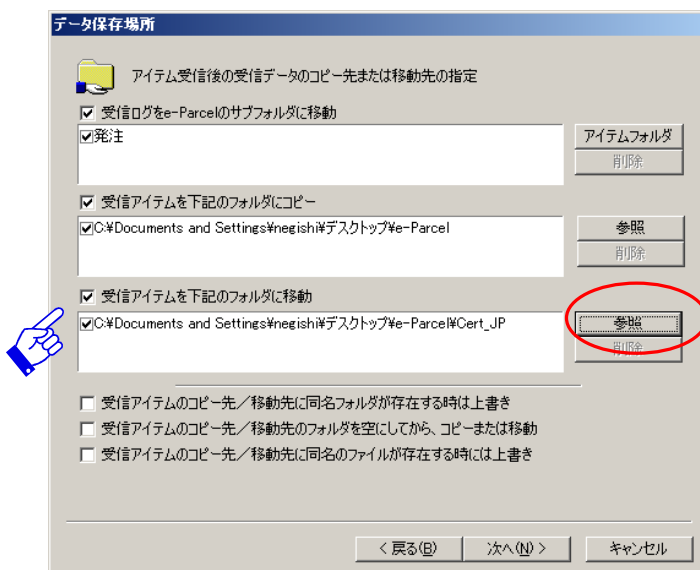



図 110




**Caution:** 自動受信したアイテムを複数の異なる Windows フォルダへ移動することはできません。移動先 Windows フォルダとして設定できるのは、1つの Windows フォルダのみとなります。

	<p><b>Tip:</b> 設定しました個々の受信アイテムの移動先フォルダの前に、チェックボックスがあります。チェックをすると有効となり、自動受信機能が作動することになります。リストには残しておきたいが、ここでそのフォルダを指定したくない場合は、該当フォルダの先頭のチェックマークを外してください。そのフォルダに自動受信機能は作動しなくなります。</p>
---	--

### データ保存場所の削除

「データ保存場所」画面で移動・コピーするための3つのオプション（「e-Parcel “受信トレイ” のサブフォルダに移動」「Windows フォルダにコピー」）で設定したフォルダは、削除することができます。

削除する場合は、それぞれの設定オプションのボックスに表示されているフォルダを選択し、**削除** ボタンをクリックしてください。削除を確認するダイアログボックスが表示されますので、削除する場合は **はい**、削除しない場合は **いいえ** ボタンをクリックしてください。

	<p><b>Note:</b> 複数のフォルダを削除したい場合は、&lt;Ctrl&gt;キーを押しながら選択し、<b>削除</b> ボタンをクリックしてください。</p>
--	--

### ファイル管理

「データ保存場所」画面でコピー/移動先フォルダを選択した後、データ保存場所に関するファイル管理オプションを設定してください。

ファイル管理として設定できる3つのオプションは「同名フォルダが存在する時は上書き」「フォルダを空にしてからコピーまたは移動」「同名ファイルが存在する時は上書き」となります（図 111）。

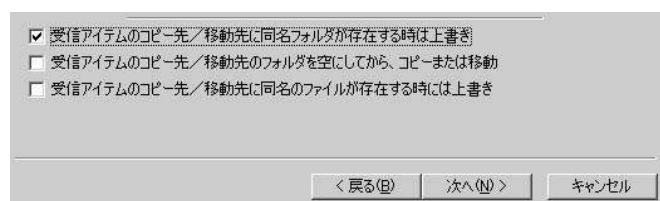



図 111

	<p><b>Caution:</b> これらのオプション設定は、受信したアイテムが Windows フォルダにコピー・移動される場合に限りです。e-Parcel “受信トレイ” のサブフォルダにコピー・移動する場合には設定できません。</p>
---	---

### ● 同名フォルダが存在する時は上書き

「データ保存場所」ダイアログボックス (図 111) で、「受信アイテムのコピー先/移動先に同名フォルダが存在する時は上書き」をチェックすると、受信アイテムにフォルダが添付されていた場合、かつ、コピー/移動先に既に同名のフォルダが存在した場合は、そのフォルダは上書きされます。同名のフォルダが存在しない場合は、コピー/移動先フォルダへそのままコピー/移動されます。



**Warning:** このオプションを選択をすると、受信アイテムに含まれるフォルダは、コピー/移動先の同名のフォルダに上書きされます。コピー/移動先フォルダ内にあるフォルダは、上書きされ削除されますので、そのフォルダ内にある必要なファイル/サブフォルダは、他のフォルダへ保存するかバックアップをするようにしてください。

### ● フォルダを空にしてからコピーまたは移動

「データ保存場所」ダイアログボックス (図 111) で、「受信アイテムのコピー先/移動先のフォルダを空にしてから、コピーまたは移動」をチェックすると、受信アイテムにファイル/フォルダが添付されていた場合、コピー/移動先に保存されます。その時、そのコピー/移動先にあった他のファイル/フォルダはすべて削除されます。



**Warning:** このオプションを選択をすると、コピー/移動先フォルダ内にあるすべてのファイル/フォルダは、受信アイテムに添付されたファイル/フォルダに置き換わります。コピー/移動先フォルダ内にあるすべてのファイル/サブフォルダは削除されますので、必要なファイル/サブフォルダは、他のフォルダへ保存するかバックアップをするようにしてください。

### ● 同名ファイルが存在する時は上書き

「データ保存場所」ダイアログボックス (図 111) で、「受信アイテムのコピー先/移動先に同名のファイルが存在する時は上書き」をチェックすると、受信アイテムにファイルが添付されていた場合、コピー/移動先に既に同名のファイルが存在した場合は、そのファイルは上書きされます。同名のファイルが存在しない場合は、コピー/移動先フォルダへそのままコピー/移動されます。



**Warning:** このオプションを選択をすると、コピー/移動先フォルダ内にある同名のファイルのみが上書きされます。異なるファイル名の場合は、受信されたファイルがコピー/移動先フォルダへそのままコピー/移動されます。

「データ保存場所」の設定が終わりましたら、**次へ** ボタンをクリックし [3-3.プログラム実行](#) へお進みください。

### 3-3.プログラム実行

「プログラム実行」ダイアログボックスでは、受信アイテムの単一添付ファイルの拡張子に関連するアプリケーションを起動させたり、プログラムを実行させる2つのオプションの設定ができます(図 112)。さらに、それぞれのオプション実行時にご利用いただける、“コマンドラインパラメータ”を設定することもできます。

※ 「プログラム実行」が必要ない場合は、**次へ** ボタンをクリックし [3-4.電子メール転送\(P105\)](#)へお進みください。

図 112

#### 単一ファイルの認識

「プログラム実行」ダイアログボックスで「拡張子に関連付けられたプログラムを実行 (単一ファイル受信時のみ有効)」をチェックすると、単一の添付ファイルの拡張子に関連付けられたアプリケーションを実行します(図 112)。つまり、アイテムを受信するとシステムが自動的に、その添付ファイルの拡張子を識別し、アプリケーションやプログラムを起動し内容を表示させます。





**Note:** このオプションを選択すると、「コマンドラインパラメータを付加」オプションが選択できるようになります。もし、コマンドラインパラメータを設定したい場合は、このオプションを設定してください。詳細については、[コマンドラインパラメータ付加 \(P103\)](#)をご参照ください。

## 実行用プログラムの選択

### ● 実行可能ファイルを選択

- ① 「プログラムの実行」ダイアログボックスで、「**実行用のプログラムまたはバッチファイルを選択**」をチェックすると、**参照** ボタンが操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 「**実行可能ファイルを選択**」ダイアログボックスが表示されますので、該当する実行可能ファイルを選択し **開く** をクリックしてください。「**プログラム実行**」ダイアログボックスへ戻り、選択したファイルがリストアップされます。


	<p><b>Tip:</b> 選択したプログラム・バッチファイルの前に、チェックボックスがあります。チェックをすると有効となり、自動受信により作動することになります。リストには残しておきたいが、ここで選択したくない場合は、該当プログラム・バッチファイルの先頭のチェックマークを外してください。自動受信により作動しなくなります。</p>
	<p><b>Note:</b> このオプションを選択すると、「<b>コマンドラインパラメータを付加</b>」オプションが選択できるようになります。もし、コマンドラインパラメータを設定したい場合は、このオプションを設定してください。詳細については、<a href="#">コマンドラインパラメータ付加 (P103)</a>をご参照ください。</p>

### ● 実行可能ファイルの削除

実行可能ファイルの削除は、「**プログラムの実行**」ダイアログボックスで行うことができます(図 112)。削除する場合は、まず該当の実行可能ファイルをクリック選択してください。**削除** ボタンが操作可能となりますので、**削除** ボタンをクリックしてください。削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は **はい** を、そうでない場合は **いいえ** ボタンをクリックしてください。

## コマンドラインパラメータ付加

「**プログラム実行**」ダイアログボックスで、「**拡張子に関連付けられたプログラムを実行(単一ファイル受信時のみ有効)**」または「**実行用のプログラムまたはバッチファイルを選択**」をチェックすると、「**コマンドラインパラメータを付加**」オプションが操作可能となります。コマンドラインを実行したい場合は、コマンドラインパラメーターを設定します。

	<p><b>Caution:</b> コマンドラインを作成するには、コマンドラインに関する知識が必要となります。コマンドラインの詳細については、マイクロソフトの OS マニュアルをご参照ください。</p>
---	--



## ● コマンドラインの設定

- ① 「コマンドラインパラメータを付加」にチェックを入れてください。ここをチェックするとコマンドラインパラメータが設定可能になります。**追加** ボタンをクリックして「コマンドラインを追加します。」ダイアログボックス (図 113) を表示させてください。



図 113



**Tip:** コマンドラインパラメータを指定しないと、自動的に添付ファイル保存先へのフルパスが、自動的にコマンドラインパラメータとして設定されます。

- ② コマンドラインパラメータを上段へ入力し、**追加** ボタンをクリックしてください (図 113)。コマンドラインパラメータは複数設定が可能です。入力されたコマンドラインはすべて設定されます。コマンドラインの追加がすべて終わりましたら **OK** ボタンをクリックしてください。



**Tip:** 複数設定されたコマンドラインパラメータは、カンマで区切られたひとつのパラメータとして付加されます。

## ● コマンドラインの編集

コマンドラインパラメータの編集は、「プログラムの実行」ダイアログボックス (図 112) で行うことができます。

※ 「コマンドラインを追加します。」(図 113) ダイアログボックスでも同様にできます。

- ① コマンドラインを修正する場合は、まず該当のコマンドラインをクリック選択してください。**編集** ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② コマンドラインパラメータが直接修正入力できるようになります。修正が完了したら、再び **編集** ボタンをクリックしてください。

## ● コマンドラインの削除

コマンドラインパラメータの削除は、「プログラムの実行」ダイアログボックスで行うことができます（図 112）。

※「コマンドラインを追加します。」ダイアログボックスでも同様にできます（図 113）。

- ① コマンドラインを削除する場合は、まず該当のコマンドラインをクリック選択してください。削除 ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は はい を、そうでない場合は いいえ ボタンをクリックしてください。

## ● コマンドラインの全て削除

コマンドラインパラメータの全て削除は、「コマンドラインを追加します。」（図 113）ダイアログボックスで行うことができます。



- ① 全てのコマンドラインパラメータを削除する場合は、「プログラムの実行」ダイアログボックス（図 112）の 追加 ボタンをクリックし、「コマンドラインを追加します。」ダイアログボックスを表示させます（図 113）。
- ② 全て削除 ボタンをクリックすると、コマンドラインが全て削除されます。

「プログラム実行」の設定が終わりましたら 次へ ボタンをクリックし [3-4.電子メール転送](#) へお進みください。

## 3-4.電子メール転送

「電子メール転送」ダイアログボックスでは、自動受信機能による受信アイテムのメッセージおよび添付ファイルを、Windows 電子メールアドレスへ転送することができます（図 114）。

※ 電子メール転送が必要ない場合は、次へ ボタンをクリックし [3-5.エラー通知 \(P108\)](#) へお進みください。

	<p><b>Caution:</b> 電子メール転送を作動させるためには、SMTP サーバの設定が必要となります。電子メール転送のサーバ設定の詳細は、<a href="#">6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定 (P 118)</a>をご参照ください。</p>
	<p><b>Warning:</b> 自動受信の電子メール転送は、受信アイテムのメッセージおよび添付ファイルは暗号化されませんのでご注意ください。</p>

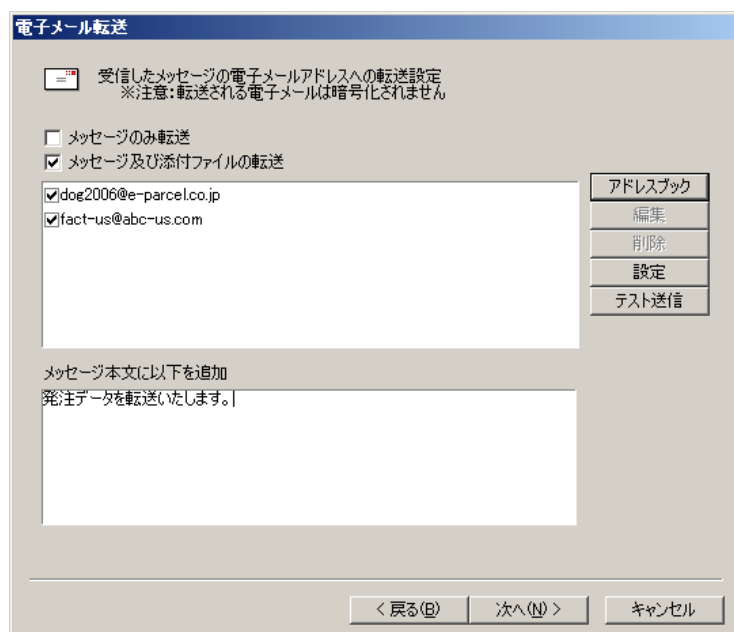


図 114

### 電子メール転送の設定

自動受信した受信アイテムに対して、メッセージおよび添付ファイルを電子メールへ転送をするかどうか選択し設定します。「メッセージのみ転送」または「メッセージ及び添付ファイルの転送」のいずれかチェックボックスに、チェックをしてください（図 114）。

### 電子メール転送先アドレスの設定

- ① 「メッセージのみ転送」または「メッセージ及び添付ファイルの転送」のいずれかチェックすると、「アドレスブック」ボタンの操作が可能となります（図 114）。「アドレスブック」ボタンをクリックするとアドレス帳が表示されますので、転送先の Windows 電子メールアドレス を選択してください。
- ② アドレス帳から転送先の Windows 電子メールアドレス を選択し、「電子メール転送」ダイアログボックスへお戻りください。選択した転送先アドレスがリストアップされます。



**Caution:** 「アドレスブック」ボタンをクリックして表示されるアドレス帳は、VCN CommCenter セットアップの設定によって異なります。“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳”・“使用時ごとに選択” のいずれかに設定されています。設定を変更したい場合は、ツール→セットアップ→一般設定「アドレス帳」にて設定できます。詳細は、[4. 一般設定 \(P36\)](#)をご参照ください。



**Caution:** 自動受信の転送先アドレスは、“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳”のどちらから選択する場合でも、Windows の E-mail アドレスであれば設定は可能です。

#### ●電子メール転送先アドレスの編集

電子メール転送先アドレスの編集は「電子メール転送」ダイアログボックスで行うことができます (図 114)。

- ① 電子メール転送先アドレスを修正する場合は、まず該当アドレスをクリック選択してください。[編集] ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 転送先の E-mail アドレスが直接修正入力できるようになります。修正が完了したら、再び [編集] ボタンをクリックしてください。

#### ●電子メール転送先アドレスの削除

電子メール転送先アドレスの削除は「電子メール転送」ダイアログボックスで行うことができます (図 114)。

- ① 電子メール転送先アドレスを削除する場合は、まず該当のアドレスをクリック選択してください。[削除] ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は [はい] を、そうでない場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。

#### ●メールサーバの設定

電子メール転送を作動させるためには、SMTP サーバの設定が必要となります。「電子メール転送」ダイアログボックスで設定を行うことができます (図 114)。電子メール転送のサーバ設定の詳細は、[6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定 \(P 118\)](#) をご参照ください。

#### ●テスト送信

電子メール転送の設定が終了しましたら、テスト送信ができます。[テスト送信] ボタンをクリックし、電子メール転送の設定をご確認ください (図 114)。

#### メッセージの追加

転送先アドレスにメッセージを追加して電子メール転送することができます。メッセージを追加する場合は、「メッセージ本文に以下を追加します」ボックスにメッセージを入力してください。

「電子メール転送」の設定が終了しましたら、[次へ] ボタンをクリックし [3-5.エラー通知](#) へお進みください。

### 3-5.エラー通知

「エラー通知」ダイアログボックスでは、自動受信機能に起因するエラーが発生した場合、その通知を Windows 電子メールアドレスへ送信することができます（図 115）。

※ エラー通知が必要ない場合は、**次へ** ボタンをクリックし [3-6.電子メール通知\(P110\)](#)へお進みください。

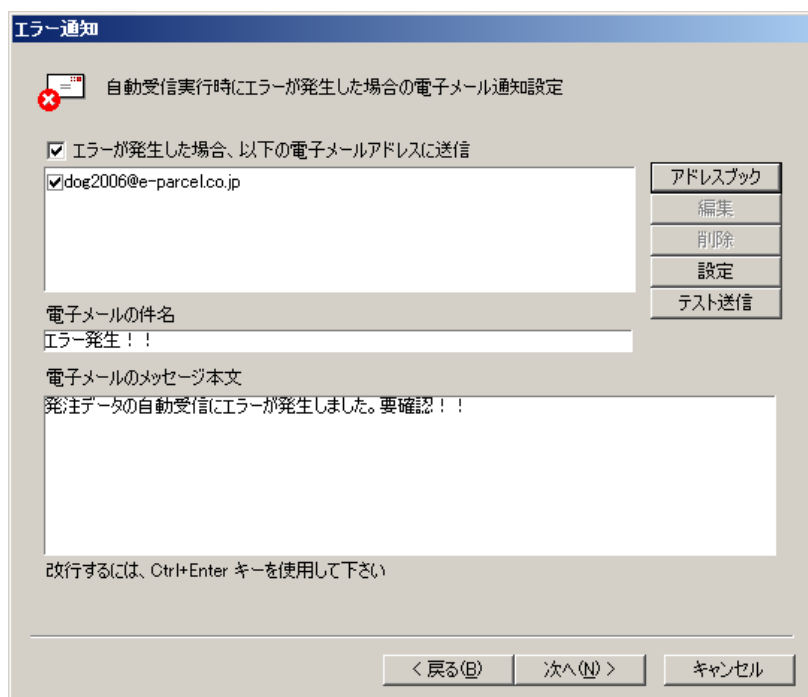


図 115





**Caution:** エラー通知を作動させるためには、SMTP サーバの設定が必要となります。エラー通知のサーバ設定の詳細は、[6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定 \(P 118\)](#)をご参照ください。

### エラー通知先アドレスの設定

「エラー通知」ダイアログボックス(図 115)でエラー通知の設定ができます。

- ① 「エラーが発生した場合、以下の電子メールアドレスに送信」チェックボックスをチェックすると、**アドレスブック** ボタンの操作が可能となります(図 115)。**アドレスブック** ボタンをクリックするとアドレス帳が表示されますので、エラー通知先の Windows 電子メールアドレス を選択してください。
- ② アドレス帳から通知先の Windows 電子メールアドレス を選択し、「エラー通知」ダイアログボックスへお戻りください。選択した通知先アドレスがリストアップされます。

	<p><b>Caution:</b> <input type="text" value="アドレスブック"/> ボタンをクリックして表示されるアドレス帳は、VCN CommCenter セットアップの設定によって異なります。“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳”・“使用時ごとに選択” のいずれかに設定されています。設定を変更したい場合は、ツール→セットアップ→一般設定「アドレス帳」にて設定できます。詳細は、<a href="#">4. 一般設定 (P36)</a>をご参照ください。</p>
	<p><b>Caution:</b> 自動受信のエラー通知先アドレスは、“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳” のどちらから選択する場合でも、Windows の E-mail アドレスであれば設定は可能です。</p>

### ●エラー通知先アドレスの編集

エラー通知先アドレスの編集は「**エラー通知**」ダイアログボックスで行うことができます(図 115)。

- ① エラー通知先アドレスを修正する場合は、まず該当アドレスをクリック選択してください。 ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 通知先の E-mail アドレスが直接修正入力できるようになります。修正が終わりましたら、再び ボタンをクリックしてください。

### ●エラー通知先アドレスの削除

エラー通知先アドレスの削除は「**エラー通知**」ダイアログボックスで行うことができます(図 115)。

- ① エラー通知先アドレスを削除する場合は、まず該当のアドレスをクリック選択してください。 ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は を、そうでない場合は ボタンをクリックしてください。

### ●メールサーバの設定

エラー通知を作動させるためには、SMTP サーバの設定が必要となります。「**エラー通知**」ダイアログボックスで設定を行うことができます(図 115)。エラー通知のサーバ設定の詳細は、[6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定 \(P 118\)](#)をご参照ください。

### ●テスト送信

エラー通知の設定が終了しましたら、テスト送信ができます。 ボタンをクリックし、エラー通知の設定をご確認ください(図 115)。

### 電子メールの件名

エラー通知送信時の電子メールの件名を設定します。「電子メールの件名」ボックスに、エラー一通知先アドレスに送信する電子メールの件名を入力してください。

### 電子メールのメッセージ本文

エラー通知送信時に、メッセージを追加して送信します。「電子メールのメッセージ本文」ボックスに、エラー通知先アドレスに送信するメッセージを入力してください。



**Note:** メッセージを改行する場合は、<Ctrl>+<Enter>を押してください。

「エラー通知」の設定が終了しましたら、**次へ** ボタンをクリックし [3-6.電子メール通知](#) へお進みください。

## 3-6.電子メール通知

「電子メール通知」ダイアログボックスでは、自動受信機能が実行され完了した場合、その通知を Windows 電子メールアドレスへ送信することができます（図 116）。

自動受信の実行が正常または異常のいずれかに拘わらず、通知することが可能です。

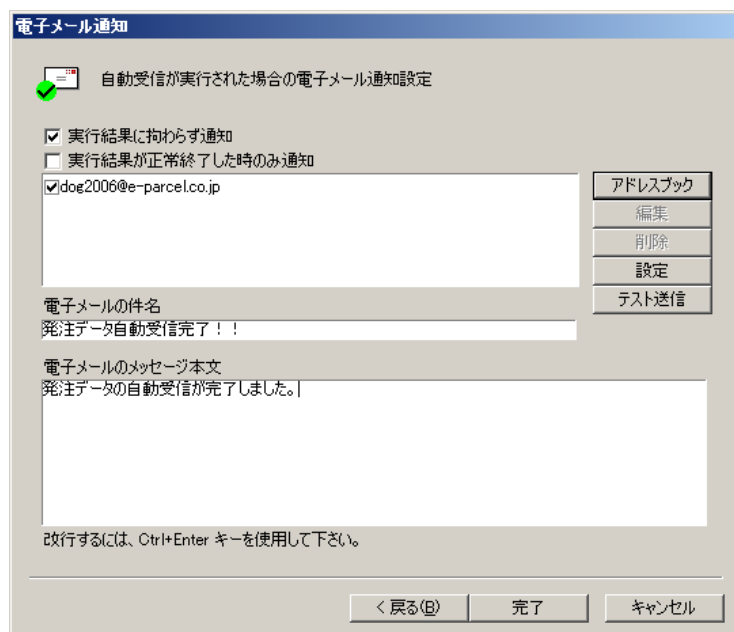



図 116

	<p><b>Caution:</b> 電子メール通知を作動させるためには、SMTP サーバの設定が必要となります。電子メール通知のサーバ設定の詳細は、<a href="#">6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定 (P 118)</a>をご参照ください。</p>
---	--



### 電子メール通知の設定

自動受信機能が実行され完了した場合、その実行結果によって通知をするかどうか選択し設定します。「**実行結果に拘わらず通知**」または「**実行結果が正常終了した時のみ通知**」のいずれかチェックボックスに、チェックをしてください (図 116)。

### 電子メール通知先アドレスの設定

① 「**実行結果に拘わらず通知**」または「**実行結果が正常終了した時のみ通知**」のいずれかにチェックすると、**アドレスブック** ボタンの操作が可能となります (図 116)。**アドレスブック** ボタンをクリックするとアドレス帳が表示されますので、通知先の Windows 電子メールアドレス を選択してください。

② アドレス帳から通知先の Windows 電子メールアドレス を選択し、「**電子メール通知**」ダイアログボックスへお戻りください。選択した通知先アドレスがリストアップされます。

	<p><b>Caution:</b> <b>アドレスブック</b> ボタンをクリックして表示されるアドレス帳は、VCN CommCenter セットアップの設定によって異なります。“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳”・“使用時ごとに選択” のいずれかに設定されています。設定を変更したい場合は、e-Parcel メニューバー→セットアップ→一般設定「アドレス帳」にて設定できます。詳細は、<a href="#">4. 一般設定 (P36)</a>をご参照ください。</p>
	<p><b>Caution:</b> 自動受信の通知先アドレスは、“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳” のどちらから選択する場合でも、Windows の E-mail アドレスであれば設定は可能です。</p>

### ●電子メール通知先アドレスの編集

電子メール通知先アドレスの編集は「**電子メール通知**」ダイアログボックスで行うことができます (図 116)。

- ① 電子メール通知先アドレスを修正する場合は、まず該当アドレスをクリック選択してください。**編集** ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 通知先の E-mail アドレスが直接修正入力できるようになります。修正が終わりましたら、再び **編集** ボタンをクリックしてください。



## ●電子メール通知先アドレスの削除

電子メール通知先アドレスの削除は「**電子メール通知**」ダイアログボックスで行うことができます(図 116)。

- ① 電子メール通知先アドレスを削除する場合は、まず該当のアドレスをクリック選択してください。**削除** ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は **はい** を、そうでない場合は **いいえ** ボタンをクリックしてください。

## ●メールサーバの設定

電子メール通知を作動させるためには、E-mail SMTP サーバの設定が必要となります。「**電子メール通知**」ダイアログボックスで設定を行うことができます(図 116)。電子メール通知のサーバ設定の詳細は、[6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定 \(P 118\)](#)をご参照ください。

## ●テスト送信

電子メール通知の設定が終了しましたら、テスト送信ができます。**テスト送信** ボタンをクリックし、電子メール通知の設定をご確認ください(図 116)。

## 電子メールの件名

電子メール通知送信時の電子メールの件名を設定します。「**電子メールの件名**」ボックスに、電子メール通知先アドレスに送信する電子メールの件名を入力してください。

## 電子メールのメッセージ本文

電子メール通知送信時に、メッセージを追加して送信します。「**電子メールのメッセージ本文**」ボックスに、電子メール通知先アドレスに送信するメッセージを入力してください。



**Note:** メッセージを改行する場合は、<Ctrl>+<Enter>を押してください。

これで、自動受信条件（エントリー）のすべての設定が完了しました。

設定を保存するために **完了** ボタンをクリックしてください。「自動受信」画面に戻り、自動受信条件（エントリー）が表示されます。

設定した条件に合致したアイテムを受信した際、自動受信条件（エントリー）が動作開始します。



## 4. 条件のエクスポート

VCN CommCenter の自動受信機能 では、すでに作成された自動受信条件（エントリー）をエクスポートすることができます（図 117）。自動受信条件（エントリー）のエクスポートは、複数のユーザーに同じ自動受信条件を設定する必要がある場合に、ご活用いただけます。

自動受信条件（エントリー）のエクスポートには、2つのオプションが選択できます。このオプションによって「選択したエントリーをエクスポート」または「全てのエントリーをエクスポート」するかのどちらかを設定します（図 118）。

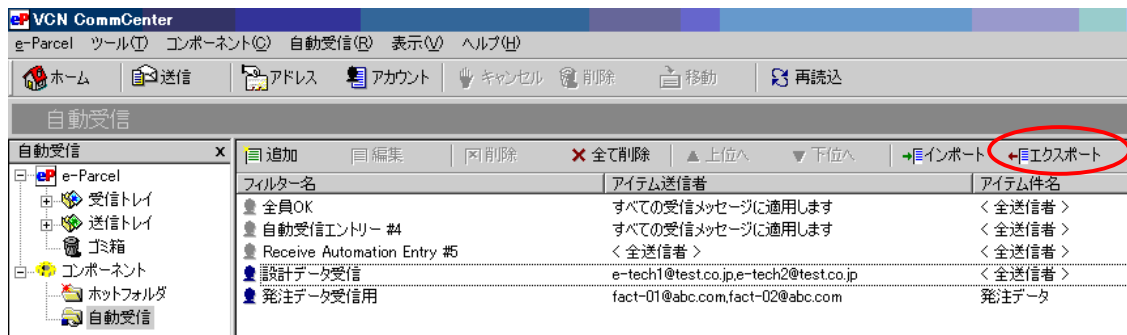


図 117

### 4-1. 選択した自動受信条件(エントリー)をエクスポート

このオプションを選択すると、「自動受信」画面にリストアップされている単一もしくは複数の自動受信条件（エントリー）をエクスポートすることができます。

- ① 「自動受信」画面にリスト表示されているエクスポートしたい自動受信条件（エントリー）をクリック選択し、自動受信ツールバー「エクスポート」ボタンをクリックしてください（図 117）。



**Note:** 同時に複数の自動受信条件（エントリー）を選択する場合は、<Ctrl> ボタンを押しながらマウスでファイルを選択してください。

- ② 「エクスポート」ダイアログボックスが、表示されます。「以下のファイルに選択したエントリーをエクスポート」チェックボックスをクリックしてください（図 118）。**ファイル選択** ボタンが操作可能となりますので、クリックしてください。

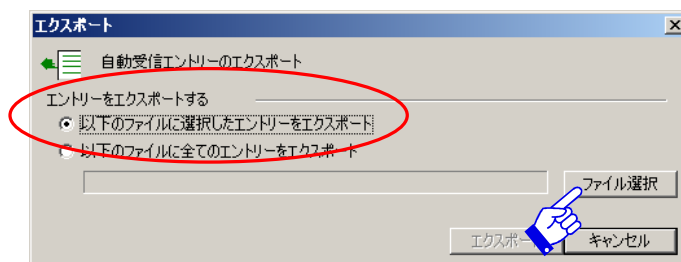


図 118

- ③ 「エクスポートファイルを選択、または作成してください。」ダイアログボックスが表示されます（図 119）。ファイルを保存する場所を選択し、エクスポートする自動受信条件（エントリー）のファイル名を入力してください。ファイル名と保存場所を設定した後、**開く** ボタンをクリックしてください。

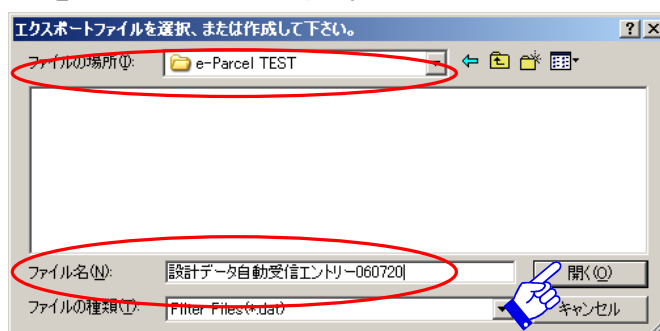


図 119



**Note:** 複数の自動受信条件（エントリー）を選択し、エクスポートした場合、ひとつの(\*.dat)ファイルとしてエクスポートされます。インポートした時点で、複数の自動受信条件（エントリー）としてインポートされます。

- ④ 「エクスポート」ダイアログボックスへ戻り、エクスポートする自動受信条件（エントリー）の保存場所が表示されます（図 120）。ここで、自動受信条件（エントリー）のエクスポートを実行するには、**エクスポート** ボタンをクリックしてください。（\*.dat）拡張子のついたファイル形式で指定した保存場所へエクスポートされます。

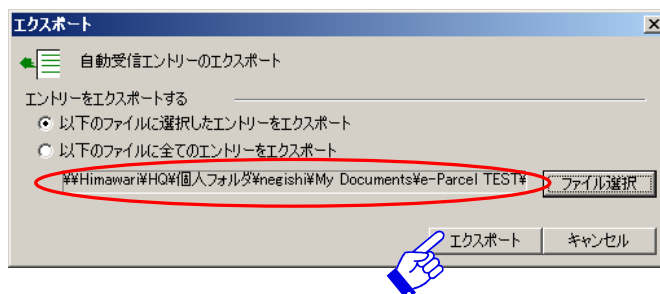


図 120

## 4-2.全ての条件をエクスポートする

このオプションを選択すると、自動受信機能画面（図 117）にリストされている全ての自動受信条件をエクスポートさせることができます。

- ① 「自動受信」画面の自動受信ツールバー「エクスポート」ボタンをクリックしてください（図 117）。
- ② 「エクスポート」ダイアログボックスが、表示されます。「以下のファイルに全てのエントリーをエクスポート」チェックボックスをクリックしてください（図 121）。「ファイル選択」ボタンが操作可能となりますので、クリックしてください。

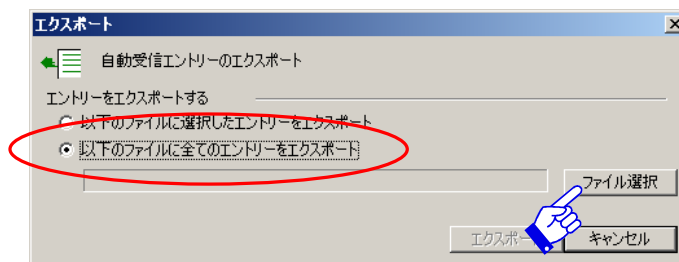


図 121

- ③ 「エクスポートファイルを選択、または作成してください。」ダイアログボックスが、表示されます（図 119）。ファイルを保存する場所を選択し、エクスポートする自動受信条件（エントリー）のファイル名を入力してください。ファイル名と保存場所が設定されたら「開く」ボタンをクリックしてください。



**Note:** 全ての自動受信条件（エントリー）をエクスポートする場合、ひとつの(\*.dat)ファイルとしてエクスポートされます。インポートした時点で、複数の自動受信条件（エントリー）としてインポートされます。

- ④ 「エクスポート」ダイアログボックスへ戻り、エクスポートする自動受信条件（エントリー）の保存場所が表示されます（図 122）。ここで、自動受信条件（エントリー）のエクスポートを実行するには、「エクスポート」ボタンをクリックしてください。(\*.dat)拡張子のついたファイル形式で指定した保存場所へエクスポートされます。

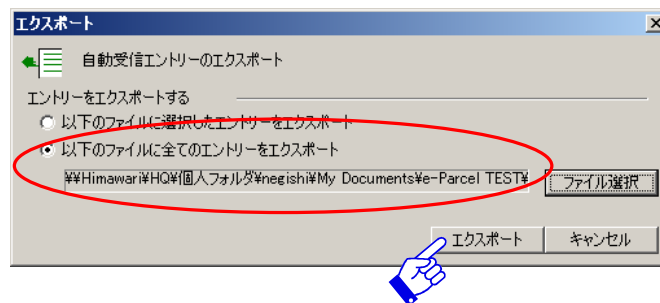


図 122

## 5. 条件のインポート

VCN CommCenter の自動受信機能 では、他のクライアントソフトで作成しエクスポートされた自動受信条件（エントリー）をインポートすることができます。エクスポートについては、[4. 条件のエクスポート\(P113\)](#)をご参照ください。

- ① 「自動受信」画面の自動受信ツールバー **インポート** ボタンを、クリックしてください（図 123）。

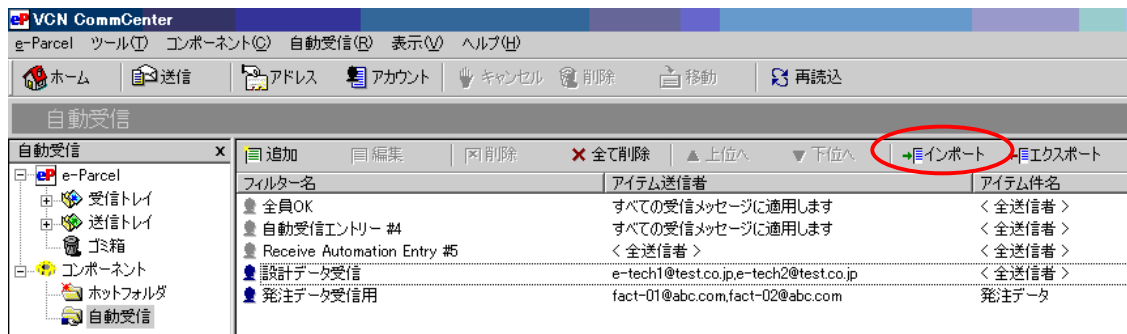


図 123

- ② 「インポート」ダイアログボックスが表示されます（図 124）。まず、インポートする自動受信条件（エントリー）が作成された e-Parcel クライアントソフトのバージョンが、VCN CommCenter3.x 以上かどうかをご確認ください。

バージョンが、VCN CommCenter 3.x 以上の場合は、「**VCN CommCenter3.x 以降からインポート**」を、それ以下のバージョンの場合は、「**e-Parcel クライアント 2.5 からインポート**」をチェックしてください。バージョンをチェックすると **ファイル選択** ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。

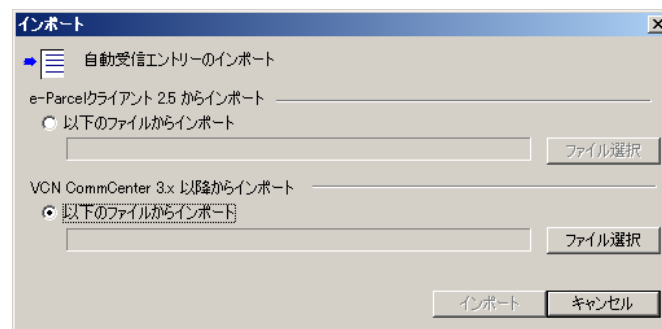


図 124

※ バージョンが不明な場合は、その自動受信条件ファイルを作成（条件をエクスポート）した方へご確認ください。



**Note:** e-Parcel クライアントソフトのバージョンの確認は、e-Parcel メニューバーよりヘルプ → VCN CommCenter についてを選択すると表示されます。

- ③ 「インポートファイルを選択」ダイアログボックスが表示されます（図 125）。ここでインポートする自動受信条件（エントリー）ファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックしてください。「インポート」ダイアログボックスへ戻り、ファイル場所と名前が表示されますので、ご確認ください。

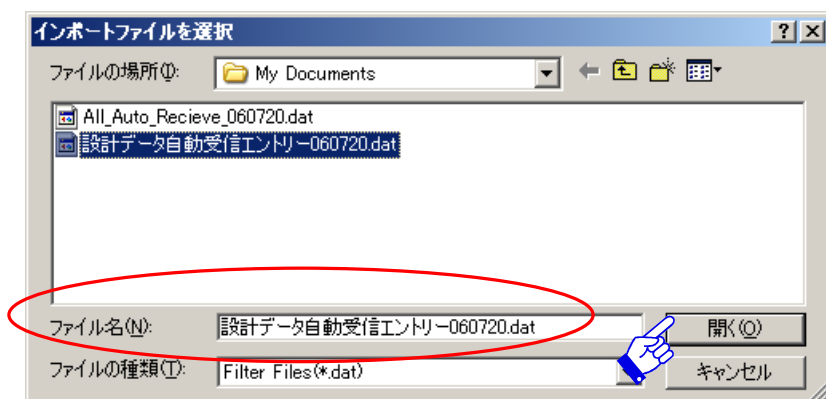


図 125

- ④ **インポート** ボタンをクリックすると、自動受信条件（エントリー）ファイルがインポートされます（図 126）。インポートされた自動受信条件（エントリー）が「自動受信」画面にリストアップされますのでご確認ください。

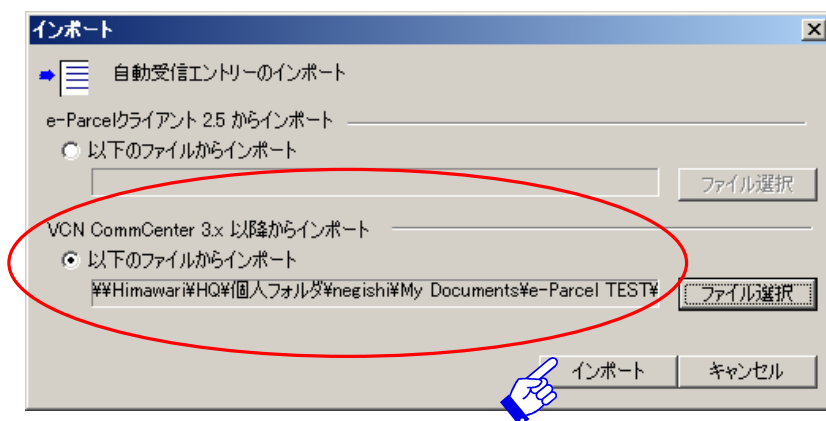


図 126

## 6. 自動受信で利用する E-mail サーバの設定

### 6-1. 電子メールサーバの設定

自動受信機能で「電子メール転送」「エラー通知」「電子メール通知」を設定するためには、メールサーバは SMTP を使用している必要があります。さらに、メールサーバが認証を必要とする場合は“ログイン ID”・“パスワード”の設定が必要になります。以下、詳細な設定についてご説明いたします。



**Note:** 自動受信の「電子メール転送」「エラー通知」「電子メール通知」機能にて使用する E-mail サーバの設定をする場合、いずれのダイアログボックスの **設定** ボタンからでも、電子メールサーバ設定をすることが可能です。

※ なお、メールサーバの設定に関してよく分からない場合は、ユーザーのシステム管理者にご相談ください。

- ① 自動受信機能の「電子メール転送」「エラー通知」「電子メール通知」いずれかのダイアログボックスから **設定** ボタンをクリックし、適切なメールサーバを指定します (図 127)。

※ なお、メールサーバの設定に関してよく分からない場合は、ユーザーのシステム管理者にご相談ください。

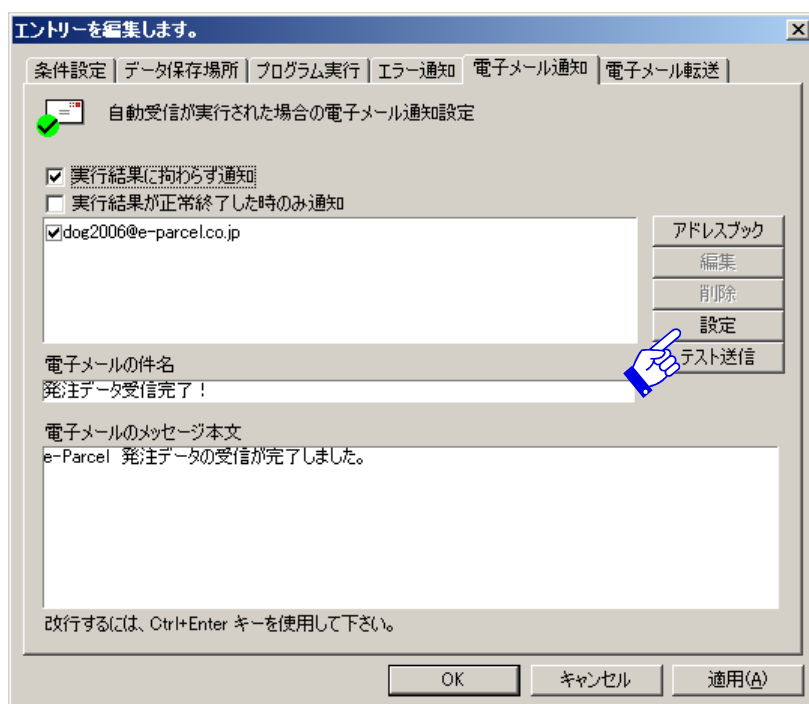


図 127

- ② 「メールサーバの設定」ダイアログボックスが表示されます (図 128)。自動受信機能で通知サービスをご利用いただくためには電子メールサーバ名とポート番号を設定します。

**ポート番号：** サーバのポート番号を入力してください。初期設定として 25 番が入力されています。ほとんどのメールサーバで使用されている番号ですが、もし異なる場合は、正しいポート番号を入力してください。

**電子メール言語：** 電子メール言語の設定をします。初期設定として日本語が選択されています。英語を使用する場合は、ドロップダウンボタンをクリックしてお選びください。

- ③ 新規メールサーバを指定するために **新規追加** ボタンをクリックしてください (図 128)。

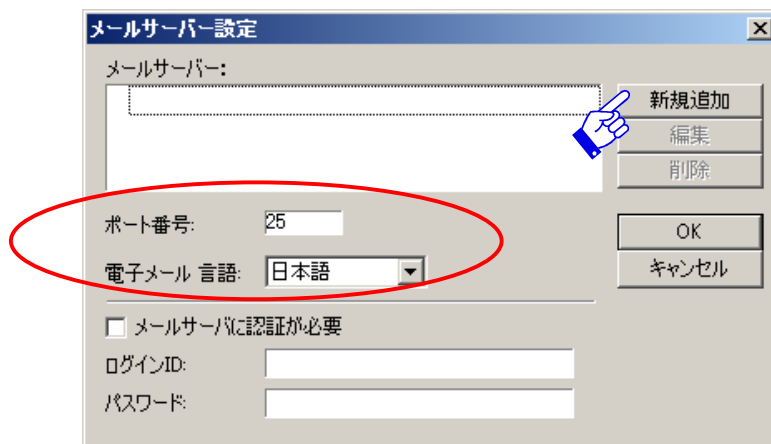


図 128



**Note:** 複数のメールサーバが登録されていても、ポート番号はひとつのみしかサポートしておりませんのでご注意ください。

- ④ 「電子メールサーバの追加」ダイアログボックスが表示されます (図 129)。「有効なメールサーバ名またはメールサーバ IP アドレス」を入力してください。入力後、**追加** ボタンをクリックしてください。

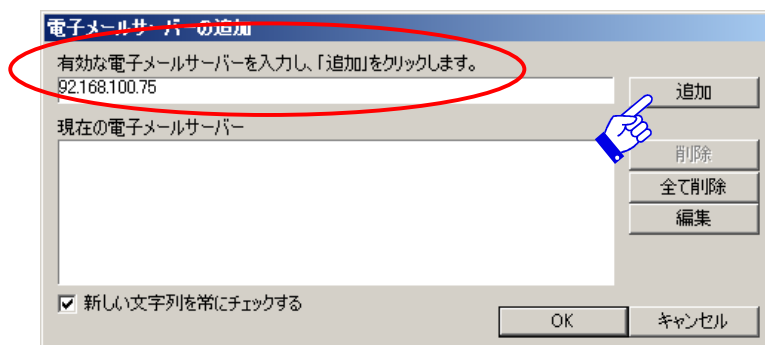


図 129



- ⑤ 追加したサーバ名が、「現在の電子メールサーバ」ボックスにリストアップして表示されます。メールサーバをリストし終わったら、**OK** ボタンをクリックして「メールサーバの設定」ダイアログボックス（図 130）にお戻りください。

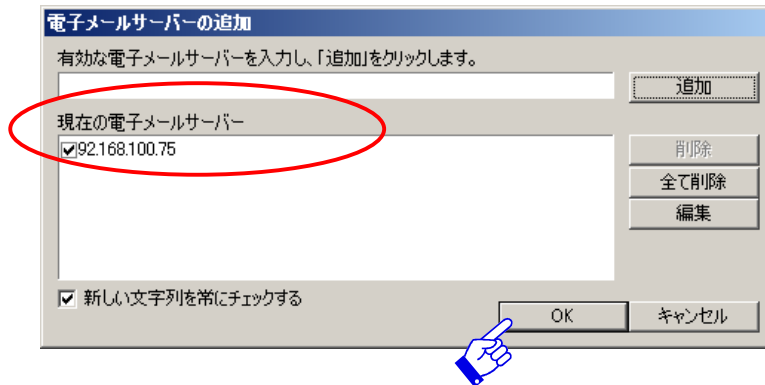


図 130



**Note:** 通知先アドレスによって異なるメールサーバを設定する等、必要な度ごとにこのプロセスを繰り返してください。

- ⑥ 「メールサーバの設定」ダイアログボックスに新規追加したサーバが、「メールサーバ」にリストアップして表示されます。使用メールサーバにチェックマークが付いていることをご確認ください（図 131）。
- ⑦ ご使用されるメールサーバが、認証を必要としない場合、**OK** をクリックし、メールサーバの設定を完了してください。
- メールサーバが認証を必要とする場合は、「メールサーバに認証が必要」ボックスにチェックし“ログイン ID”・“パスワード”を入力してください（図 131）。入力したら **OK** をクリックし、メールサーバの設定を完了してください。

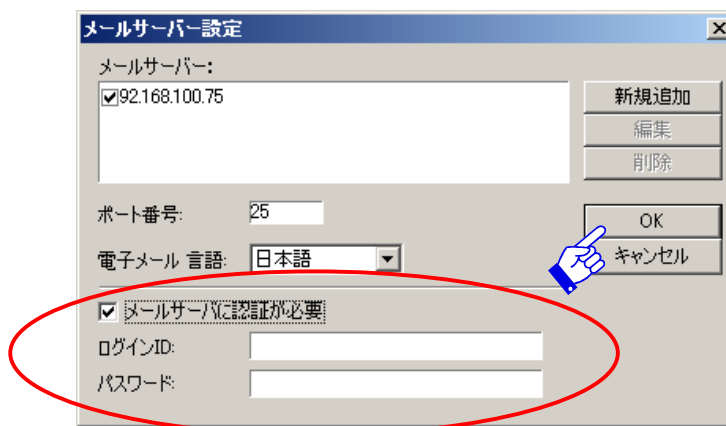


図 131

## 6-2.現在の電子メールサーバの編集

- ① 設定されている電子メールサーバ名を修正する場合は、まず、該当の電子メールサーバ名をクリック選択してください。
- ② 電子メールサーバ名を選択すると「編集」ボタンの操作が可能になりますので、続けて「編集」ボタンをクリックしてください。
- ③ これで、電子メールサーバ名が反転し修正可能となりますので、電子メールサーバ名を直接修正入力してください。(図 132)。修正が終了しましたら、再度、「編集」ボタンをクリックし、編集内容を確定させてください。

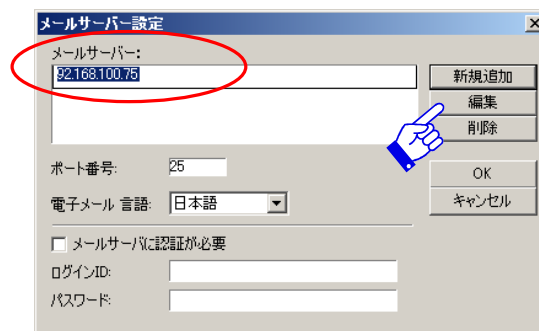


図 132

## 6-3.現在の電子メールサーバの削除

- ① 設定されている電子メールサーバ名を削除する場合は、まず、該当の電子メールサーバ名をクリック選択してください(図 133)。
- ② 電子メールサーバ名を選択すると「削除」ボタンの操作が可能になりますので、続けて「削除」ボタンをクリックしてください。
- ③ 削除の確認メッセージが表示されます。そのまま削除をする場合は「はい」を、そうでない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

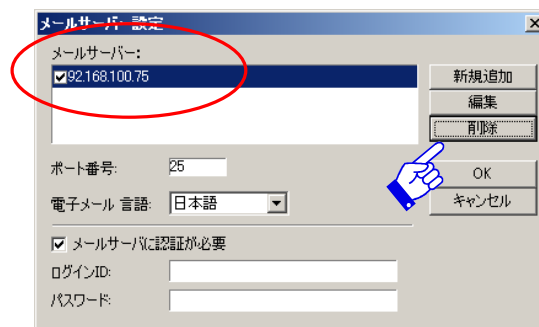


図 133

## 6-4.全ての電子メールサーバの削除

- ① 設定されている全ての電子メールサーバを削除する場合は、「メールサーバの設定」画面から **新規追加** をクリックしてください（図 134）。

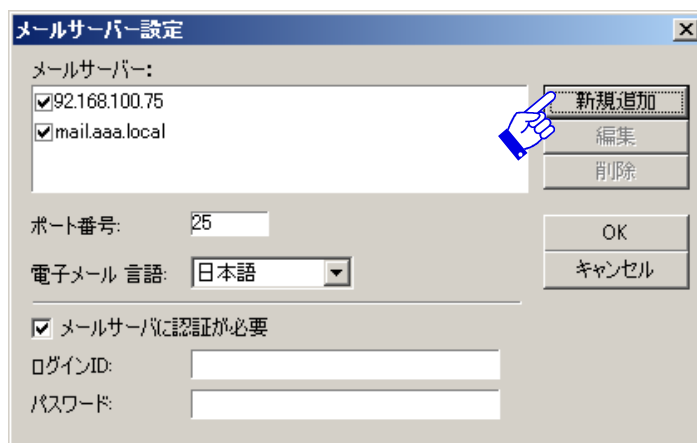


図 134

- ② 「電子メールサーバの追加」画面が表示されますので、**全て削除** ボタンをクリックすると、設定されているメールサーバが全て「現在の電子メールサーバ」ボックスから消去されます（図 135）。

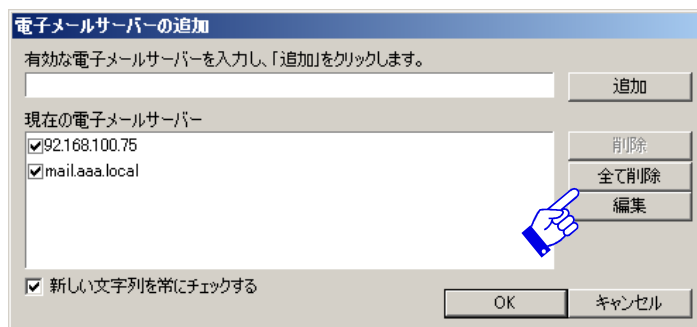


図 135

- ③ そのまま全て削除をする場合は **OK** を、そうでない場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください（図 135）。「メールサーバの設定」画面へ戻ります。

## 9 ホットフォルダコンポーネント

VCN CommCenter1に装備されているホットフォルダコンポーネントは、対象ホットフォルダとして設定されたフォルダ内へファイルをコピー/移動することで、あらかじめ指定したe-Parcel ユーザーID へ自動的にデータを送信させることができる機能です。

### 1. ホットフォルダ画面の表示

ホットフォルダ の設定をする場合、まず VCN CommCenter 画面左上のフォルダ表示のコンポーネントより“ホットフォルダ”をクリックするか、e-Parcel メニューバー「コンポーネント」→「ホットフォルダ」→「エントリー表示」を選択して、「ホットフォルダ」画面を表示させてください（図 136）。



図 136

#### 「ホットフォルダ」画面

メニューバーに“ホットフォルダ”メニューが追加され“ホットフォルダ ツールバー”と呼ばれる別のメニューを伴った「ホットフォルダ」画面が表示されます。すでに“ホットフォルダ条件(エントリー)”が設定されている場合、エントリーがリストアップされます（図 137）。

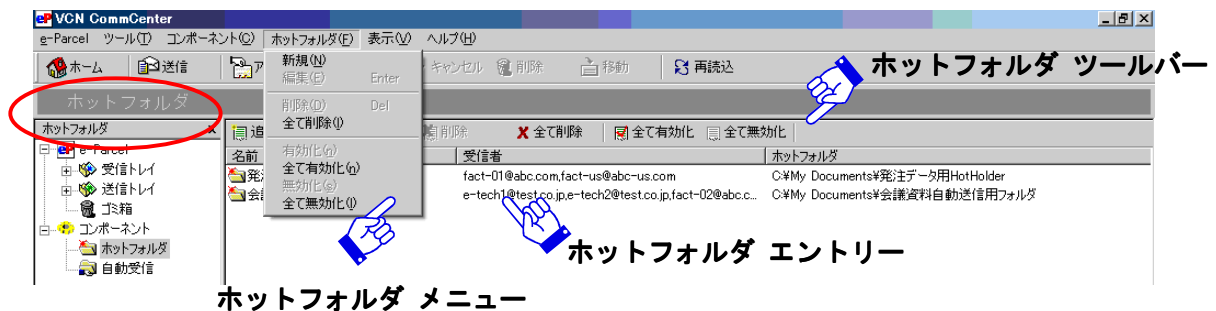


図 137

## 2. ホットフォルダ画面のメニュー

ホットフォルダ機能をご活用いただくために “ホットフォルダ” メニューと独自の “ホットフォルダツールバー” が設けられています (図 137)。

### 2-1. ホットフォルダ ツールバー

- **追加 (新規)** — 新しいホットフォルダ条件 (エントリー) を作成するためのボタンです。設定方法の詳細については [3. ホットフォルダエントリーの設定 \(P125\)](#) をご参照ください。
- **編集** — このボタンは、設定されたホットフォルダのエントリーがひとつ選択されているときに操作可能となります。  ボタンをクリックすると「ホットフォルダ」ダイアログボックスが表示されます (図 140)。設定方法の詳細については [3. ホットフォルダエントリーの設定 \(P125\)](#) をご参照ください。
- **削除** — このボタンは、設定されたホットフォルダ条件 (エントリー) が選択されているときに操作可能となります。  ボタンをクリックすると、削除確認ダイアログボックスが表示されます。そのまま削除する場合は  ボタンを、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。
- **全て削除** — このボタンは、いつでも操作可能です。すべてのホットフォルダ条件 (エントリー) を削除したい場合にクリックしてください。  ボタンをクリックすると、削除確認ダイアログボックスが表示されます。そのまま全て削除する場合は  ボタンを、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。
- **全て有効化** — 現在エントリーされているホットフォルダを全て使用できるようにします。
- **全て無効化** — 現在エントリーされているホットフォルダを全て使用不可にします。

### 2-2. ホットフォルダ メニュー

“ホットフォルダ” メニューは、“ホットフォルダツールバー” と同様の機能がメニューから選択できます。ツールバーにはないメニュー (設定機能) のみここでご説明します。

- **有効化** — 選択されたエントリーを使用できるようにします。
- **無効化** — 選択されたエントリーを使用不可にします。

### 3. ホットフォルダエントリーの設定

ホットフォルダ機能を作動させるためには、ホットフォルダ条件（エントリー）を設定する必要があります。ホットフォルダとして設定されたフォルダへ、ファイルまたはフォルダをコピーまたは移動した場合、e-Parcel ユーザーID へ自動的に送信させることができます。



**Note:** VCN CommCenter 標準装備では、ホットフォルダ条件（エントリー）は、63エントリーまで設定することができます。ホットフォルダを64エントリー以上設定する場合は、別途弊社までご相談ください。

ホットフォルダツールバーから「追加」ボタンをクリックするか（図 138）、ホットフォルダメニュー「ホットフォルダ」→「新規」を選択し、メインディスプレイに「ホットフォルダ」ダイアログボックスを表示させてください（図 139）。「ホットフォルダ」ダイアログボックスが表示され、新しくホットフォルダ条件（エントリー）を作成することができます（図 140）。



図 138



図 139

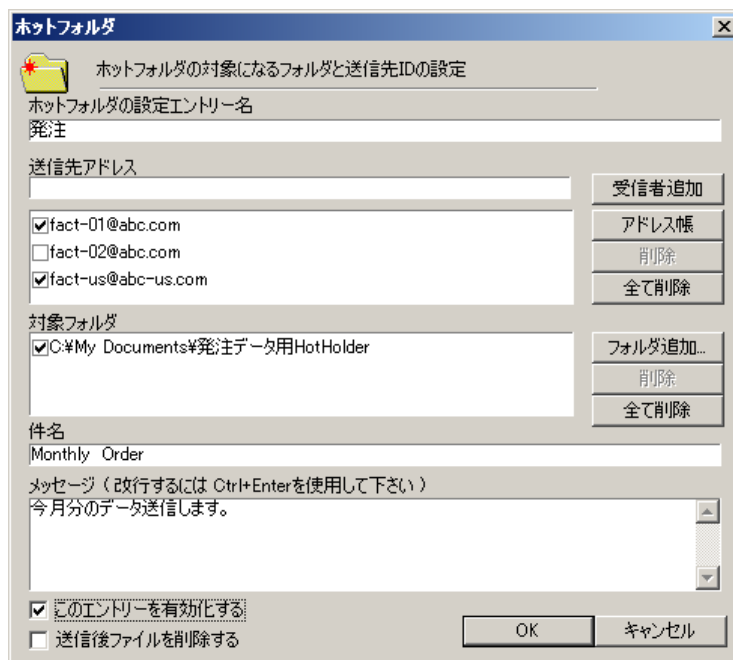


図 140

### 3-1. ホットフォルダエントリー名

「ホットフォルダの設定エントリー名」ボックスへ、エントリー名を入力してください。ホットフォルダエントリー名は識別のためのみに使用しますので、お客様の管理しやすい名前を付けてください（図 140）。

### 3-2. 送信先アドレス




「送信先アドレス」ボックスで、送信先アドレスの設定をします（図 140）。

#### 受信者追加

「送信先アドレス」ボックス上段に、送信先ユーザーID を直接入力してください（図 140）。入力した後、**受信者追加** ボタンをクリックをすると、送信先ユーザーID がリストアップされます。


#### アドレス帳

- ① アドレス帳から送信先ユーザーID を追加することもできます。**アドレス帳** ボタンをクリックするとアドレス帳が表示されますので、送信先ユーザーID を選択してください。
- ② アドレス帳から送信先ユーザーID をクリック選択後、**選択** ボタンを押してください。「ホットフォルダ」ダイアログボックスへ戻り、選択した送信先ユーザーID がリストアップされます。

	<b>Note:</b> 同時に複数のユーザーID を選択する場合は、<Ctrl>キーを押しながらマウスで選択してください。
	<b>Caution:</b> <input type="text" value="アドレスブック"/> ボタンをクリックして表示されるアドレス帳は、VCN CommCenter セットアップの設定によって異なります。“e-Parcel アドレス帳”・“Windows アドレス帳”・“使用時ごとに選択” のいずれかに設定されています。設定を変更したい場合は、ツール→セットアップ→一般設定「アドレス帳」にて設定できます。詳細は、 <a href="#">4. 一般設定 (P36)</a> をご参照ください。
	<b>Tip:</b> 設定しました個々の送信先ユーザーID の前に、チェックボックスがあります。チェックをすると有効となり、ホットフォルダ機能が作動することになります。リストには残しておきたいが、ここでその送信先ユーザーID を指定したくない場合は、該当ユーザーID の先頭のチェックマークを外してください。その送信先ユーザーID にホットフォルダ機能は作動しなくなります。

### アドレスの削除

- ① 送信先ユーザーID を削除する場合は、まず該当ユーザーID をクリック選択してください。  
 ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は  を、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。

	<b>Note:</b> 複数のユーザーID を選択するには、<Ctrl>キーを押しながらマウスでユーザーID を選択してください
---	---




### アドレスを全て削除する

全ての送信先ユーザーID を削除したい場合は、そのまま  ボタンをクリックするだけで、全て削除することが可能です。(送信先ユーザーID をクリック選択する必要はありません。)  ボタンをクリックすると、削除確認ダイアログボックスが表示されますので、そのまま全て削除する場合は 、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。

## 3-3. 対象フォルダ

「ホットフォルダ」ダイアログボックスの「対象フォルダ」ボックスで、ホットフォルダとして設定をするフォルダを選択します (図 140)。



	<p><b>Caution:</b> ホットフォルダは、そのホットフォルダを設定した e-Parcel のインストールされているコンピュータ内でのみ利用することを前提に開発されているため、そのコンピュータ内にある共有フォルダをホットフォルダとして設定された場合、他のコンピュータからのドラッグ・コピー・移動操作による動作保証はされておりません。また、同様の理由により、ネットワークドライブをホットフォルダに設定された場合も、動作保証はされておりません。</p>
	<p><b>Caution:</b> Windows 7 以降のコンピュータにインストールされている VCN CommCenter でネットワークドライブ上にホットフォルダを設定すると正常に動作しなくなる場合があることが報告されています。</p>
	<p><b>Caution:</b> 異なるエントリーで同じフォルダをホットフォルダに設定した場合は、最上位に位置するエントリーの設定が有効となります。</p>

## フォルダの追加

「対象フォルダ」ボックスの「フォルダ追加」ボタンをクリックし、ホットフォルダとして設定するフォルダを選択します（図 140）。「ディレクトリを選択してください。」ダイアログボックスにて対象フォルダを選択したら「OK」ボタンをクリックしてください（図 141）。「対象フォルダ」ボックスに選択したフォルダがリストアップされます（図 140）。

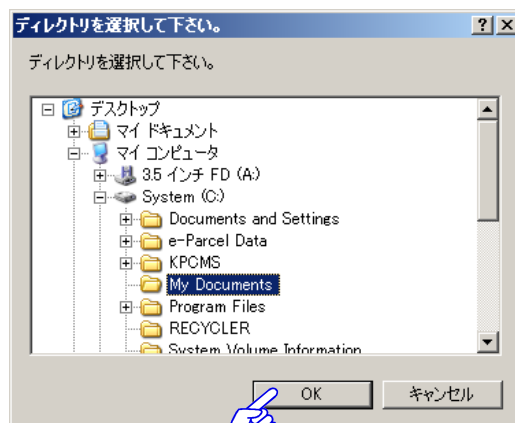



図 141

	<p><b>Tip:</b> ひとつのホットフォルダエントリーには、ひとつのフォルダのみ設定が可能です。「対象フォルダ」ボックス内には、複数のフォルダを登録できますが、その内チェックボックスにチェックがついたひとつが有効となり、ホットフォルダ機能が作動します。リストには残しておきたいが、ここでそのフォルダを設定したくない場合は、該当ホットフォルダのチェックマークを外してください。そのフォルダにホットフォルダ機能は作動しなくなります。</p>
---	--

## フォルダの削除

- ① フォルダを削除する場合は、まず該当フォルダをクリック選択してください。 ボタンの操作が可能となりますので、クリックしてください。
- ② 削除の確認メッセージが表示されますので、削除をする場合は  を、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。



**Note:** 複数のフォルダを選択するには、<Ctrl>キーを押しながらマウスでユーザーIDを選択してください

## 全てのフォルダを削除

全てのフォルダを削除したい場合は、そのまま  ボタンをクリックするだけで、全て削除することが可能です。(フォルダをクリック選択する必要はありません。) 削除確認ダイアログボックスが表示されますので、そのまま全て削除する場合は 、そうでない場合は  ボタンをクリックしてください。

## 3-4.件名の入力

ホットフォルダ送信時の件名を設定します。「**件名**」ボックスに入力をしてください(図 140)。

## 3-5.メッセージの入力

ホットフォルダ機能作動時に、メッセージを同時に送信できます。「**メッセージ**」ボックスに、送信するメッセージを入力してください(図 140)。





**Note:** メッセージを改行する場合は、<Ctrl+Enter>を押してください。

## 3-6.エントリーを有効化する

初期設定では「**このエントリーを有効化する**」になっています。ホットフォルダエントリーの実行を中止する場合は、チェックボックスからチェックをはずしてください(図 140)。

## 3-7.送信後ファイルを削除する

「**送信後ファイルを削除する**」にチェックを入れると、ホットフォルダエントリーの実行後ホットフォルダへコピー/移動し送信したファイルが削除されます(図 140)。

	<b>Warning:</b> このオプションを使用するとファイルは復旧できません。ファイルを削除する場合、別の場所に元のファイルをバックアップしておくことをお勧めします。
	<b>Warning:</b> このオプションにチェックした場合でも、書き込み制限のある（読み取り専用）のデータをホットフォルダへコピー/移動し送信した際、このオプションは適用されません。

これで、ホットフォルダエントリーのすべての設定が完了しました。

設定を保存するために **OK** ボタンをクリックしてください。「ホットフォルダ」画面に戻り、設定されたホットフォルダエントリーが表示されます。

“ホットフォルダ”として設定した対象フォルダに、ファイル/フォルダをコピーおよび移動することによって、自動的に指定された送信先ユーザーIDへ送信が開始されます。



	<b>Tip:</b> 複数のフォルダ/ファイルを一度に送信したい場合、 <u>ひとつのファイルにまとめてから、ホットフォルダへコピー/移動を行うこと</u> をお勧めします。ひとつのファイルにまとめることが難しい場合、複数のフォルダ/ファイルを同時に選択し、一度にホットフォルダへコピー/移動を行うことも可能ですが、手動での操作性を考慮し、できるだけ、ひとつのフォルダにまとめてからホットフォルダへコピー/移動を行ってください。
	<b>Caution:</b> 複数のフォルダ/ファイルを一度に送信したい場合でも、個々に選択し、その都度連続してホットフォルダへコピー/移動を行うと、すべてのコピー/移動が完了する前に、複数アイテムに分かれて送信されることがあります。コピー/移動が完了したフォルダやファイルから順次送信が開始されるためです。（送信単位はフォルダやファイルの種類やサイズにより、「1フォルダ（ファイル）～全フォルダ（ファイル）」の間で異なります。）
	<b>Caution:</b> お客様の上位アプリケーションから送信したいファイルを直接生成し自動送信を行う運用をお考えの場合、一旦、ホットフォルダとは異なる場所（フォルダ）を保存先として指定してください。生成されるデータの保存先を直接ホットフォルダへ設定した場合の動作保証はされておりません。必ずファイルの生成（保存）が正常に完了された後、ホットフォルダへコピー/移動し自動送信する方法での運用を行ってください。
	<b>Caution:</b> VCN CommCenter では、0バイトのファイルは送受信できません。また、合計容量が0バイトのデータが、ホットフォルダへコピー/移動された場合、送信されません。

## 付録 1. e-Parcel My VCN のご利用方法

### OVCN ログインページ

e-Parcel とご契約いただきますと、まず、ユーザー登録を行い“ユーザーID”が発行されます。

“e-Parcel Virtual Communications Network (VCN)” Web ページへ、“ユーザーID” “パスワード”を入力しログインすることによって、電子証明書およびクライアントソフトウェアをダウンロードすることが可能となり、サービスのご利用を開始いただけます。また、お客様のご登録情報（プロフィール）を確認・修正する場合、および受信トレイと送信トレイのアイテム送受信履歴もこちらのページからログインし該当メニューより操作してください。

- ① e-Parcel VCN へログインするには、Web ブラウザで、e-Parcel ホームページ (<http://www.e-parcel.co.jp/>)よりメニュー「VCN ログイン」へお越しください。
- ② 「VCN ログインページ」が表示されます（図 142）。
- ③ ログインページ下段の「User Login - My VCN」欄にお客様の“ユーザーID”と“パスワード”を入力し、**ログイン** ボタンをクリックしてください（図 142）。

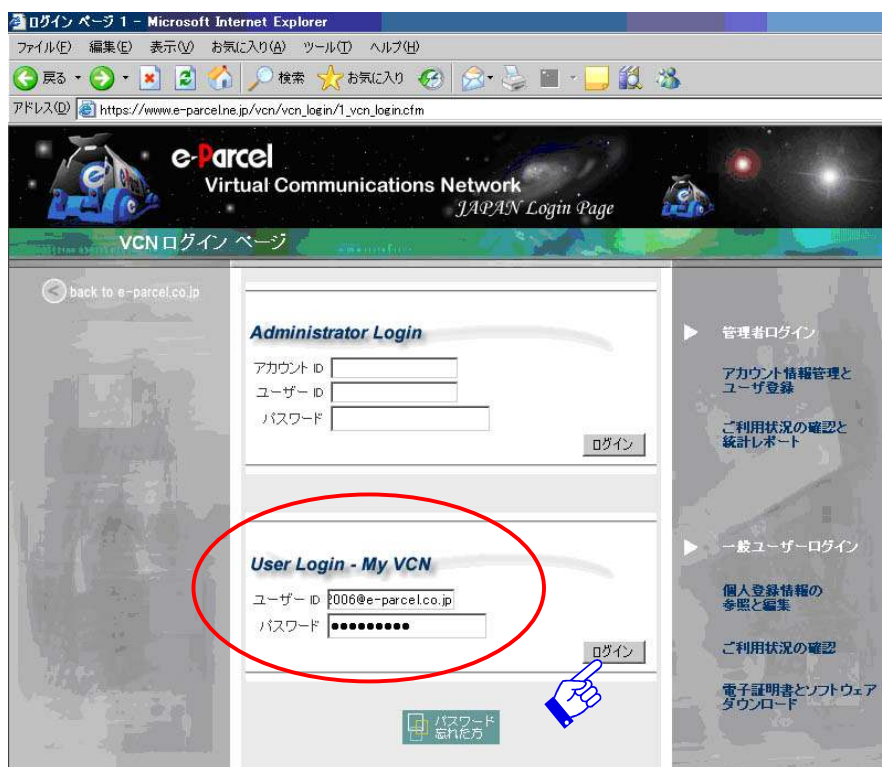


図 142

## OMy VCN・ユーザー登録情報

ユーザーログインすると「My VCN ・ユーザー登録情報」（登録情報参照）画面が表示されます（図 143）。登録されているユーザー情報を確認できます。ユーザー情報を変更する場合は、左のナビゲーションメニューの【登録情報編集】をクリックしてください。詳細は、[OMy VCN ・ユーザー登録情報編集 \(P133\)](#)をご参照ください。



図 143

## OMy VCN・ユーザー登録情報編集

「My VCN ・ユーザー登録情報編集」画面では、「ユーザーID」以外のユーザー登録情報を修正することができます（図 144）。





図 144

現在 e-Parcel に登録されているユーザー情報のうち、以下に挙げた項目を修正することができます。

- ✦ **姓・名(必須)** - ここにお客様の姓名をご入力ください。(英名の場合は、「姓」欄に名を、「名」欄に姓を入力ください。また、「姓」「名」それぞれ途中にスペースを挿入する場合、1半角スペースのみ挿入可能です。)

- **会社名** – ここにお客様の会社名をご入力ください。
- **電話番号** – ここにはお客様の電話番号をご入力ください。  
(緊急の場合のみご連絡させていただきます。)
- **Eメール(必須)** – ここにはお客様の E-mail アドレスをご入力ください。e-Parcel のお知らせなどをこちらのアドレスまで送らせていただきます。  
(スペースは使用しないでください。)
- **パスワード&パスワードの確認** – e-Parcel パスワードの変更の際は、「パスワード」ボックスに新しいパスワードを入力してください。確認のために再度「パスワードの確認」ボックスに同じパスワードを再度入力してください。(※ここで、パスワード変更を行った場合、下記のとおりクライアントソフト上でのパスワード再設定を必ず行ってください。)

	<p><b>Caution:</b> パスワードは6文字以上11文字以内の英数字混合。英字のみ、数字のみは不可。英字は大文字と小文字を区別しますのでご注意ください。</p>
	<p><b>Warning:</b> 「My VCN ・ユーザー登録情報編集」でパスワード変更作業をした場合、クライアントソフト上でのパスワード再設定（パスワード変更）が必要です。現在ご利用の e-Parcel を引き続きご利用いただくため、必ず次の手順にて操作を行ってください。</p> <p>(詳細参照：<a href="#">1. ユーザー情報(P29)</a>)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. e-Parcelクライアントソフトを起動してください。</li> <li>2. クライアントソフトの「ツール」メニューから「セットアップ」を選択してください。</li> <li>3. 「パスワード変更」ボタンをクリックしてください。</li> <li>4. 新しく設定いただいたパスワードを入力後、「OK」ボタンをクリックしてください。</li> <li>5. ログイン状況欄に「ログインに成功しました。」と表示されたことを確認後、「OK」ボタンをクリックし「セットアップ」を終了してください。</li> </ol>

- **タイムゾーン** – ログインページ内の受信トレイ・送信トレイで表示される標準時間帯。
- **サマータイム** – タイムゾーン を米国時間に設定した場合、Yes を選択すると夏時間、冬時間が区別されず。

変更を入力した後、**変更を適用** ボタンをクリックしてプロフィールの変更を確定させていただきます。

## OMy VCN・受信トレイ

e-Parcel の受信トレイのアイテムを確認するには、ページの左側のナビゲーションメニューの「受信トレイ」をクリックしてください。「My VCN・受信トレイ」画面が、表示されます（図 145）。

受信トレイには、指定した期間に受信されたアイテムが表示されます。受信トレイの表示したい期間を変更するには、**【検索期間】**の右のドロップダウンボタンをクリックし、リストから検索したい期間を選択してください。選択後、**【検索開始】** ボタンをクリックしてください。

検索条件設定

検索期間 今年 アイテムID ソート順 日時

種別 受信トレイ アイテム名 **検索開始**

タイムゾーン 9 (現在の時刻 12:00)

項番: 1-2 25/ページ 適用

検索期間: 2006.01.01 - 2006.07.19

詳細	送信者	アイテム名	件名	サイズ	ステータス	作成月日
1	dog2006@e-parcel.co....	会議資料.doc	資料送付の件	24 KB	Delivery Confirmed	2006/07/19 12:00:30
2	tiger2010@e-parcel.c...	テストファイル	Data送ります。	395 KB	Item Moved	2006/07/05 10:21:05

\*印の項目は、ワイルドカードとして「\*」(アスタリスク)を使用できます。







図 145

- ※ 「My VCN・受信トレイ」・「My VCN・送信トレイ」画面の**【種別】**ドロップダウンボタンから**受信トレイ**および**送信トレイ**を選択し**【検索開始】**ボタンをクリックしても、受信・送信トレイそれぞれの画面を切り換えて表示させることができます。



「My VCN・受信トレイ」画面にリストアップされた受信アイテムには、以下の情報が表示されます。

- ✦ **詳細** - アイコンをクリックすると受信アイテム配送票を見ることができます。

	アイテムが配送中で受信側で未受信もしくは受信途中です。
	メッセージが受信済みです。(開封されていません。)
	メッセージが受信・開封されています。
	配送データが受信済みです。(開封や移動はされていません。)
	配送データが受信後、開封もしくは移動済みです。
	配送がキャンセルされています。

- ✦ **送信者** - 送信者のユーザーID

- ✦ **アイテム名** - 添付ファイル/フォルダの名称  
メッセージのみの場合 “Express Letter.rtf” と表示されます。

- ✦ **件名** - 受信アイテムの件名

- ✦ **サイズ** - 受信アイテムの容量

- ✦ **ステータス** - アイテムの現在の受信状況を表示

Recipient Confirmed	受信者が確認されました。
Delivery Confirmed	アイテムが配送されました。
Item Opened	アイテムが開かれました。
Item Read	メッセージが読まれました。
Item Moved	アイテムが移動されました。
Item Shredded	アイテム破棄されました。
Cancelled by Sender	送信者がアイテムをキャンセルしました。
Cancelled by Recipient	受信者がアイテムをキャンセルしました。

- ✦ **作成月日** - アイテムが送信された日時

## ○受信アイテム配送票

受信アイテムの1件ごとの情報を表示することができます。「My VCN・受信トレイ」画面にリストアップされた受信アイテム一覧から、詳細欄のアイコンをクリックすると、「利用状況・受信アイテム配送票」画面が表示されます（図 146）。



図 146

「受信アイテム配送票」には以下の情報が表示されます。

- ➔ アイテム名 - 添付ファイル/フォルダの名前
- ➔ 件名 - アイテムの件名
- ➔ 送信者 - 送信者のユーザーID
- ➔ サイズ - アイテムの容量
- ➔ アイテムID - 個々のアイテムに割り振られた固有の記号
- ➔ タイムゾーン - 設定されている標準時間帯
- ➔ 送信時刻 - アイテムが送信された日時

「My VCN・受信トレイ」画面に戻る場合、メニュー「一覧に戻る」をクリックするか、Webブラウザの「戻る」ボタンをクリックしてください。

## OMy VCN・送信トレイ

e-Parcel 送信トレイの中のアイテムを見るためには、ページの左側のナビゲーションメニューの「送信トレイ」をクリックしてください。「My VCN・送信トレイ」画面が、表示されま

す (図 147)。  
送信トレイには、その時指定した期間に送信されたアイテムが表示されます。送信トレイの表示期間を変更するには、[検索期間]の右のドロップダウンボタンをクリックしてください。リストから検索したい期間を選択した後、**検索開始** ボタンをクリックしてください。

検索条件設定

検索期間: 今年 アイテムID: アカウントID: All ソート順: 日時 アイテム名: **検索開始**

種別: 送信トレイ タイムゾーン: 9 (現在の時刻 12:02)

項番: 1-4 25/ページ 適用

検索期間: 2006/01/01 - 2006/07/19


状況	宛先	アイテム名	件名	受信者数	受信済み	サイズ	作成月日
1	dog2006@e-parcel.co.jp	会議資料.doc	資料送付の件	1	1	24 KB	2006/07/19 12:00:30
2	boar2007@e-parcel.co.jp	Express Letter.rtf	ご連絡	1	0	676 Bytes	2006/07/05 10:32:19
3	mouse2008@e-parcel.co.jp,tiger...	会議資料.doc	厳秘 会議資料	2	1	24 KB	2006/07/05 10:28:01
4	tiger2010@e-parcel.co.jp	Bird Data.xls	デザイン送付の件	1	1	14 KB	2006/07/05 10:25:58

\*印の項目は、ワイルドカードとして「\*」(アスタリスク)を使用できます。


図 147

- ※ 「My VCN・受信トレイ」・「My VCN・送信トレイ」画面の [種別] ドロップダウンボタンから受信トレイおよび送信トレイを選択し **検索開始** ボタンをクリックしても、受信・送信トレイそれぞれの画面を切り換えて表示させることができます。

「My VCN・送信トレイ」画面にリストアップされた送信アイテムには、以下の情報が表示されます。

- **状況** -  アイコンをクリックし送信アイテム配送票を見ることができます。
- **宛先** - 個々のアイテムに割り振られた固有の記号（記号の先頭数文字のみ表示）
- **アイテム名** - 添付ファイル/フォルダの名前  
メッセージのみの場合 “Express Letter.rtf” と表示されます。
- **件名** - 送信アイテムの件名
- **受信者数** - 送信者がアイテムを送った受信者の数
- **受信済み** - アイテムを受け取った受信者の数
- **サイズ** - 送信アイテムの容量
- **作成月日** - アイテムが送信された日時

## ○送信アイテム配送状況

送信アイテムの1件ごとの情報を表示することができます。「My VCN・送信トレイ」画面にリストアップされた送信アイテム一欄から**状況**  アイコンをクリックすると「**利用状況・送信アイテム配送状況**」画面が表示されます（図 148）。



アイテム情報	
アイテム名	Bird Data.xls
件名	デザイン送付の件
送信者	dog2006@e-parcel.co.jp
サイズ	14 KB
アイテムID	IXTvwCUVq0RrXAAAY3qYGnQamYyFfN5Pdk1v
タイムゾーン	9 (現在の時刻 12:03)
送信時刻	2006/07/05 10:25:57

受信者一覧										
詳細	ユーザID	姓	名	正規ユーザ	最終ログイン	利用中	バージョン	言語	クライアント	ステータス
	tiger2010@e-parcel.co.jp	TEST	USER 5	Yes	2006/07/07 18:00:12	Yes	6.0	Japanese	VCN CommCenter	Item Read

図 148


「送信アイテム配送状況」には以下の情報が表示されます。

### アイテム情報

- ➔ アイテム名 - 添付ファイル/フォルダの名前
- ➔ 件名 - アイテムの件名
- ➔ 送信者 - 送信者のユーザーID
- ➔ サイズ - アイテムの容量
- ➔ アイテムID - 個々のアイテムに割り振られた固有の記号
- ➔ タイムゾーン - 設定されている標準時間帯
- ➔ 送信時刻 - アイテムが送信された日時

## 受信者一覧


送信アイテムの受信者の詳しい情報が表示されます。

- **詳細** –  アイコンをクリックし送信アイテム配送票の詳細を、見るができます。
- **ユーザー ID** – 受信者のユーザーID
- **姓名** – 受信者の姓名
- **正規ユーザー** – 受信者が e-Parcel サービスに登録されている場合は “Yes”、登録されていない場合は “No” を表示
- **最終ログイン** – 受信者が最後に e-Parcel サーバへアクセスした日時
- **利用中** – 受信者が e-Parcel クライアントソフトをインストールしている場合は “Yes”、していない場合は “No” を表示
- **バージョン, 言語, クライアント** – 受信者が使用中の e-Parcel 製品情報
- **ステータス** – アイテムの現在の受信状況を表示

Recipient Confirmed	受信者が確認されました。
Delivery Confirmed	アイテムが配送されました。
Item Opened	アイテムが開かれました。
Item Read	メッセージが読まれました。
Item Moved	アイテムが移動されました。
Item Shredded	アイテム破棄されました。
Cancelled by Sender	送信者がアイテムをキャンセルしました。
Cancelled by Recipient	受信者がアイテムをキャンセルしました。

「My VCN・送信トレイ」画面に戻る場合、メニュー **一覧に戻る** をクリックするか、Webブラウザの **戻る** ボタンをクリックしてください。

## ○送信アイテム配送状況の詳細

送信アイテムのさらに詳しい送受信情報（ステータス）を表示することができます。「送信アイテム配送状況」の受信者一覧に表示された詳細  アイコンまたは「User ID」をクリックしてください。送信アイテムの送受信情報（ステータス）が追加表示されます（図 149）。このページには、「送信者情報」・「受信者情報」が追加表示され、送信履歴・受信履歴（トラッキング）を確認することができます。



The screenshot shows the '送信アイテム配送状況' (Delivery Status) page. It features a sidebar with a '一覧に戻る' (Return to List) button. The main content area is divided into several sections:

- アイテム情報** (Item Information):
 

アイテム名	Bird Data.xls
件名	デザイン送付の件
送信者	dog2006@e-parcel.co.jp
サイズ	14 KB
アイテムID	IXTWVWCUVqDRrXAAAAY3qYGnQamYyFfNSPdk1v
タイムゾーン	9 (現在の時刻 12:04)
送信時刻	2006/07/05 10:25:57
- 送信者情報** (Sender Information):
 

ユーザID	dog2006@e-parcel.co.jp
ステータス	日時
Item Allocated	2006/07/05 10:25:58
Recipient Setup Done	2006/07/05 10:25:58
Sending to Server	2006/07/05 10:26:00
Sending to Server	2006/07/05 10:26:00
Uploaded	2006/07/05 10:26:00
Upload Confirmed	2006/07/05 10:26:00
- 受信者情報** (Receiver Information):
 

ユーザID	tiger2010@e-parcel.co.jp
ステータス	日時
Started Receiving	2006/07/05 10:32:52
Delivery Complete	2006/07/05 10:32:52
Delivery Confirmed	2006/07/05 10:32:52
Item Read	2006/07/05 10:33:02
- 受信者一覧** (Receiver List):
 

詳細	ユーザID	姓	名	正規ユーザ	最終ログイン	利用中	バージョン	言語	クライアント	ステータス
	tiger2010@e-parcel.co.jp	TEST	USER 5	Yes	2006/07/07 18:00:12	Yes	6.0	Japanese	VCN CommCenter	Item Read

図 149

「送信アイテム配送状況」の詳細画面では、送信アイテムの送受信履歴「受信者の確認」「受信の開始」「アイテムの配送」「受信の完了」「開封済み」「移動済み」等の送受信の状況（トラッキング）が時間を追って表示されます。「送信アイテム配送状況」画面に戻る場合、メニュー 一覧に戻る をクリックするか、Web ブラウザの 戻る ボタンをクリックしてください。

## OMy VCN・電子証明書/ソフトウェアのダウンロード

ページの左側のナビゲーションメニューの「ソフトウェア」を選択すると、電子証明書と e-Parcel クライアントソフトウェアのダウンロードページとなります（図 150）。

ステップ1の「今すぐダウンロード」ボタンをクリックすると電子証明書がダウンロードが開始されます。e-Parcel クライアントソフトウェアをダウンロードする場合は、ステップ2にて、いずれかを選択し、「今すぐダウンロード」ボタンをクリックしてください。

それぞれお客様のご指定の場所（フォルダ）へ保存してください。電子証明書および e-Parcel クライアントソフトウェアのダウンロード方法の詳細は、[ソフトウェアのダウンロードとインストール \(P11\)](#)をご参照ください。

作業終了後は、画面右上「ログアウト」青文字をクリックし、**My VCN** を終了してください。

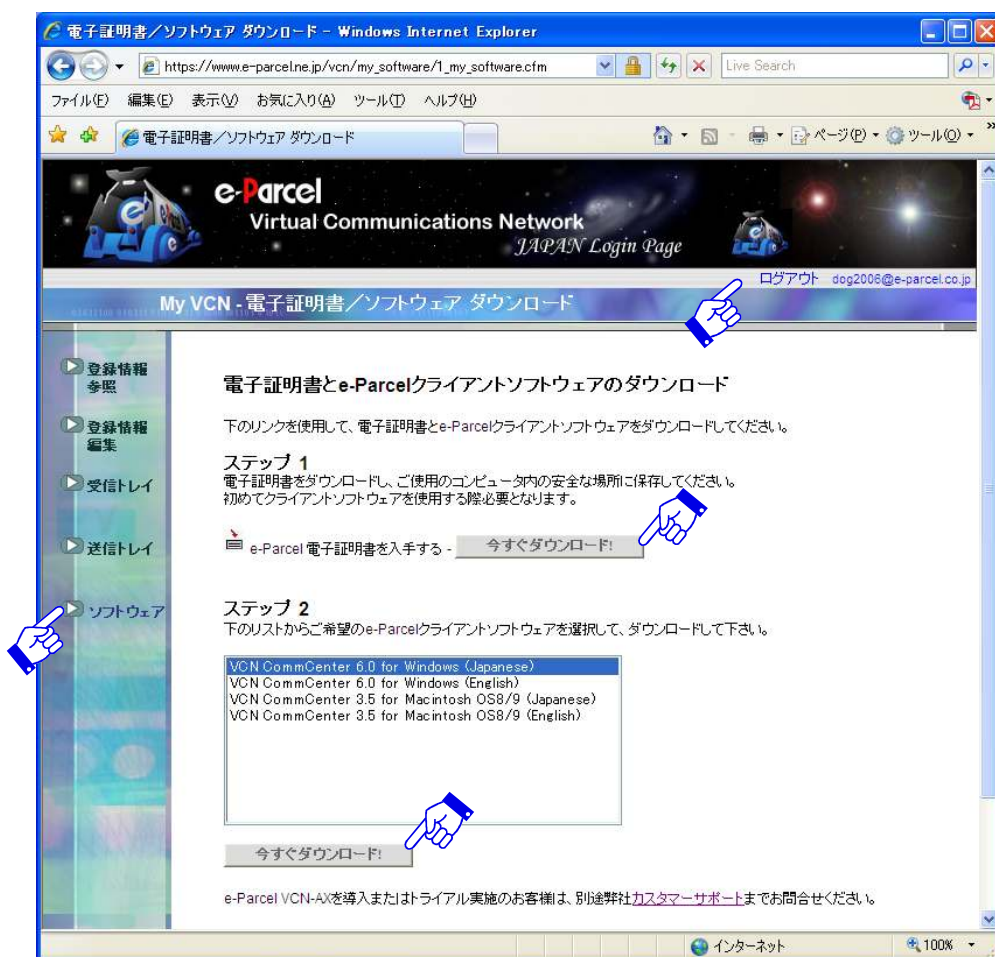


図 150



## 付録 2 . e-Parcel パスワードお忘れの方



### ○パスワード通知・初期化のお申し込みページ

e-Parcel パスワードをお忘れの方は、 e-Parcel ホームページ (<http://www.e-parcel.co.jp/>)よりメニュー「VCN ログイン」ページへアクセスし、**パスワード忘れた方** ボタンをクリックしてください (図 142)。ご契約のお客様向けの「パスワードリクエスト」ページが表示されます。(図 151)。こちらのページより、お申込みいただくと、e-Parcel サービスにてお客様のユーザーID 宛へ、もしくはご登録の E-mail アドレス宛へ、パスワードが自動送信されます。または、入力した連絡先 E-mail アドレス宛へ、初期化確認メールが自動送信されます。

図 151

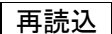
## パスワードリクエスト手順

e-Parcel パスワードをお忘れの方は、下記手順にて「パスワードリクエスト」フォームへご入力の上、パスワード通知または初期化の申請をお願いします（図 151）。

- ① **必要事項**を入力してください。（必須項目 ：ユーザーID・氏名・会社名・連絡先 Email アドレス）
- ② **お申し込み種別**（必須項目 ：）3種うち、いずれかを必ず選択し、チェックを入れてください。なお、自動送信される通知メールの送信先は、選択いただいた「お申し込み種別」により異なりますので、ご注意ください。以下詳細をご参照いただき、適宜選択のうえ申請をお願いいたします。

[お申し込み種別について]

➔「**上記ユーザ ID 宛にてVCN/e-Parcel でパスワードを送付を希望**」を選択した場合：

**e-Parcel サービスにて「e-Parcel ユーザーID」宛**へパスワードが自動送信されます。  
申請後、e-Parcel クライアントソフト画面  **再読込** ボタンをクリックし最新配送状況へ更新後、受信トレイをご確認ください。


➔「**ご登録済みの Email アドレスにメールでパスワードを送付を希望**」を選択した場合：

VCN ログインページ「My VCN・ユーザー登録情報」へ表示される(P131) **「ご登録済みの Email アドレス」宛**へパスワードが自動送信されます。

※「パスワードリクエスト」フォームへ入力された「**連絡先 Email アドレス**」とは異なりますので、くれぐれもご注意ください。

➔「**パスワードの初期化を申請する**」を選択した場合：

「パスワードリクエスト」フォームへ**入力した「連絡先 Email アドレス」宛**へ初期化確認のメールが自動送信されます。初期化を実行してよろしければ、確認メールの内容をよくお読みいただき指示にしたがって返信してください。

- ③ 入力および選択後、 **お申込み** ボタンをクリックし送信してください。e-Parcel カスタマーサポートより、間もなくご案内が自動送信されますので、ご確認ください。

## 付録3. e-Parcel サポート情報

### OWeb サイト サポート情報ページ

イーパーセル（株）ホームページでは、ご契約のお客様向けの「サポート」情報をご提供しております（図 152）。『お知らせ』『ソフトウェア バージョンアップ情報』『障害情報（自動監視中）』の最新情報を、随時更新し掲載いたしております。

イーパーセル（株）ホームページ URL : <http://www.e-parcel.co.jp/>へアクセスし、メニューより「サポート」ページへお越しください。



図 152

## 付録 4. データベースの共有化について

---

VCN CommCenter では同じ端末からログオンするすべてのユーザーに対してデータベースを共有化させることによって、同じ e-Parcel 電子証明書および送受信トレイを共有することが出来るようになります。この設定を行うと各ログオンユーザーは改めて電子証明書をインストールすることなく、ログオン後すぐに VCN CommCenter を起動して使用することが出来ます。**特定のユーザーでの使用からすべてのユーザーでの共有使用に変更する場合の詳細な設定方法は下記手順を参照してください。**(手順はご利用の Windows OS により異なります。)

### Windows NT 4.0 (SP 3 以上), 2000, XP, 2003 をご利用の場合

1. VCN CommCenter の「ツール」メニューより「セットアップ」－「オプション」タブを選択して「データベースの場所」フォルダパスを確認後、該当フォルダをバックアップコピーしてください。

注意：バックアップいただいたフォルダは送受信履歴引継ぎ確認が完了するまで削除しないようにしてください。

現在、一般ユーザ権限で VCN CommCenter をご利用いただいている場合は、引き続き 2.～16. の手順をお進みください。

現在、Administrator 権限を有しているユーザーで VCN CommCenter をご利用いただいている場合は、17.～28. の手順をお進みください。

[一般ユーザ権限で VCN CommCenter をご利用いただいている場合]

2. VCN CommCenter を終了後ログオフいただき、Administrator もしくは Administrator 権限が付加されたユーザー権限でログオンしてください。

(この時、「電子証明書をインストールする」画面が表示された場合は、キャンセルもしくは閉じるボタンをクリックして一旦画面を閉じてください。VCN CommCenter が自動起動された場合は終了してください。)

3. すべてのユーザーが変更権限を有するフォルダを3つ（ここでは例として Folder-A, Folder-B, Folder-C）作成してください。

4. VCN CommCenter を起動させてください。(この時、「電子証明書をインストールする」画面が表示された場合は、指示に従って電子証明書のインストールを完了させてから VCN CommCenter を起動してください。)

5. 「ツール」メニューより「セットアップ」－「オプション」タブを選択してください。
6. 「アイテム一時保存場所」のドロップダウンボタンより「受信済み」を選択いただき、表示されたパス右横のボタンをクリックしてください。
7. 3. で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-A）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「アイテム一時保存場所」の「受信済み」フォルダとして（Folder-A）が設定されます。
8. 「アイテム一時保存場所」のドロップダウンボタンより「処理中」を選択いただき、表示されたパス右横のボタンをクリックしてください。
9. 3. で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-B）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「アイテム一時保存場所」の「処理中」フォルダとして（Folder-B）が設定されます。この後、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。
10. 「データベースの場所」として表示されているパス横のボタンをクリックしてください。
11. 「新しいデータベースの場所」欄横のボタンをクリックしてください。
12. 3. で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-C）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「新しいデータベースの場所」として（Folder-C）が設定されます。
13. 「現在のユーザ」に入っているチェックを「すべてのユーザ」へ移していただき、OK ボタンをクリックしてください。（VCN CommCenter が自動的に終了します。自動的に終了しない場合は手動にて終了させてください。）  
（Folder-C）が全てのユーザー共有のデータベースフォルダとして設定されます。
14. 1. でバックアップコピーいただいていた「データベースの場所」フォルダ内のファイルを（Folder-C）へ上書きしてください。
15. 再度 VCN CommCenter を起動し、送受信履歴が引き継がれていることをご確認ください。
16. 他のユーザーでログオンし直していただき、VCN CommCenter を起動してください。VCN CommCenter が正常に起動でき、送受信履歴が引き継がれていることをご確認ください。

[現在 VCN CommCenter をご利用のユーザーが Administrator 権限を有している場合]

17. すべてのユーザーが変更権限を有するフォルダを3つ（ここでは例として Folder-A, Folder-B, Folder-C）作成してください。
18. 「ツール」メニューより「セットアップ」－「オプション」タブを選択してください。
19. 「アイテム一時保存場所」のドロップダウンボタンより「受信済み」を選択いただき、表示されたパス右横のボタンをクリックしてください。
20. 17.で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-A）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「アイテム一時保存場所」の「受信済み」フォルダとして（Folder-A）が設定されます。
21. 「アイテム一時保存場所」のドロップダウンボタンより「処理中」を選択いただき、表示されたパス右横のボタンをクリックしてください。
22. 17.で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-B）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「アイテム一時保存場所」の「処理中」フォルダとして（Folder-B）が設定されます。この後、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。
23. 「データベースの場所」として表示されているパス横のボタンをクリックしてください。
24. 「新しいデータベースの場所」欄横のボタンをクリックしてください。
25. 17.で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-C）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「新しいデータベースの場所」として（Folder-C）が設定されます。
26. 「現在のユーザ」に入っているチェックを「すべてのユーザ」へ移していただき、OK ボタンをクリックしてください。（VCN CommCenter が自動的に終了します。自動的に終了しない場合は手動にて終了させてください。）  
（Folder-C）が全てのユーザー共有のデータベースフォルダとして設定されます。
27. 再度 VCN CommCenter を起動し、送受信履歴が問題なく表示されていることをご確認ください。
28. 他のユーザーでログオンし直していただき、VCN CommCenter を起動してください。  
VCN CommCenter が正常に起動でき、送受信履歴が引き継がれていることをご確認ください。

## Windows Vista, 2008, 7 をご利用の場合

ご注意：Windows Vista, 2008, 7 をご利用いただいております場合、手順中にレジストリ削除作業が発生します。誤ったレジストリキーの削除による何かしらの不具合が発生いたしました場合は弊社では一切責任を負いかねますので、手順中の指定レジストリキー削除時は他のレジストリキーを削除してしまわないよう、十分ご注意の上作業を実行してください。

1. VCN CommCenter の「ツール」メニューより「セットアップ」－「オプション」タブを選択して「データベースの場所」フォルダパスを確認後、該当フォルダをバックアップコピーしてください。

注意：バックアップいただいたフォルダは送受信履歴引継ぎ確認が完了するまで削除しないようにしてください。

2. 標準ユーザでログオンしている場合は VCN CommCenter を終了後ログオフいただき、Administrators グループユーザでログオンし直してください。

(この時、「電子証明書をインストールする」画面が表示された場合は、キャンセルもしくは閉じるボタンをクリックして画面を閉じてください。VCN CommCenter が自動起動された場合は終了してください。)

3. 「スタート」－「プログラム」－「e-Parcel」－「VCN CommCenter」－「削除 VCN CommCenter」メニューを右クリックいただき、「管理者として実行」を選択して VCN CommCenter をアンインストールしてください。

4. C:\Users\{Username}\AppData\Roaming\e-Parcel が存在している場合は削除してください。

5. 以下のレジストリキーを削除してください。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\e-Parcel

6. 引き続き、以下のレジストリキーがあれば必ず削除してください。(削除エラーが表示されて削除出来ない場合はコンピュータの再起動後に再度お試しください。)

HKEY\_CLASSES\_ROOT\VirtualStore\MACHINE\SOFTWARE\e-Parcel

HKEY\_CURRENT\_USER\Software\e-Parcel

7. VCN CommCenter を利用するすべてのユーザでそれぞれログオンいただき、  
C:¥Users¥(Username)¥AppData¥Roaming¥e-Parcel があれば削除してください。  
また、以下の2つのレジストリキーがあれば必ず削除してください。(削除エラーが表示されて削除出来ない場合はコンピュータの再起動後に再度お試しください。)

HKEY\_CURRENT\_USER¥Software¥e-Parcel

HKEY\_CLASSES\_ROOT¥VirtualStore¥MACHINE¥SOFTWARE¥e-Parcel

8. 再度 Administrators グループユーザーでログオンしてください。
9. すべてのユーザーが変更権限を有するフォルダを3つ（ここでは例として Folder-A, Folder-B, Folder-C）作成してください。
10. VCN CommCenter インストーラ（eClient60JP...）を右クリックいただき、「管理者として実行」を選択してインストールを開始、電子証明書のインストールまでを完了させてください。
11. デスクトップ上の e-Parcel アイコンを右クリック、「管理者として実行」を選択いただき VCN CommCenter を起動して「ツール」メニューより「セットアップ」－「オプション」タブを選択してください。
12. 「アイテム一時保存場所」のドロップダウンボタンより「受信済み」を選択いただき、表示されたパス右横のボタンをクリックしてください。
13. 9. で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-A）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「アイテム一時保存場所」の「受信済み」フォルダとして（Folder-A）が設定されます。
14. 「アイテム一時保存場所」のドロップダウンボタンより「処理中」を選択いただき、表示されたパス右横のボタンをクリックしてください。
15. 9. で作成いただいたフォルダの内の1つ（Folder-B）をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「アイテム一時保存場所」の「処理中」フォルダとして（Folder-B）が設定されます。この後、必ず「適用」ボタンをクリックしてください。
16. 「データベースの場所」として表示されているパス横のボタンをクリックしてください。



17. 「新しいデータベースの場所」欄横のボタンをクリックしてください。
18. 9. で作成いただいたフォルダの内の1つ (Folder-C) をクリック選択後、OK ボタンをクリックしてください。「新しいデータベースの場所」として (Folder-C) が設定されます。
19. 「現在のユーザ」に入っているチェックを「すべてのユーザ」へ移していただき、OK ボタンをクリックしてください。  
(VCN CommCenter が自動的に終了します。自動的に終了しない場合は手動にて終了させてください。)  
(Folder-C) が全てのユーザー共有のデータベースフォルダとして設定されます。
20. 1. でバックアップを取っていただいていた「データベースの場所」フォルダ内のファイルを (Folder-C) へ上書きしてください。
21. 再度 VCN CommCenter を起動し、送受信履歴が引き継がれていることをご確認ください。
22. 他のユーザーでログオンし直していただき、e-Parcel クライアントを起動してください。  
e-Parcel が正常に起動でき、送受信履歴が引き継がれていることをご確認ください。

## ドキュメント情報

---

---

e-Parcel VCN CommCenter 6.0 インストール・設定 & ユーザーマニュアル  
2016年1月 第14版

---

e-Parcel・e-Parcel Logo は イーパーセル株式会社 の登録商標です。

Copyright © 2001-2016

e-Parcel Corporation *All rights reserved.*

---

このマニュアルはイーパーセル株式会社とイーパーセル株式会社のお客さまの使用を前提に作られています。本ガイド、または弊社のWebサイトに掲載された場合を除き、イーパーセル株式会社の文書による同意なく本製品およびマニュアル（使用説明書）の一部または全部の無断転載、無断複写、翻訳、または電子媒体への変換を禁止いたします。改良のため当製品および当マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。